令和６年度

工　事　仕　様　書

（上水編）

一宮市上下水道部

目 次

第１章　総則
1.1 適用範囲----------1
1.2 工事の施工----------1
1.3 関係図書----------1
1.4 諸手続----------1
1.5 提出書類----------1
第２章　資材
2.1 採用資材----------3
2.2 支給材料----------3
2.3 リサイクル資材----------3
2.4 材料の検査----------3
第３章　施工管理
3.1 工事案内----------4
3.2 舗装切断工----------4
3.3 掘削工----------4
3.4 型枠工----------4
3.5 コンクリート工----------4
3.6 布設工（鋳鉄管、鋼管、ビニル管）----------4
3.6.1 使用材料----------4
3.6.2 布設工----------5
3.6.3 接合工----------5
3.6.4 管の穿孔----------6
3.6.5 ビニル管の保管----------6
3.7 布設工（水道配水用ポリエチレン管）----------6
3.7.1 管の取扱い----------6
3.7.2 ポリエチレン管の保管----------6
3.7.3 布設工----------7
3.7.4 ＥＦ接合----------7
3.7.5 メカニカル接合----------9
3.7.6 サドル取付及び穿孔----------9
3.8 接合管理（水道配水用ポリエチレン管）----------9
3.8.1 ＥＦ接合----------9
3.8.2 メカニカル接合----------9
3.9 弁類及び消火栓設置工----------10
3.9.1 弁類（仕切弁、バタフライ弁、空気弁）----------10
3.9.2 消火栓----------10
3.9.3 仕切弁及び消火栓室----------10
3.10 埋戻し----------10
3.11 舗装復旧工----------10
3.12 水圧試験----------11

3.13 管洗浄----------11
3.14 既設管との接続----------11
3.15 建設廃材（石綿セメント管）の処理方法----------12
3.16 配水管明示----------12
3.17 道路工事現場における標示施設等の設置基準----------12
3.18 施工管理基準----------13
第4章　配水管布設工事　設計・施工基準
4.1 適用範囲----------20
4.2 標準土工----------20
4.2.1 布設工----------20
4.2.2 不断水穿孔工(既設管φ150㎜以下の標準土工)----------25
4.2.3 仮配管----------25
4.2.4 取付工・給水管取付工・閉塞工----------26
4.2.5 給水管布設工----------26
4.2.6 撤去工----------28
4.3 小口径配水管布設基準（水道配水用ポリエチレン管）----------30
4.3.1 取付工----------30
4.3.2 末端取付工----------31
4.3.3 バルブ設置工----------32
4.3.4 布設工----------32
4.3.5 閉塞工----------33
4.3.6 不断水工----------33
4.3.7 給水管布設工----------34
4.3.8 水管橋設置工----------37
4.4 小口径配水管布設基準（ビニル管）----------38
4.4.1 取付工----------38
4.4.2 末端取付工----------39
4.4.3 バルブ設置工----------39
4.4.4 布設工----------39
4.4.5 閉塞工----------40
4.5 小口径配水管布設基準（仮配管）----------41
4.5.1 取付工----------41
4.5.2 末端取付工----------41
4.5.3 バルブ設置工----------41
4.5.4 布設工----------42
4.5.5 仮給水管等取付工----------42
4.6 土留工----------43
4.7 仕切弁室・消火栓室築造工----------45
4.7.1 仕切弁室築造工----------45
4.7.2 消火栓室築造工----------47
4.7.3 鉄蓋類設置基準----------48
4.7.4 消火栓設置基準----------48

4.8 管防護工----------50
4.8.1 鋳鉄管----------50
4.8.2 ビニル管----------53
4.9 明示テープ類仕様及び施工要領----------54
4.10 水管橋標準仕様----------58
附表・様式・参考資料----------59

第１章　総則

1.1 適用範囲

本仕様書は、一宮市水道事業等管理者が発注する配水管布設工事に適用するものとする。

1.2 工事の施工

配水管布設工事は、すべて工事請負契約書ならびに本仕様書、土木工事標準仕様書(愛知県建設局)、土木工事現場必携（愛知県建設局)、設計書、図面に基づいて施工し、その順序方法は本市監督員（以下、監督員という）と協議し、その指示に従わなければならない。請負者には主として専任監督員が対応する。

1.3 関係図書

本仕様書のほかは、「コンクリート標準示方書(土木学会)」、「水道施設設計指針・解説及び水道維持管理指針（日本水道協会)」、「日本ダクタイル鉄管協会資料（日本ダクタイル鉄管協会)」、「日本水道鋼管協会資料（日本水道鋼管協会)」、「水道配水用ポリエチレン管及び管継手　設計マニュアル及び施工マニュアル（配水用ポリエチレンパイプシステム協会)」、「硬質ポリ塩化ビニル管技術資料　水道編（塩化ビニル管継手協会)」によるものとする。

1.4 諸手続

道路占用、河川敷占用許可申請等は市職員において行い、道路使用許可申請、道路工事届出及び仮設物、その他敷地使用等工事の施工上必要な手続きは請負者において行うのものとする。

1.5 提出書類

土木工事標準仕様書（愛知県建設局）及び土木工事現場必携（愛知県建設局）に準ずる。

(1) 配管作業従事者届

配管作業に従事する者の名簿、および経歴書を提出すること。

なお、GX 形及び NS 形ダクタイル鋳鉄管の配管工事は、耐震継手の講習修了者が従事するものとし、配管作業従事者届に講習修了証の写しを添付するものとする。講習修了証とは、「配水管技能者登録証（日本水道協会)」、「JDPA 継手接合研修会受講証（日本ダクタイル鉄管協会)」または、それに準ずるものとする。

また、水道配水用ポリエチレン管の配管工事は、配水用ポリエチレンパイプシステム協会の水道配水用ポリエチレン管施工講習会受講証を有する者が従事するものとし、配管作業従事者届に受講証の写しを添付するものとする。

上記以外の配管工事の従事者は、３年以上の実務経験を有する者とし、上記の従事者を含め仕様書、設計図書を熟知し、細心の注意をもって作業にあたらなければならない。

(2) 施工計画書

土木工事標準仕様書（愛知県建設局）及び土木工事現場必携（愛知県建設局）に基づき、「(3) 安全管理」に必要な作業主任者および技能講習修了者の氏名を記入し、各々の免許や技能講習修了証の写しを添えて、工事着手前までに提出すること。施工計画書の記載省略項目のうち、「(6) 施工方法（ｲ) 具体的な施工方法（特殊工法のみ）(ｳ) 監督員による段階確認等」につい

ては、施工計画書に記載しなければならない。「(8) 緊急時の体制及び対応」については、悪天候時の対応として作業中止の基準を明記すること。

記入例：

悪天候時の対応

悪天候（強風・大雨・大雪等）による自然災害が予測される場合は、作業を中止する。天候が回復した後、現場点検を行い監督員へ報告する。

作業中止の基準

強風	10 分間の平均風速が毎秒 10 メートル以上
大雨	1 回の降雨量が 50 ミリメートル以上
大雪	1 回の降雪量が 25 センチメートル以上
中震以上の地震	震度階数 4 以上
暴風	瞬間風速が毎秒 30 メートルを超える風

(3) 耐震管布設及び継手耐震補強チェックシート

耐震管布設工事及び継手耐震補強工事の際に提出すること。併せて配水管の管割図及び給水管の詳細図を作成し、出来形管理測定結果報告書に整理し提出すること。管割図には施工日、管延長、管 No、継手 No を記入すること。

(4) その他監督員が必要と認めた書類

ただし、完成書類のうち、設計金額 130 万円以下の工事については、工事写真帳、耐震管チェックシート、出来形管理測定結果報告書、マニフェスト管理台帳以外の書類は、監督員が特に指示した場合を除き省略することができる。また、災害復旧工事等の緊急を要する工事については、監督員が必要ないと認めた書類は省略することができる。

(5) 竣工図

工事竣工後、すみやかに竣工図を作成し、電子データを提出すること。

データ形式については、ファイル形式(DWG,PDF)で提出すること。

(6) 電子納品

工事写真については、「工事写真の電子納品実施要領」に基づくものとする。

その他の書類については、電子納品の対象としない。

ただし、電子納品を希望する場合は、詳細な取扱い等、監督員との協議又は指示に従うこととする。

第２章　資材

2.1 採用資材

配水管布設工事に使用する材料は、附表の材料承認一覧に記載のもの（JIS 規格品、JWWA 規格品、JDPA 規格品、PTC 規格品又は本市承認品）とする。なお、給水装置に使用する材料で本章に記載の無いものは一宮市給水装置工事指針に準ずるものとする。ただし、それら以外の材料（以下「未承認品」という。）を使用する必要が生じた場合については、水道技術管理者の承認を受けるものとする。

工事材料の品質規格に関する資料（製品カタログ等）については、すべての使用材料や製造業者を記入し、未承認品を使用する場合は承認図等の資料を添付し、工事着手前までに提出すること。

2.2 支給材料

(1) 本市より支給する材料の引渡場所は、本市が指定する。

(2) 前項に掲げる材料の保管は、請負者の責任で行い、破損又は紛失したときは請負者が賠償の責を負わなければならない。

2.3 リサイクル資材

使用する資材は、リサイクル資材の率先利用を図るため、「愛知県あいくる材率先利用方針」を遵守し、あいくる材として認定されている資材の利用拡大に努めること。

なお、あいくる材の使用に関する市への書類提出は不要とする。

2.4 材料の検査

配水管布設工事に使用する材料で JIS 規格品、JWWA 規格品、JDPA 規格品、PTC 規格品又は本市承認品については、製品検査を省略できるものとする。

第３章　施工管理

3.1 工事案内

(1) 工事契約後、速やかに監督員と打合せをし、町会長、近隣住民、学校等へ工事の PR を行うこと。

(2) 給水管の布設等で宅地内へ踏み入る必要がある場合は、地権者に工事内容を説明し了承を得ておくこと。特に、コンクリート、庭木等が係わる場合は、復旧方法等について十分な説明を行うこと。

3.2 舗装切断工

舗装切断は、工事看板設置後に現場代理人立会いのもとで行い、交通誘導警備員を配置すること。

3.3 掘削工

(1) 掘削にあたっては、設計図書に基づいて施工すること。素掘及び土留設置に係わらず、掘削箇所の土質の変化等、現場状況に応じて必要がある場合は、掘削中の土砂等の崩壊及び掘削後の付近地盤の沈下を防止するように、安全かつ確実な施工を行うこと。

(2) 現場の都合により監督員が掘削方法、施工順序等を変更させることがある。

(3) 機械掘削を原則とするが、他の地下埋設物と近接する場合は人力掘削とし、床均しを含む。

(4) 掘削の範囲は管布設の工程と照合し、その日のうちに埋戻しの出来る範囲とし、残土ならびに交通の障害となるものは即日片付けなければならない。

(5) 水路等の下部を横断布設する場合は、過掘りによる構造物及び周辺地盤の沈下を防止する対策を講じ、安全かつ確実な施工を行うこと。

3.4 型枠工

(1) 型枠材料は虫食い、腐食、変形等があってはならない。

(2) 型枠には十分剥離材を塗布し、取外しの際コンクリートに支障のないようにすること。

(3) 型枠取外しの時期はすべて監督員の指示によること。

3.5 コンクリート工

(1) 使用セメントは JIS R5211 の高炉セメント（Ｂ種）とする。

(2) 骨材は清浄であって、泥、木片、草等の不純物が混入してはならない。

(3) コンクリートを打設する前に打設場所を十分清浄にすること。

3.6 布設工（鋳鉄管、鋼管、ビニル管）

3.6.1 使用材料

(1) 材料はすべて「第２章　資材」に記載してあるものを使用しなければならない。

(2) 請負者使用材料は監督員の確認を受けてから使用すること。また、監督員の指示により試験を行うことがある。また、試験に要する費用については、請負者の負担とする。

3.6.2 布設工

(1) 管の取扱い

管の小運搬、吊込み、据付け、その他取扱いの際は、常に周到な注意を払わなければならない。

(2) 管の清掃

管清掃にあたっては、受口内面及び挿し口の端部から約 40cm までの外面に付着している油、砂、わら屑、その他の異物を取り除き十分清掃するとともに、押輪、ゴム輪を清掃してから管の定置を行わなければならない。

(3) 切断面の処置

鋳鉄管切断面へ補修剤を塗り、切断箇所の保護を施す。なお、補修剤については、市の承認を受受けた製品とする。

(4) 管の据え付け

ダクタイル鋳鉄管の据え付けに当たってはメーカー表示マークの中心を管頂にして据え付ける。

耐震継手形ダクタイル鋳鉄管の布設は、口径によらずポリエチレンスリーブで防食を施すこと。

(5) 作業終了後の処置

布設した管は、毎日作業終了後管端を木蓋等で覆い、土砂、泥水等が入らないようにすること。また、作業の工程上直ちに埋戻しを行わないときは、滞水による土砂の崩壊及び管の浮上等がないように水替えを完全に実施し、万全の処置を取らなければならない。

3.6.3 接合工

(1) 鋳鉄管接合

受口内面、挿し口外面及びゴム輪の外面に継手用滑材を塗り、間隔が偏らないように取付ける。

メカニカル継手においては、その後ボルトを差し込み、片締めとならないように均等に締め付けなければならない。なお、T頭ボルト・ナットのK形の標準締め付けトルクは表-3.1 のとおりとし、GX 形は押輪の施工管理用突部と受口が接触するまで行うものする。また、押しボルトの締付トルクは 100 N・m とする。

表-3.1 K形ダクタイル鋳鉄管の締め付けトルク値表

使用管口径（mm）	締め付けトルク（N・m）	ボルト径（mm）
75	60	M16
100～600	100	M20
700～800	140	M24

(2) 鋼管接合

原則として小口径管は伸縮可とう継手接合とし、接合部はポリエチレンスリーブで防食を施すこと。それ以外の方法は、監督員の承認を得てから行う。また、配水本管については溶接接合とし、その工法は「4.10 水管橋標準仕様」によらなければならない。

(3) ビニル管接合

水道用ゴム輪形硬質ポリ塩化ビニル管継手及び TS 継手の接合方法は、本仕様書「1.3 関係図書」に示すビニル管の資料によるものとする。

(4) 滑材関係

管の接合に使用する VP 接合材、滑材及び管口補修剤はすべて水道用とし、本市の承認を受けたものを使用しなければならない。

3.6.4 管の穿孔

(1) 割丁字管を使用する場合は本管に取付けた後、「3.12 水圧試験」に基づき水圧試験を行い、これに合格しなければならない。

(2) 割丁字管の取り出し部の管軸は水平を原則とする。埋設物その他の関係で水平にし難いときは、監督員の確認を受けて適当な勾配をつけるものとする。

(3) バッグ式止水工法（BS 工法）は、エアバッグ・ウォーターバッグ・エアープラグの止水工法であり、施工は監督員の立会いのもと行うこと。

(4) サドル分水栓の穿孔は水を吐かせながら行い、給水管においては宅地内の蛇口にて出水の確認を行い、必要に応じてメーターストレーナー等に切り粉等が詰まっていないか点検すること。

(5) 穿孔完了後の切り粉、切断片等は、完全に管の外へ排出しなければならない。

(6) 穿孔機は確実に取付け、その仕様に応じたドリルやカッターを使用すること。特に、水道用ダクタイル鋳鉄管については、モルタルライニング用と内面エポキシ樹脂粉体塗装用でドリルやカッターが異なるので、注意すること。

(7) サドル分水栓の穿孔完了後、本管管種がダクタイル鋳鉄管については、密着コアを挿入すること。

(8) 管の穿孔完了後は、ポリエチレンスリーブまたは防食フィルムを取り付けることにより防食対策を施すこと。

3.6.5 ビニル管の保管

風通しがよく直射日光の当たらない所で、熱気がこもらない方法でシート掛けを施すこと。また、出来るだけ井桁積みとし、その高さ 1.5m 以下で管が崩れないよう、必ず歯止めを施さなければならない。

3.7 布設工（水道配水用ポリエチレン管）

3.7.1 管の取扱い

(1) トラックからの積み降ろしの際など、管や継手を放り投げたりして衝撃を与えないこと。

(2) トラックでの運搬の際、管が吊り具や荷台の角に直接当たらないようにクッション材で保護すること。

(3) 小運搬を行うときは、必ず管全体を持ち上げて運び、引きずったり滑らせたりしないこと。

3.7.2 ポリエチレン管の保管

(1) 管や継手の保管は、屋内保管を原則とし、入荷時の荷姿のまま保管すること。現場で屋外保管する場合は、シートなどで直射日光を避けるとともに、熱気がこもらない環境（風通し等）を保つこと。

(2) 管の保管は平坦な場所を選び、まくら木を約１m間隔で敷き、不陸が生じないようにして横積みすること。なお、管の積み段数は７段以下（呼び径 50～100）とし井桁積みはしないこと。

(3) 管、継手とも土砂、洗剤、溶剤、油等が付着する恐れがある場所及び火気等の側には絶対置かないこと。

3.7.3 布設工

(1) ポリエチレン管は、埋設管路に適用するものとし、露出配管等紫外線の影響を受けるような場所には適用しない。

(2) 管を布設する前に掘削構内に石やアスファルト塊等の異物がないことを確認し、異物がある場合は除去してから施工すること。

(3) 水場あるいは雨天時にＥＦ（エレクトロフュージョン）接合を行う必要がある場合は、水替、雨よけ等の必要な措置を講じ、接合部の水の付着を防止すること。なお、現場状況（地下水位、既設管の止水状況等）により、ＥＦ接合が困難な場合は監督員の指示によること。

(4) ＥＦ接合に使用する電源は交流１００Ｖで、発電機を使用する場合は、出力電圧が１００Ｖ近辺で安定し、必要な電源容量（概ね２ＫＶＡ）が確保されたものをコントローラ専用として使用すること。施工可能な環境温度範囲は、－１０℃～４０℃とする。

(5) ポリエチレン管の布設は、口径によらず溶剤浸透防護ポリエチレンスリーブで防食を施すこと。

(6) 曲げ配管は、やむを得ない理由がある場合に限り、下表に示す最小半径までとする。曲げ半径の施工管理方法として、長さ１ｍの角材やスケール等をポリエチレン管の内側に当て、その隙間寸法Ａを測定することで、過度な曲げが生じていないか確認することが可能である。(図-3.1参照)
曲げ配管部におけるＥＦ接合作業は避けること。曲げ配管部にＥＦ接合箇所がある場合は、あらかじめＥＦ接合を行ったうえで配管すること。

表-3.2　曲げ配管の最小半径

呼び径（㎜）	50	100
最小曲げ半径（m）	5.0	9.5
1m区間における最大隙間寸法Ａ（㎜）	25	13

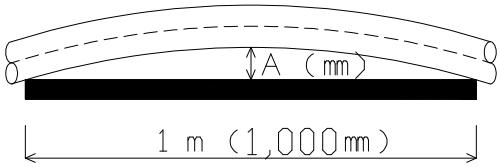


図-3.1　曲げ半径の施工管理方法の一例

3.7.4 ＥＦ接合

(1) 管の切断

管の切断は、所定のパイプカッタを用いて、管軸に対して管端が直角になるように切断すること。切断面に食い違いが生じた場合は、再度切断を行うか、グラインダー等でバリや食い違いを平らに仕上げる。高速砥石タイプの切断工具は、熱で管切断面が変形する恐れがあるため、使用してはならない。なお、斜め切れは呼び径に関わらず５㎜以内とすること。

(2) 管の清掃

管に有害な傷（管肉厚の10%以上の深さの傷）がないか点検のうえ、管に付着している土や汚れをペーパータオルまたは清潔なウエスで清掃すること。清掃は、管端から２００㎜以上の範囲を管全周に渡って行うこと。

(3) 融着面の切削

管端から測って規定の差込長さの位置に標線を記入する。次に削り残しや切削むらの確認を容易にするため、切削面（管端から標線まで）をマーキング（油性ペン等で管周に「なみ線」等を描く）し、スクレーパを用いて管表面を切削（スクレープ）する。切削が不十分な場合は融着不良となる場合があるため、完全に切削すること。また、削り残りが生じた場合は、カンナ式スクレーパで、マーキングが完全に消えるまで切削すること。

削りすぎた場合（約0.2㎜を超える場合）は再度管切断からの作業を行うこと。

(4) 融着面の清掃

清掃は、きれいな素手で行い（手が荒れる場合にはナイロン手袋等を使用する)、軍手等手袋は使用しないこと（軍手に付着した汚れが浸み出したり、軍手自体の可溶成分が溶け出して、融着不良が発生する恐れがある)。管の切削面と接合する継手受口の内面全体をエタノールまたはアセトン等を浸み込ませたペーパータオルで清掃を行い、融着面の油脂等を完全に拭き取る。

切削融着面を清掃する場合、ティッシュペーパーなどは「けば」が出るので使用してはならない。

(5) マーキング

切削・清掃済みの管に継手受口を挿入し、端面に沿って円周方向にマーキングする。このとき、清掃面に触れないよう注意すること。

(6) 管と継手の挿入・固定

融着面の切削・清掃済の管挿し口を継手受口に標線まで挿入し、クランプを用いて管を固定する。このとき、叩き込み挿入や斜め挿入は行ってはならない。

(7) 融着準備

継手とコントローラの適合を確認のうえ、コントローラの電源を入れる。コントローラは通電中に電圧降下が大きくなった場合は作動しなくなるため、電源（発電機）はコントローラ専用とすること。また、発電機使用による冬期施工では、必ず暖気運転を行い使用すること。継手の端子に出力ケーブルを接続し、コントローラに付属のバーコードリーダで継手の融着データを読み込むこと。

(8) 融着

コントローラのスタートボタンを押して通電を開始する。ケーブルの脱落や電圧降下により通電中にエラーが発生した場合は、新しい材料を用いて最初からやり直すこと。

(9) 確認

継手受口のインジケータが隆起していることを確認すること。インジケータの隆起が確認できない場合、またはコントローラの表示が正常終了を示していない場合は融着不良であり、この場合は接合部分を切り取り、新しい材料を用いて最初から作業をやり直すこと。

(10) 冷却

コントローラの通電終了時は内部温度が２００℃以上になっており樹脂が溶けた状態であるので、規定の冷却時間をとること。通電終了時刻に下表の口径別冷却時間を加えた冷却完了時刻を継手に記入し、冷却完了時刻になるまでクランプで固定したままにすること。なお、冷却は自然放置冷却で行い、水をかけたりして冷却してはならない。

表-3.3　口径別冷却時間

呼び径（㎜）	50	75	100	150	200
冷却時間（分）	5	10	10	10	15

※呼び径75～200については参考表記

(11) 固定の解除

冷却終了後にクランプを外す。クランプを外す時も必要以上に動かしたりして、無理な力を

加えてはならない。なお、管路内への通水は、最後のＥＦ接合が終了しクランプを外せる状態になった後、呼び径50～75の場合は20分、呼び径100の場合は30分、呼び径150の場合は45分、呼び径200の場合は60分経過した後に行うこと。

3.7.5 メカニカル接合

(1) 管端の処理及び清掃

管端が直角になるように切断し、管端面のバリを取り除いたうえで管端から200㎜程度の内外面を清潔なウエス等で油・砂等の異物を除去する。また、管端の外周部の面取りを行うことで挿入が容易になるので適宜行うこと。

(2) インナーコアの取付

インナーコアに付着した汚れを清潔なウエス等で清掃し、管に挿入する。インナーコアが入りにくい場合は、角材等を当ててプラスチックハンマー等で軽く叩いて挿入する。

(3) 標線の記入

標線を記入し接合作業を行うこと。

(4) 滑剤の塗布と挿入

管端、継手本体受口のゴム内面に滑剤を塗布し、本体を指定の挿入量まで挿入すること。

(5) 締め付け

各ボルト・ナットを定められた状態になるまで締め付けること。

(6) 防食シートの被覆

金属の腐食を防止するため、ポリエチレンスリーブによる防食を施すこと。

3.7.6 サドル取付及び穿孔

(1) 管に傷がないかを点検のうえ、管に付着している土、汚れ等を清潔なウエスで清掃すること。

(2) サドルに土、汚れ等が付着していないことを確認し、管にサドルを取付けること。

(3) 穿孔を行う場合は、手動の穿孔機を用い専用のホルソーで行うこと。電動の穿孔機は、回転が早く摩擦により管を傷めることがあるので使用しないこと。

(4) ポリエチレン管については、溶剤浸透防護スリーブを切断・加工してサドルに被覆すること。それ以外の管については、金属部分の腐食を防止するため、防食シートで被覆すること。

3.8 接合管理（水道配水用ポリエチレン管）

3.8.1 ＥＦ接合

ＥＦ接合の接合管理については、全ての継手部において「水道配水用ポリエチレン管ＥＦ接合チェックシート」（配水用ポリエチレンパイプシステム協会様式）を作成し、監督員に提出すること。

3.8.2 メカニカル接合

押輪と継手本体がメタルタッチしている状態で、各メーカーで指定している標準挿入量の標線まで押輪端面が挿入されていることを確認すること。また各メーカーのチェックシートを作成し、監督員に提出すること。

3.9 弁類及び消火栓設置工

3.9.1 弁類（仕切弁、バタフライ弁、空気弁）

弁の開閉方向は、φ50 ㎜以上は右開き左閉じとする。ただし、ビニル管φ50 ㎜においては左開き右閉じとする。設置は、開栓器が操作できる位置、高さとし、スピンドルまでの間隔は 200～1,100 ㎜とする。なお、φ50 ㎜以上の仕切弁、バタフライ弁については、ラミネート製の表示プレート（添付資料参照）を設置すること。

3.9.2 消火栓

消火栓の設置は、「4.7.4 消火栓設置基準」に基づいて施工すること。

なお、カップリングまでの間隔は 230～400 ㎜とする。

3.9.3 仕切弁及び消火栓室

(1) 仕切弁及び消火栓室の下部ボックスは本市指定の物とし、現場の状況によりそれによることが出来ない場合には、監督員の承認を得て他の方法で施工するものとする。

(2) 鉄蓋枠は本市指定の物とし、歪み、がたつき等のないものでなければならない。また、鉄蓋の設置は「4.7.3 鉄蓋類設置基準」に基づいて施工すること。

3.10 埋戻し

埋戻しは監督員の承認を得てから行うこと。特に、管天端までは、管に損傷をあたえない機材にて入念に胴締めを行い、埋戻し土は良質な土砂を用い厚さ 20㎝ 以下を一層としその都度、十分締固めを行わなければならない。

管周りの砂については表 3-4 に示す粒度範囲の新材を使用し、再生材の使用は行わない。また、ポリエチレンスリーブが被覆してある場合は、破らないよう十分注意して埋戻さなければならない。

表-3.4　粒度範囲

ふるいの呼び寸法（㎜）	ふるい通過重量百分率（%）
4.75	100
2.00	50～100
0.075	0～10

3.11 舗装復旧工

(1) 表層は天候及び交通により激しい影響を受けるので均質で密なものとなるように特に入念に施工しなければならない。

(2) 舗装は監督員が承諾した場合を除き、雨天、低温時等では行ってはならない。

(3) 主骨材の敷均し、目潰し材の散布は所定量を一様になるよう注意して行わなければならない。また、主骨材の敷均しはプライムコートの瀝青材が路盤面に完全に吸着されてから行うこと。

(4) アスファルト乳剤の散布は加圧式散布機により行い、アスファルトの温度、散布時の気温、骨材の乾燥状態等に注意し、骨材面へのアスファルトの付着及び浸透が悪くならないように、ま

た、一様に散布するように注意しなければならない。なお、アスファルト舗装の混合物の敷き均し時の温度は、110℃を下廻らないこと。

(5) 転圧はローラーで各層ごとに骨材が十分噛み合い、密になるまで入念に行わなければならない。なお、ローラーで転圧できない部分はタンパーで十分突き固め、スムーサーで仕上げなければならない。

(6) 必要に応じ表層及び基層のサンプルの採集及び分析結果の提出を求めることがある。

3.12 水圧試験

(1) 布設管路において、表-3.5 に定める対象路線は原則として水圧試験によって管路の水密性、安全性を監督員立会いのもと確認すること。また、試験結果に応じて適切な措置を講じること。なお、空気圧での試験は行わないこと。施工条件などの止むを得ない制約がある場合には、この限りではない。

表-3.5　水圧試験対象路線

管径（㎜）	試験対象基準	備考
φ50～φ100	水道配水用ポリエチレン管においてＥＦ接合を伴う管路	
φ150～φ350	緊急輸送道路、堤防道路、重要給水路線	
基幹管路	全路線	

※部分的な移設箇所は監督員立会いのもと目視により確認すること。

(2) 水道配水用ポリエチレン管においてＥＦ接合を伴う管路は、水圧 0.75MPa まで加圧し 5 分間置き、5 分間経過後、0.75MPa まで再加圧する。その後、0.50MPa まで減圧し、1 時間経過後に 0.40MPa 以上保持すれば合格とする。それ以外の管路においては、水圧 0.50MPa まで加圧し、10 分経過後に 0.40MPa 以上保持すれば合格とする。

(3) 割丁字管において穿孔を行う際は、取付後、水圧 0.75MPa まで加圧して 5 分経過後に水圧の低下が見られなければ合格とする。

(4) 試験結果について、水圧試験結果報告書（添付様式参照）を作成して監督員に提出すること。

(5) 溶接継手構造の管路については、溶接部の放射線透過試験か、それが適用できない場合は、超音波探傷試験を実施することにより、水圧試験の代わりとすることができる。

3.13 管洗浄

管の洗浄作業は監督員の指示に従って行い、請負者が勝手に行ってはならない。

3.14 既設管との接続

(1) 断水を伴う工事実施日は、工事の進捗状況及び飲食店、学校等の現場周辺環境を考慮し、監督員と協議のうえで決定すること。

(2) 既設管との接続工事は断水時間を極力短くするため、円滑な作業ができるよう十分な作業員を配置し、配管資材を確認し、機器を十分準備し、迅速かつ確実に施工しなければならない。

(3) 既設管の切断に先立ち、監督員の指示立会いのうえ、管種等を調べ、設計書に示された既設管であることを確認したうえで施工しなければならない。

(4) 水道配水用ポリエチレン管を止水する場合、凍結時に管が脆くなるため、凍結工法は採用しない。

(5) 水道配水用ポリエチレン管φ100を圧着する場合、スクイズオフ工法とすること。
スクイズオフ工法とは、配水用ポリエチレンパイプシステム協会推奨品のHPPE用スクイズオフ機を使用して圧着する工法。潰し過ぎ防止装置（ストッパー）があり完全止水ではないため、既設管との接続はメカニカル接合となる。また、管の圧着部に矯正工具を取り付けて円形に復元する。この際、矯正工具をすぐに外すのではなく、締め付けた状態で１５分程度保持する。矯正後、圧着部には、補強用ソケットもしくはメカニカルソケットを被せて補強する。補強用ソケットで補強する場合、スクイズオフ機を設置する前に、圧着部を手かんなで全周スクレープする必要がある。

3.15 建設廃材（石綿セメント管）の処理方法

(1) 石綿セメント管の布設替工事に従事する際は、石綿作業主任者（石綿作業主任者技能講習修了者または平成 18 年 3 月 31 日以前の特定化学物質等作業主任者技能講習修了者）を選任し、安全のために必要な措置を講ずること。また事前に講習終了証の写しを提出すること。
(2) 石綿セメント管を撤去する際は、できるだけ継手から外すようにし、切断は極力避けること。やむを得ず切断する場合は、管体に散水するなどして湿潤の状態を保ち、石綿粉塵が飛散しないよう適切な措置を講じること。
(3) 石綿セメント管を撤去した場合は、建設廃材としての産業廃棄物の処理基準に基づいて行うこと。また、撤去後の処分は速やかに行い、処分状況については処理証明書を監督員に提出すること。
(4) その他、「石綿障害予防規則」（平成 17 年 7 月 1 日施行）を遵守すること。

3.16 配水管明示

(1) 管上、中間明示テープ及び管探知ワイヤーを「4.9 明示テープ類仕様及び施工要領」に基づいて施工すること。
(2) 水道配水用ポリエチレン管において管上明示テープの明示方法は、胴巻テープ（１回半巻き）とする。また胴巻テープの間隔は、管１本（５ｍ）あたり４箇所で、管の両端から１５～２０㎝並びに中間２箇所の明示とし、切管使用時も２ｍ以上とならないようにする。
それ以外の管において、φ350 ㎜以下なら胴巻テープ（１回半巻き）とする。φ400 ㎜以上は、胴巻テープ（１回半巻き）と管上テープの組み合わせとする。また、胴巻テープの間隔は、管の両端から 30～50 ㎝並びに中間は胴巻き間隔が 1.0m 以上とならないようにする。
(3) 管探知ワイヤーは、仕切弁、消火栓および空気弁設置箇所においても切断せず、弁筐内でよじり合わせて地上から手の届く位置まで立ち上げておく。

3.17 道路工事現場における標示施設等の設置基準

小口径配水管布設工事、仮設工事及び部分的な切り回し工事等を行う場合、工事中看板、工事予告看板、工事説明看板、工事情報看板の工事内容は「水道管を埋設しています」とすること。

φ50 ㎜以上の耐震管を含む工事を行う場合は、「地震に強い水道管に入れ替えています」とすること。ただし、特殊な作業や現場の状況・作業内容等によっては、監督員と協議するものとする。

図-3.2(a)，(b)保安設備標準様式図参照

3.18 施工管理基準

この施工管理基準は、一宮市上下水道部が発注する配水管布設工事について適用する。ただし、設計図書に明示されていない仮設構造物等は除くものとする。

また、施工条件等により、この施工管理基準によりがたい場合、もしくはこの施工基準に定めのない工種については、監督員と協議の上、施工管理を行うものとする。

図-3.3(a)，(b)出来形管理基準及び規格値（上水道編)、及び表-3.6 写真管理基準　写真撮影箇所一覧表（上水道編)参照

注）電子小黒板を使用し配管状況等を撮影する場合、電子小黒板に使用材料を記入し、配管図は写真帳に別途記載すること。

仮設工事及び部分的な切り回し工事等を行う場合

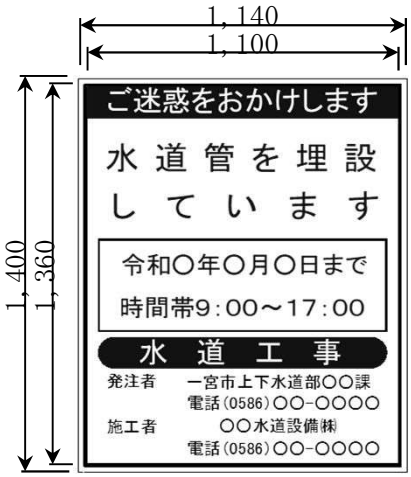
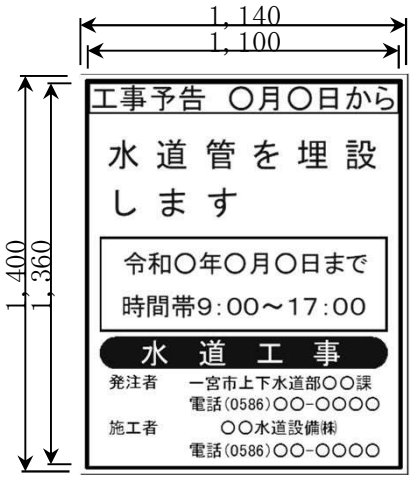
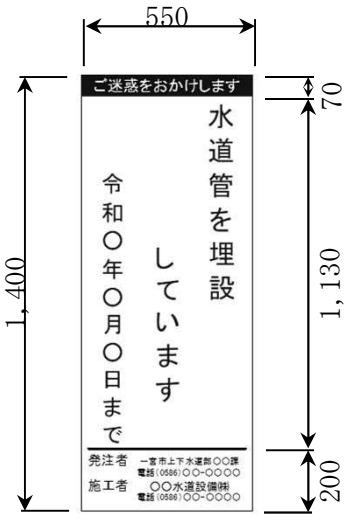
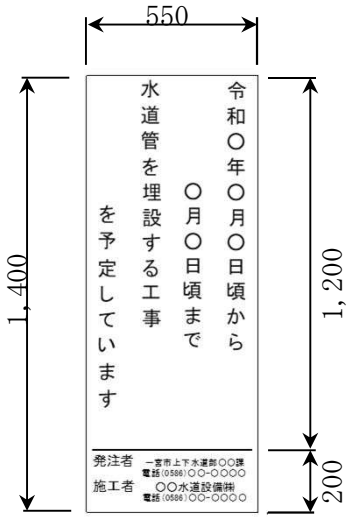
番号	(1)	(2)
区分	標示板	標示板
名称	工事中看板	工事予告看板
様式及び標準寸法(㎜)		
注	色彩は、「ご迷惑をおかけします」、「水道工事」等の工事種別については青地に白抜き文字とし、「水道管を埋設しています」等の工事内容、工事期間については、青色文字、その他の文字及び線は黒色、地を白色とする。 線の余白は２㎝、縁線の太さは１㎝、区画線の太さは０．５㎝とする。	「工事予告　○月○日から」については、青色文字とし、その他の文字等については工事中看板と同じとする。
番号	(3)	(4)
区分	標示板	標示板
名称	工事説明看板	工事情報看板
様式及び標準寸法(㎜)		
注	工事情報を提供するために、工事開始から工事終了までの間、歩行者や沿道住民の方々が見やすいように設置する。 色彩は、「ご迷惑をおかけします」については青地に白抜き文字、「水道管を埋設しています」等の工事内容については青色文字、その他の文字及び線は黒色、地を白色とする。	予定している工事情報を提供するために、工事を開始する約１週間前から工事を開始するまでの間、歩行者や沿道住民の方々が見やすいように設置する。 色彩は、「水道管を埋設する工事を予定しています」等の工事内容については青色文字、その他の文字及び線は黒色、地を白色とする。

図-3.2(a)　保安設備標準様式図

φ50㎜以上の耐震管を含む工事を行う場合

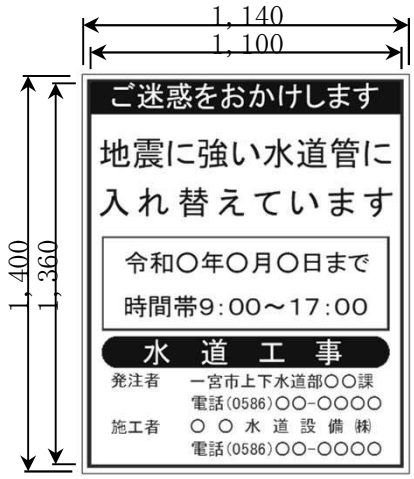
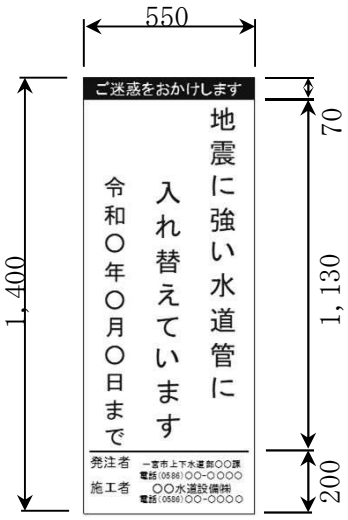
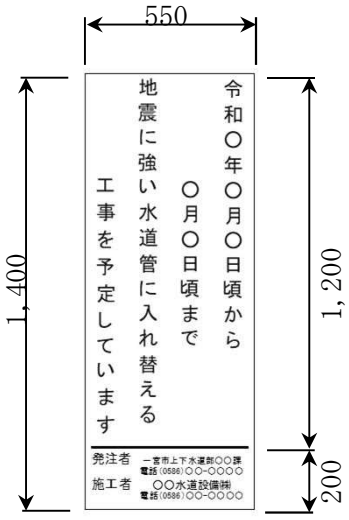
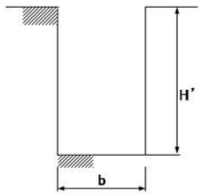
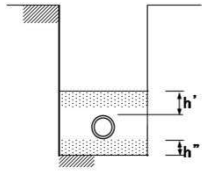
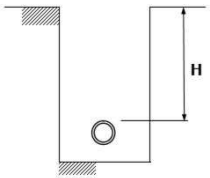
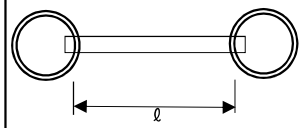
番号	(1)	(2)
区分	標示板	標示板
名称	工事中看板	工事予告看板
様式及び標準寸法(㎜)		
注	色彩は、「ご迷惑をおかけします」、「水道工事」等の工事種別については青地に白抜き文字とし、「地震に強い水道管に入れ替えています」等の工事内容、工事期間については、青色文字、その他の文字及び線は黒色、地を白色とする。 線の余白は２㎝、縁線の太さは１㎝、区画線の太さは０．５㎝とする。	「工事予告　○月○日から」については、青色文字とし、その他の文字等については工事中看板と同じとする。
番号	(3)	(4)
区分	標示板	標示板
名称	工事説明看板	工事情報看板
様式及び標準寸法(㎜)		
注	工事情報を提供するために、工事開始から工事終了までの間、歩行者や沿道住民の方々が見やすいように設置する。 色彩は、「ご迷惑をおかけします」については青地に白抜き文字、「地震に強い水道管に入れ替えています」等の工事内容については青色文字、その他の文字及び線は黒色、地を白色とする。	予定している工事情報を提供するために、工事を開始する約１週間前から工事を開始するまでの間、歩行者や沿道住民の方々が見やすいように設置する。 色彩は。「地震に強い水道管に入れ替える工事を予定しています」等の工事内容については青色文字、その他の文字及び線は黒色、地を白色とする。

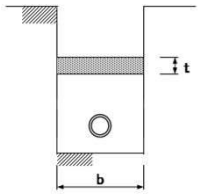
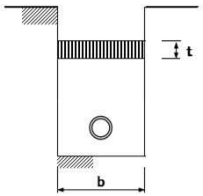
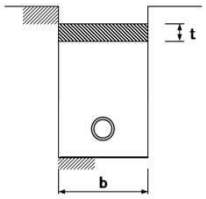
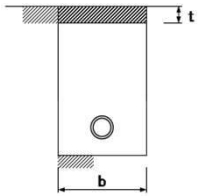
図-3.2(b)　保安設備標準様式図

出来形管理基準及び規格値　（上水道編）　　（mm）

		工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
管路土工	管路掘削	管路掘削[開削]	掘削深さ　H’	±30	測点間の中心部付近を測定する。 測点間に、掘削深さ・掘削幅が変わる箇所があれば、測定箇所を追加する。		
			掘削幅　b	-50			
	管路埋戻	砂埋戻	管上厚さ　h’	設計値以上	測点間の中心部付近を測定する。 ※1 HPPE布設工の場合とする。		
			砂基礎厚さ　h″ ※1	設計値以上			
管布設工	管布設［開削］	管布設[開削]	延長　L	-15L/1000	口径別延長を測定する。 土被りは、測点間ごとに測定する。 測点間に、土被りが変わる箇所があれば、測定箇所を追加する。		
			土被り　H	±30			
	管布設［推進］	管布設[推進]	総延長　L	-200	推進工においては、推進延長（鞘管）で管理する。		
			延長　ℓ	-200			
			土被り　H	±50			

図－3.3(a)　出来形管理基準及び規格値（上水道編）

出来形管理基準及び規格値　（上水道編）　　（mm）

		工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
付帯工	舗装復旧工	アスファルト舗装工（下層路盤工）	厚さ　t	-45	測定間の中心部付近を測定する。		
			幅　b	-50			
		アスファルト舗装工（上層路盤工）	厚さ　t	-20	測定間の中心部付近を測定する。		
			幅　b	-50			
		アスファルト舗装工（基層工）	厚さ　t	-12	測定間の中心部付近を測定する。		
			幅　b	-25			
		アスファルト舗装工（表層工）	厚さ　t	-9	測定間の中心部付近を測定する。 面積については、本復旧まで施工する場合、仮復旧を省略してもよい。		
			幅　b	-25			
			面積　A	設計値以上			
		区画線工	延長　L（15cm 換算）	設計値以上			

図－3.3(b)　出来形管理基準及び規格値（上水道編）

表-3.6 写真管理基準 写真撮影箇所一覧表(上水道編)

区分・工種				写真撮影箇所		
				頻度	項目	備考
着前完成		着手前		地点、地点間毎に1回	全景	
				全箇所	給水箇所全景、メーターBOX付近	
		完成		地点、地点間毎に1回	全景	
				全箇所	給水箇所全景、メータ-BOX付近	
使用材料				各品目毎	各種材料	
				1工事毎に1回	保管状況	
安全管理				1工事毎に1回	各種標識類、保安設備の設置状況、交通誘導警備員の配置状況	
その他		試掘		必要に応じて	地下埋設物、地下水位、土質など	
		関係構造物		必要に応じて	家屋、壁、側溝、境界杭等など	
		その他		必要に応じて	監督員が指示したもの	
施工状況	配水管	管路土工	掘削工	地点間毎に1回	掘削状況	
					床均し状況	
					幅、深さ	
			埋戻工（管回り）	地点間毎に1回	埋戻状況	
					敷均し状況	
					締固め、胴締め、転圧状況	
					厚み	
			埋戻工（路床、路体）	地点間毎に1回	埋戻伏況	
					敷均し状況	
					転圧伏況	
					厚み	
		管布設工	布設完了	地点間毎に1回。出幅、土被り変化点。	土被り、出幅	
				地点毎に1回 切管・異形管使用箇所	配管状況	
			吊り込み状況	地点間毎に1回	吊り込み、据え付け状況	
			中間テープ	地点間毎に1回	完了状況	
			管切断状況 挿し口加工（DIP-GX）	1工事毎に1回	切断、バリ取り、補修剤塗布、溝切、挿しロリング取付、 挿入長マーキング	
			管切断状況 挿し口加工 （HPPE）	1工事毎に1回	切断、切削長マーキング、スクレープ、清掃、挿入長マーキング	
			接合状況（DIP-GX）	1工事毎に1回	ライナ設置状況、滑剤塗布状況、挿入状況、ボルト締め付け状況、 ゴム輪位置確認	
			接合状況（HPPE）	1工事毎に1回	融着状況、インジケータの確認、冷却（5分）	
			接合完了	1工事毎に1回	のみ込み量の確認	
			洗管、水質試験	実施毎に1回、水質試験実施時	洗管用配管完了、洗管状況、水質試験状況	
			既設管接続等	全接続箇所	既設管状況	
				全箇所	取付工、末端取付工、閉塞工状況、防食措置	
			不断水割丁宇	全箇所	施工状況、切片、水圧試験、埋戻状況	
			止水工	全箇所	施工状況、道具、材料	
			水圧試験	全箇所	水圧	
			その他	必要に応じて	障害物の寸法、深さ、離隔	
		舗装工	舗装版切断工	1工事毎に1回	切断状況、濁水吸引状況	
			舗装版破砕工	地点間毎に1回	破砕積込状況、既設舗装厚	
			下層路盤工	地点間毎に1回	転圧状況	
					幅、厚み	
			表層工	地点間毎に1回	乳剤散布状況、完了	
					転圧状況	
					幅、厚み	
					到着温度、敷き均し温度	
					コア採取状況	
	弁類設置	仕切弁設置工		全箇所	仕切弁設置状況、弁室設置状況	
		仕切弁設置工（不断水）		全箇所	仕切弁設置状況、切片、水圧試験、弁室設置状況	
	消火栓設置	消火栓設置工		全箇所	消火栓設置状況、弁室設置状況	
	給水管	管路土工	掘削工	5箇所に1回	機械掘削状況、人力掘削状況	
			埋戻工（管回り）	5箇所に1回	埋戻状況	
					敷均し状況	
					締め固め、胴締め、転圧状況	
				全箇所	厚み	
			埋戻工（路床、路体）	5箇所に1回	埋戻状況	
					敷均し状況	
					転圧状況	
					厚み	
		管布設工	給水管取付	全箇所	取付完了、防食シート被覆完了、コア取付状況	
			給水管布設	全箇所	配管完了	
					土被り	
			中間テープ	5箇所に1回	中間テープ設置完了	
			給水バルブ	全箇所	設置完了	
			給水装置	全箇所	ボール止水、メーターBOX設置完了、メーター取付完了、宅内後旧状況	
		舗装工	舗装版切断工	–	–	
			舗装版破砕工	–	–	
			下層路盤工	5箇所に1回	転圧状況	
					幅、厚み	

区分・工種				写真撮影箇所		
				頻度	項目	備考
施工状況	給水管	舗装工	表層工	5箇所に1回	乳剤散布状況、完了	
					転圧状況	
					幅、厚み	
	耐震補強工	管路土工	掘削工	地点間毎に1回	機賊掘削状況、人力掘削状況	
				地点毎に1回	幅、深さ	
			埋戻工（管回り）	地点間毎に1回	締め固め、胴締め、転圧状況	
				地点間毎に1回	厚み	
			埋戻工（路床、路体）	地点毎に1回	転圧状況	
				地点間毎に1回	厚み	
		継手耐震補強工	既設管状況	全箇所	既設管の土被り、出幅	
			清掃	全箇所	清掃完了状況	
			金具設置	全箇所	設置完了状況	
				口径、種類毎に1回	設置状況	
			ポリエチレンシート被覆	全箇所	ポリエチレンシート被覆完了状況	
			中間テープ	地点間毎に1回。地点毎に1回。	完了状況	
		舗装工	舗装版切断工	–	–	
			舗装版破砕工	地点間毎に1回。地点毎に1回。	破砕積込状況	
			下層路盤工	地点間毎に1回 地点毎に1回	転圧状況	
					幅、厚み	
			表層工	地点間毎に1回 地点毎に1回	乳剤散布状況、完了	
					転圧状況	
					幅、厚み	
					到着温度、敷き均し温度	
	仮配管工	管路土工	掘削工	地点間毎に1回 地点毎に1回	掘削状況	
					床均し状況	
					幅、深さ	
			埋戻工	地点間毎に1回 地点毎に1回	転圧状況	
					厚み	
		管布設工	布設完了	地点間毎に1回。地点毎に1回。	土被り、出幅	
				地点間毎に1回。地点毎に1回。	配管状況	
			洗管	地点間毎に1回。地点毎に1回。	洗管状況	
			既設管接続等	全接続箇所	既設管状況	
				全箇所	取付工、末端取付工、閉塞工状況、防食借置	
		管撤去工		地点間毎に1回。地点毎に1回。	撤去状況	
		舗装工	舗装版切断工	–	–	
			舗装版破砕工	地点間毎に1回。地点毎に1回。	破砕積込状況、既設舗装厚	
			下層路盤工	地点間毎に1回 地卓毎に1回	転圧状況	
					幅、厚み	
			表層工	地点間毎に1回 地点毎に1回	乳剤散布状況、完了	
					転圧状況	
					幅、厚み	
					到着温度、敷き均し温度	
	充填工	閉塞工		全箇所	閉塞、立ち上げ状況	
		注入工	注入状況	1施工毎に1回	注入状況、流出確認、PH管理	
			注入量	1工事毎に1回	注入量	
	付帯工	舗装工	舗装版切断工	—	—	
			舗装版破砕工	—	—	
			上層路盤工	地点間毎に1回	乳剤散布状況、完了	
					転圧状況	
					幅、厚み	
					到着温度、敷き均し温度	
					コア採取状況	
			基層工	地点間毎に1回	乳剤散布状況、完了	
					転圧状況	
					幅、厚み	
					到着温度、敷き均し温度、開放温度	
					コア採取状況	
			表層工	地点間毎に1回	乳剤散布状況、完了	
					転圧状況	
					幅、厚み	
					到着温度、敷き均し温度、開放温度	
					コア採取状況	
		区画線工		1工事毎に1回	施工伏況	
		管路土留工		種類毎に1回	設置完了状況	
					土留材検収	
		水替工		1工事毎に1回	設置伏況	
		道路付属物撤去工	撤去工	全箇所	施工前、施工状況、完了状況	
			設置工	全箇所	施工前、施工状況、完了状況	
		植栽工	撤去工	全箇所	施工前、施工状況、完了状況	
			設置工	全箇所	施工前、施工状況、完了状況	
建設副産物処理		濁水処理		処分先毎に1回	処分状況	
		As殻処理				
		Co殻処理				
		残土処理				
		廃プラ処理				
		スクラップ処理				

第４章　配水管布設工事　設計・施工基準

4.1 適用範囲

本章に記載する内容は、管径 50 ㎜～600 ㎜の配水管のうち一般的なものを対象とする。なお、管径 700 ㎜以上の配水管及び、特殊な条件下の工事現場においては、本基準を参考とし別途検討すること。

4.2 標準土工

4.2.1 布設工

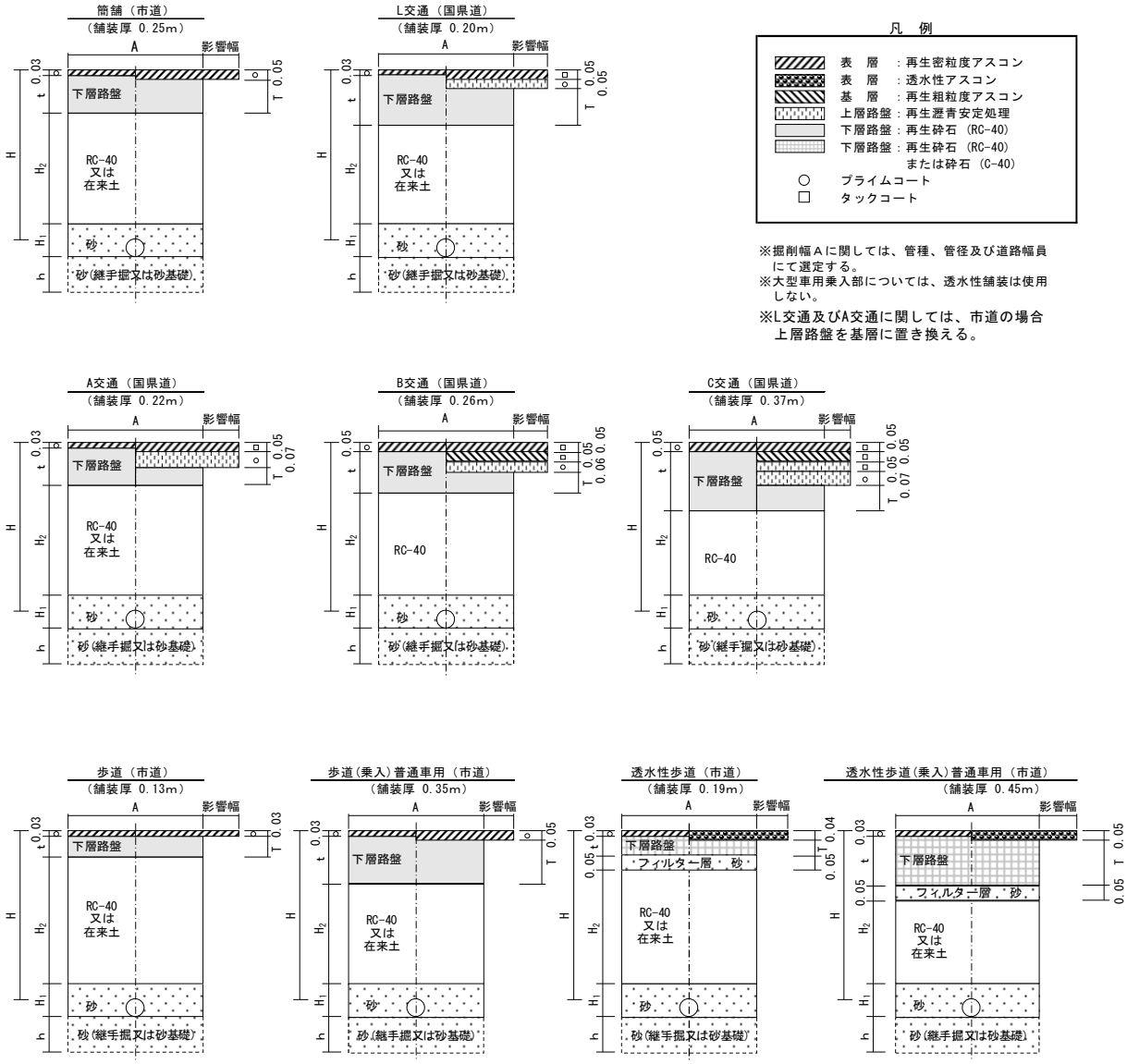


図-4.1　布設工　標準土工事図及び路面復旧図

表-4.1 標準土工 寸法表

			土被り H m	掘削幅 A m	掘削深 (継手掘除く) m	H_1 m	継手堀深 又は砂基礎厚 h m	継手堀長 L m
φ50HPPE	市道		0.60	0.60	0.76	0.16	砂基礎 0.10	−
	国・県道（歩道）							
	国・県道（車道）	A交通	0.90		1.06			
		B交通	1.00		1.16			
	国・県道（車道C交通）		1.20		1.36			
φ50VP	市道		0.80	0.60	0.86	0.16	−	−
	国・県道（歩道）							
	国・県道（車道）		1.00		1.06			
	国・県道（車道C交通）		1.20		1.26			
φ100HPPE	市道	一般部	0.80	0.60	1.03	0.33	砂基礎 0.10	−
		市街地	1.00		1.23			
	国・県道（歩道）	一般部	0.80		1.03			
		市街地	1.00		1.23			
	国・県道（車道）		1.00		1.23			
	国・県道（車道C交通）		1.20		1.43			
φ100DIP	市道	一般部	0.80	【GX】 0.60 【NS,K】 0.65	0.92	0.22	0.30	0.50
		市街地	1.00		1.12			
	国・県道（歩道）	一般部	0.80		0.92			
		市街地	1.00		1.12			
	国・県道（車道）		1.00		1.12			
	国・県道（車道C交通）		1.20		1.32			
φ150DIP	市道		1.00	【GX】 0.60 【NS,K】 0.70 (0.75)	1.17	0.27	0.30	0.50
	国・県道							
	国・県道（車道C交通）		1.20		1.37			
φ200DIP	市道		1.00	【GX】 0.60 【NS,K】 0.75	1.22	0.32	0.30	0.50
	国・県道							
	国・県道（車道C交通）		1.20		1.42			
φ250DIP	市道		1.00	【GX】 0.65 【NS,K】 0.80	1.27	0.37	0.30	0.50
	国・県道							
	国・県道（車道C交通）		1.20		1.47			
φ300DIP	市道		1.00	【GX】 0.70 (0.75) 【NS,K】 0.85	1.32	0.42	0.30	0.50
	国・県道							
	国・県道（車道C交通）		1.20	【GX】 0.85 (1.00) ※2 【NS,K】 0.95 (1.00) ※2	1.52			
φ350DIP	市道		1.20	1.00 ※2	1.57	0.47	0.30	0.50
	国・県道							
φ400DIP	市道		1.20	1.05 ※2	1.63	0.53	0.60	0.80
	国・県道							
φ450DIP	市道		1.20	1.10 ※2	1.68	0.58	0.60	0.80
	国・県道							
φ500DIP	市道		1.20	1.15 ※2	1.73	0.63	0.60	0.80
	国・県道							
φ600DIP	市道		1.20	1.30 ※2	1.83	0.73	0.60	0.80
	国・県道							

※1. φ75については、φ100に準ずる。
※2. 建込簡易土留使用時。
※3. 標準寸法以外の土被りについて、寸法表において土被りしか変わらない場合は「簡舗 H=1.2」のように図面表記することで特殊土工事の表記を省略することができる。
※4. 掘削幅 A（）内数値は、ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.45m³使用時。

表-4.2(a)　φ50HPPE布設工標準土工　数量表

舗装種別		下層路盤 T cm	表層 基層 上層 cm	掘削幅 A m	土被り H m	賄砂 H_1 m	H_2 m	砂基礎 h m	補足材厚 m	下層路盤工（人力） cm	ﾌｨﾙﾀｰ層 cm
市道	簡舗	20	As　5	0.60	0.60	0.16	0.25	0.10	－	t=22（2層）	－
	L交通	20	As　10				0.20		－	t=27（2層）	－
	A交通	10	As　12				0.28		－	t=19	－
	歩道	10	As　3				0.37		－	t=10	－
	歩道(乗入)	30	As　5				0.15		－	t=32（2層）	－
	透水性歩道	10	As　4				0.31		－	t=11	5
	透水性歩道（乗入）	35	As　5				0.05		－	t=37（2層）	5
国 県道	A交通	10	As　12	0.60	0.90	0.16	0.58	0.10	－	t=19	－
	B交通	10	As　16		1.00		0.64		－	t=21（2層）	－
	C交通	15	As　22		1.20		0.73		－	t=32（2層）	－

注）　市道 L交通において、道路管理者が指定する道路については、T=30cm

表-4.2(b)　φ50VP布設工標準土工　数量表

舗装種別		下層路盤 T cm	表層 基層 上層 cm	掘削幅 A m	土被り H m	賄砂 H_1 m	H_2 m	補足材厚 m	下層路盤工（人力） cm	ﾌｨﾙﾀｰ層 cm
市道	簡舗	20	As　5	0.60	0.80	0.16	0.45	－	t=22（2層）	－
	L交通	20	As　10				0.40	－	t=27（2層）	－
	A交通	10	As　12				0.48	－	t=19	－
	歩道	10	As　3				0.57	－	t=10	－
	歩道(乗入)	30	As　5				0.35	－	t=32（2層）	－
	透水性歩道	10	As　4				0.51	－	t=11	5
	透水性歩道（乗入）	35	As　5				0.25	－	t=37（2層）	5
国 県道	A交通	10	As　12	0.60	1.00	0.16	0.68	－	t=19	－
	B交通	10	As　16		1.00		0.64	－	t=21（2層）	－
	C交通	15	As　22		1.20		0.73	－	t=32（2層）	－

注）　市道 L交通において、道路管理者が指定する道路については、T=30cm

表-4.2(c)　φ100HPPE布設工標準土工　数量表

舗装種別			下層路盤 T cm	表層 基層 上層 cm	掘削幅 A m	土被り H m	賄砂 H_1 m	H_2 m	砂基礎 h m	補足材厚 m	下層路盤工（人力） cm	ﾌｨﾙﾀｰ層 cm
市道	簡舗	一般部	20	As 5	0.60	0.80	0.23	0.45	0.10	－	t=22（2層）	－
		市街地				1.00		0.65				
	L交通	一般部	20	As 10		0.80		0.40		－	t=27（2層）	－
		市街地				1.00		0.60				
	A交通	一般部	10	As 12		0.80		0.48		－	t=19	－
		市街地				1.00		0.68				
	歩道	一般部	10	As 3		0.80		0.57		－	t=10	－
		市街地				1.00		0.77				
	歩道(乗入)	一般部	30	As 5		0.80		0.35		－	t=32（2層）	－
		市街地				1.00		0.55				
	透水性歩道	一般部	10	As 4		0.80		0.51		－	t=11	5
		市街地				1.00		0.71				
	透水性歩道（乗入）	一般部	35	As 5		0.80		0.25		－	t=37（2層）	5
		市街地				1.00		0.45				
国県道	A交通		10	As 12	0.60	1.00	0.23	0.68	0.10	－	t=19	－
	B交通		10	As 16		1.00		0.64		－	t=21（2層）	－
	C交通		15	As 22		1.20		0.73		－	t=32（2層）	－

注）　市道 L交通において、道路管理者が指定する道路については、T=30cm

表-4.2(d)　φ100DIP布設工標準土工　数量表

舗装種別			下層路盤 T cm	表層 基層 上層 cm	掘削幅 A m	土被り H m	賄砂 H_1 m	H_2 m	補足材厚 m	下層路盤工（人力） cm	ﾌｨﾙﾀｰ層 cm
市道	簡舗	一般部	20	As 5	【GX】0.60 【NS,K】0.65	0.80	0.22	0.45	－	t=22（2層）	－
		市街地				1.00		0.65			
	L交通	一般部	20	As 10		0.80		0.40	－	t=27（2層）	－
		市街地				1.00		0.60			
	A交通	一般部	10	As 12		0.80		0.48	－	t=19	－
		市街地				1.00		0.68			
	歩道	一般部	10	As 3		0.80		0.57	－	t=10	－
		市街地				1.00		0.77			
	歩道(乗入)	一般部	30	As 5		0.80		0.35	－	t=32（2層）	－
		市街地				1.00		0.55			
	透水性歩道	一般部	10	As 4		0.80		0.51	－	t=11	5
		市街地				1.00		0.71			
	透水性歩道（乗入）	一般部	35	As 5		0.80		0.25	－	t=37（2層）	5
		市街地				1.00		0.45			
国県道	A交通		10	As 12	【GX】0.60 【NS,K】0.65	1.00	0.22	0.68	－	t=19	－
	B交通		10	As 16		1.00		0.64	－	t=21（2層）	－
	C交通		15	As 22		1.20		0.73	－	t=32（2層）	－

注）　市道 L交通において、道路管理者が指定する道路については、T=30cm

表-4.2(e)　φ150DIP布設工標準土工　数量表

舗装種別		下層路盤 T cm	表層 基層 上層 cm	掘削幅 A m	土被り H m	賄砂 H_1 m	H_2 m	補足材厚 m	下層路盤工 (人力) cm	ﾌｨﾙﾀｰ層 cm
市道	簡舗	20	As　5	【GX】0.60 【NS,K】0.70 (0.75)	1.00	0.27	0.65	－	t=22 (2層)	－
	L交通	20	As　10				0.60	－	t=27 (2層)	－
	A交通	10	As　12				0.68	－	t=19	－
	歩道	10	As　3				0.77	－	t=10	－
	歩道(乗入)	30	As　5				0.55	－	t=32 (2層)	－
	透水性歩道	10	As　4				0.76	－	t=11	5
	透水性歩道 (乗入)	35	As　5				0.50	－	t=37 (2層)	5
国 県道	A交通	10	As　12	【GX】0.60 【NS,K】0.70 (0.75)	1.00	0.27	0.68	－	t=19	－
	B交通	10	As　16		1.00		0.64	－	t=21 (2層)	－
	C交通	15	As　22		1.20		0.73	－	t=32 (2層)	－

※ 掘削幅 A () 内数値は、ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.45m^{3}使用時。
注)　市道 L交通において、道路管理者が指定する道路については、T=30cm

4.2.2 不断水穿孔工（既設管Φ150㎜以下の標準土工）

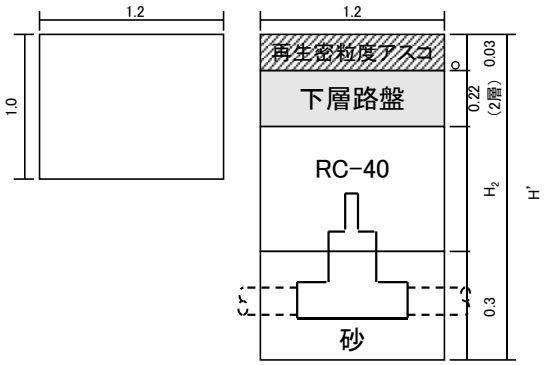
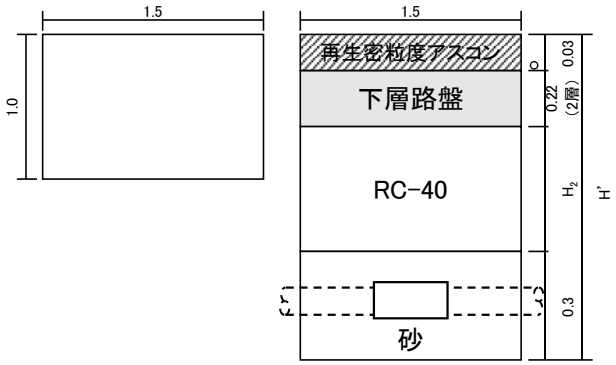


図-4.2(a)　不断水バルブ箇所 標準土工事図



○ ：プライムコート

図-4.2(b)　不断水割Ｔ箇所 標準土工事図

表-4.3　不断水穿孔工標準土工 数量表

	掘削深 H' m	H_2 m	舗装切断工 m	埋戻工 砂(機械) m3	その他
不断水バルブ	1.2	0.65	4.4	0.36	その他工種は各舗装種別による
	1.4	0.85			
不断水割Ｔ	1.2	0.65	5.0	0.45	
	1.4	0.85			

※数量表H_2は簡舗の場合であり、それ以外は別途検討する。

4.2.3 仮配管

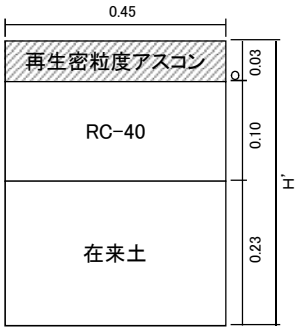
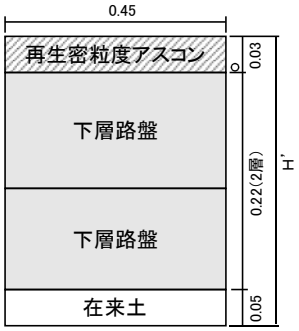


図-4.3(a)　仮配管布設工 標準土工事図



○ ：プライムコート

図-4.3(b)　仮配管撤去工 標準土工事図

表-4.4 仮配管工標準土工 数量表　　10m当り

	掘削深 H' m	舗装切断工 m	舗装破砕工 m^2	掘削工 (機械) m^3	埋戻工 在来土 (機械) m^3	埋戻工 RC-40 (機械) m^3	路盤工 RC-40 m^2	残土 処分工 m^3
布設	0.36	10	4.5	1.40	1.04	0.45	－	0.36
撤去	0.3	－	4.5	1.22	0.23	－	t=22(2層)　4.5	0.99

※数量表は簡舗の場合であり、それ以外は別途検討する。

4.2.4 取付工・給水管取付工・閉塞工

給水管取付工は、一宮市上下水道部給水装置工事指針に準ずる。

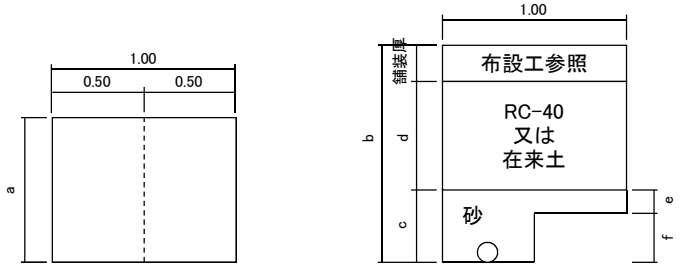


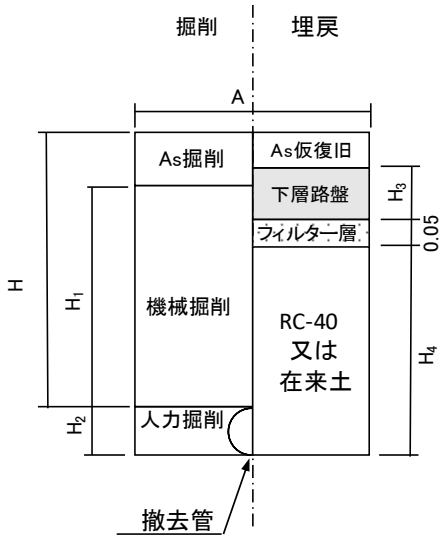
図-4.4　取付工・給水管取付工・閉塞工 標準土工事図

4.2.5 給水管布設工

一宮市上下水道部給水装置工事指針に準ずる。

※側溝等の下部を横断布設する場合は、同口径の鋼管を打ち抜き後に新設管を挿入するなど、構造物及び周辺地盤の沈下防止の対策を講じるものとする。

4.2.6 撤去工



※フィルター層は透水性舗装のみ計上

図-4.5　撤去工 標準土工事図

表-4.5 取付工標準土工　数量表

		舗装種別	下層路盤 T cm	表層 基層 上層 cm	a m	b m	c m	d m	e	f
市道	サドル分水栓取付け（φ150㎜以下）	簡舗	20	As 5	0.80	1.20	0.70	0.25	0.26	0.44
		L交通	20	As 10				0.20		
		A交通	10	As 12				0.28		
		歩道	10	As 3				0.37		
		歩道(乗入)	30	As 5				0.15		
	本管切取り	簡舗	20	As 5	1.20	1.20	0.70	0.25	0.26	0.44
		L交通	20	As 10				0.20		
		A交通	10	As 12				0.28		
		歩道	10	As 3				0.37		
		歩道(乗入)	30	As 5				0.15		
	サドル分水栓取付け（φ200㎜～φ350㎜）	簡舗	20	As 5	0.80	1.40	0.90	0.25	0.26	0.64
		L交通	20	As 10				0.20		
		A交通	10	As 12				0.28		
		歩道	10	As 3				0.37		
		歩道(乗入)	30	As 5				0.15		
国・県道	サドル分水栓取付け（φ150㎜以下）	A交通	10	As 12	0.80	1.40	0.70	0.48	0.26	0.44
		B交通	10	As 16				0.44		
		C交通	15	As 22				0.33		
	本管切取り	A交通	10	As 12	1.20	1.40	0.70	0.48	0.26	0.44
		B交通	10	As 16				0.44		
		C交通	15	As 22				0.33		
	サドル分水栓取付け（φ200㎜～φ350㎜）	A交通	10	As 12	0.80	1.60	0.90	0.48	0.26	0.64
		B交通	10	As 16				0.44		
		C交通	15	As 22				0.33		

注）　市道 L交通において、道路管理者が指定する道路については、T=30㎝

表-4.6 給水管取付工標準土工　数量表

		舗装種別	下層路盤 T cm	表層 基層 上層 cm	a m	b m	c m	d m	e	f
市道	サドル分水栓取付け（φ150㎜以下）	簡舗	20	As 5	0.80	1.20	0.60	0.35	0.30	0.30
		L交通	20	As 10				0.30		
		A交通	10	As 12				0.38		
		歩道	10	As 3				0.47		
		歩道(乗入)	30	As 5				0.25		
	本管切取り	簡舗	20	As 5	1.20	1.20	0.60	0.35	0.30	0.30
		L交通	20	As 10				0.30		
		A交通	10	As 12				0.38		
		歩道	10	As 3				0.47		
		歩道(乗入)	30	As 5				0.25		
	サドル分水栓取付け（φ200㎜～φ350㎜）	簡舗	20	As 5	0.80	1.40	0.80	0.35	0.30	0.50
		L交通	20	As 10				0.30		
		A交通	10	As 12				0.38		
		歩道	10	As 3				0.47		
		歩道(乗入)	30	As 5				0.25		
国・県道	サドル分水栓取付け（φ150㎜以下）	A交通	10	As 12	0.80	1.40	0.60	0.58	0.30	0.30
		B交通	10	As 16				0.54		
		C交通	15	As 22				0.43		
	本管切取り	A交通	10	As 12	1.20	1.40	0.60	0.58	0.30	0.30
		B交通	10	As 16				0.54		
		C交通	15	As 22				0.43		
	サドル分水栓取付け（φ200㎜～φ350㎜）	A交通	10	As 12	0.80	1.60	0.80	0.58	0.30	0.50
		B交通	10	As 16				0.54		
		C交通	15	As 22				0.43		

注）　市道 L交通において、道路管理者が指定する道路については、T=30㎝

表-4.7 標準土工 寸法表（撤去）

		As 掘削厚 m	土被り H m	掘削幅 A m	H_1 m	H_2 m	仮復旧 厚 m	下層路盤 H_3 m	ﾌｨﾙﾀｰ 層 m	H_4 m
φ50	簡舗（舗装厚0.25m）	0.05	0.60 0.80	0.60	0.55 0.75	0.06	0.03	0.22（2層）	—	0.41 0.61
	L交通（舗装厚0.30m）	0.10	0.60 0.80		0.50 0.70			0.27（2層）	—	0.36 0.56
	A交通（舗装厚0.22m）	0.12	0.90 1.00		0.78 0.88			0.19	—	0.74 0.84
	B交通（舗装厚0.26m）	0.16	1.00 1.20		0.84 1.04		0.05	0.21（2層）	—	0.80 1.00
	C交通（舗装厚0.37m）	0.22	1.20		0.98			0.32（2層）	—	0.89
	歩道（舗装厚0.13m）	0.03	0.60 0.80		0.57 0.77		0.03	0.10	—	0.53 0.73
	歩道乗入（舗装厚0.25m）	0.05	0.70 0.80		0.65 0.75			0.22（2層）	—	0.51 0.61
	透水性歩道（舗装厚0.19m）	0.04	0.60 0.80		0.56 0.76			0.11	0.05	0.47 0.67
	透水性歩道乗入（舗装厚0.45m）	0.05	0.80		0.75			0.37（2層）	0.05	0.41
φ100	簡舗（舗装厚0.25m）	0.05	0.80 1.00	【GX,VP,HPPE】 0.60 【NS,K】 0.65	0.75 0.95	【HPPE】 0.13 【DIP】 (0.12) 【VP】 〈0.11〉	0.03	0.22（2層）	—	0.68（0.67）〈0.66〉 0.88（0.87）〈0.86〉
	L交通（舗装厚0.30m）	0.10	0.80 1.00		0.70 0.90			0.27（2層）	—	0.63（0.62）〈0.61〉 0.83（0.82）〈0.81〉
	A交通（舗装厚0.22m）	0.12	0.80 1.00		0.68 0.88			0.19	—	0.71（0.70）〈0.69〉 0.91（0.90）〈0.89〉
	B交通（舗装厚0.26m）	0.16	1.00 1.20		0.84 1.04		0.05	0.21（2層）	—	0.87（0.86）〈0.85〉 1.07（1.06）〈1.05〉
	C交通（舗装厚0.37m）	0.22	1.20		0.98			0.32（2層）	—	0.96（0.95）〈0.94〉
	歩道（舗装厚0.13m）	0.03	0.80 1.00		0.77 0.97		0.03	0.10	—	0.80（0.79）〈0.78〉 1.00（0.99）〈0.98〉
	歩道乗入（舗装厚0.25m）	0.05	0.80 1.00		0.75 0.95			0.22（2層）	—	0.68（0.67）〈0.66〉 0.88（0.87）〈0.86〉
	透水性歩道（舗装厚0.19m）	0.04	0.80 1.00		0.76 0.96			0.11	0.05	0.74（0.73）〈0.72〉 0.94（0.93）〈0.92〉
	透水性歩道乗入（舗装厚0.45m）	0.05	0.80 1.00		0.75 0.95			0.37（2層）	0.05	0.48（0.47）〈0.46〉 0.68（0.67）〈0.66〉
φ150	簡舗（舗装厚0.25m）	0.05	1.00	【GX,VP】 0.60 【NS,K】 0.70 (0.75)	0.95	0.17	0.03	0.22（2層）	—	0.92
	L交通（舗装厚0.30m）	0.10	1.00		0.90			0.27（2層）	—	0.87
	A交通（舗装厚0.22m）	0.12	1.00		0.88			0.19	—	0.95
	B交通（舗装厚0.26m）	0.16	1.20		1.04		0.05	0.21（2層）	—	1.11
	C交通（舗装厚0.37m）	0.22	1.20		0.98			0.32（2層）	—	1.00
	歩道（舗装厚0.13m）	0.03	1.00		0.97		0.03	0.10	—	1.04
	歩道乗入（舗装厚0.25m）	0.05	1.00		0.95			0.22（2層）	—	0.92
	透水性歩道（舗装厚0.19m）	0.04	1.00		0.96			0.11	0.05	0.98
	透水性歩道乗入（舗装厚0.45m）	0.05	1.00		0.95			0.37（2層）	0.05	0.72
φ200	簡舗（舗装厚0.25m）	0.05	1.00	【GX】 0.60 【NS,K】 0.75	0.95	0.22	0.03	0.22（2層）	—	0.97
	L交通（舗装厚0.30m）	0.10	1.00		0.90			0.27（2層）	—	0.92
	A交通（舗装厚0.22m）	0.12	1.00		0.88			0.19	—	1.00
	B交通（舗装厚0.26m）	0.16	1.20		1.04		0.05	0.21（2層）	—	1.16
	C交通（舗装厚0.37m）	0.22	1.20		0.98			0.32（2層）	—	1.05
	歩道（舗装厚0.13m）	0.03	1.00		0.97		0.03	0.10	—	1.09
	歩道乗入（舗装厚0.25m）	0.05	1.00		0.95			0.22（2層）	—	0.97
	透水性歩道（舗装厚0.19m）	0.04	1.00		0.96			0.11	0.05	1.03
	透水性歩道乗入（舗装厚0.45m）	0.05	1.00		0.95			0.37（2層）	0.05	0.77
φ250	簡舗（舗装厚0.25m）	0.05	1.00	【GX】 0.65 【NS,K】 0.80	0.95	0.27	0.03	0.22（2層）	—	1.02
	L交通（舗装厚0.30m）	0.10	1.00		0.90			0.27（2層）	—	0.97
	A交通（舗装厚0.22m）	0.12	1.00		0.88			0.19	—	1.05
	B交通（舗装厚0.26m）	0.16	1.20		1.04		0.05	0.21（2層）	—	1.21
	C交通（舗装厚0.37m）	0.22	1.20		0.98			0.32（2層）	—	1.10
	歩道（舗装厚0.13m）	0.03	1.00		0.97		0.03	0.10	—	1.14
	歩道乗入（舗装厚0.25m）	0.05	1.00		0.95			0.22（2層）	—	1.02
	透水性歩道（舗装厚0.19m）	0.04	1.00		0.96			0.11	0.05	1.08
	透水性歩道乗入（舗装厚0.45m）	0.05	1.00		0.95			0.37（2層）	0.05	0.82

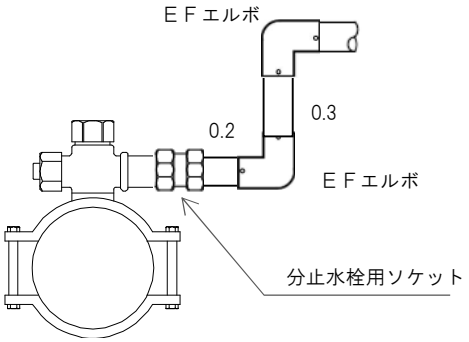
		As掘削厚 m	土被り H m	掘削幅 A m	H_1 m	H_2 m	仮復旧厚 m	下層路盤 H_3 m	ﾌｨﾙﾀｰ層 m	H_4 m
φ300	簡舗（舗装厚0.25m）	0.05	1.00	【GX】 0.70 (0.75) 【NS,K】 0.85	0.95	0.32	0.03	0.22（2層）	―	1.07
	L交通（舗装厚0.30m）	0.10	1.00		0.90			0.27（2層）	―	1.02
	A交通（舗装厚0.22m）	0.12	1.00		0.88			0.19	―	1.10
	B交通（舗装厚0.26m）	0.16	1.20	【GX】 0.85（1.00）※$_2$ 【NS,K】 0.95（1.00）※$_2$	1.04		0.05	0.21（2層）	―	1.26
	C交通（舗装厚0.37m）	0.22	1.20		0.98			0.32（2層）	―	1.15
	歩道（舗装厚0.13m）	0.03	1.00	【GX】 0.70 (0.75) 【NS,K】 0.85	0.97		0.03	0.10	―	1.19
	歩道乗入（舗装厚0.25m）	0.05	1.00		0.95			0.22（2層）	―	1.07
	透水性歩道（舗装厚0.19m）	0.04	1.00		0.96			0.11	0.05	1.13
	透水性歩道乗入（舗装厚0.45m）	0.05	1.00		0.95			0.37（2層）	0.05	0.87
φ350	簡舗（舗装厚0.25m）	0.05	1.20	1.00 ※$_2$	1.15	0.37	0.03	0.22（2層）	―	1.32
	L交通（舗装厚0.30m）	0.10	1.20		1.10			0.27（2層）	―	1.27
	A交通（舗装厚0.22m）	0.12	1.20		1.08			0.19	―	1.35
	B交通（舗装厚0.26m）	0.16	1.20		1.04		0.05	0.21（2層）	―	1.31
	C交通（舗装厚0.37m）	0.22	1.20		0.98			0.32（2層）	―	1.20
	歩道（舗装厚0.13m）	0.03	1.20		1.17		0.03	0.10	―	1.44
	歩道乗入（舗装厚0.25m）	0.05	1.20		1.15			0.22（2層）	―	1.32
	透水性歩道（舗装厚0.19m）	0.04	1.20		1.16			0.11	0.05	1.38
	透水性歩道乗入（舗装厚0.45m）	0.05	1.20		1.15			0.37（2層）	0.05	1.12
φ400	簡舗（舗装厚0.25m）	0.05	1.20	1.05 ※$_2$	1.15	0.43	0.03	0.22（2層）	―	1.38
	L交通（舗装厚0.30m）	0.10	1.20		1.10			0.27（2層）	―	1.33
	A交通（舗装厚0.22m）	0.12	1.20		1.08			0.19	―	1.41
	B交通（舗装厚0.26m）	0.16	1.20		1.04		0.05	0.21（2層）	―	1.37
	C交通（舗装厚0.37m）	0.22	1.20		0.98			0.32（2層）	―	1.26
	歩道（舗装厚0.13m）	0.03	1.20		1.17		0.03	0.10	―	1.50
	歩道乗入（舗装厚0.25m）	0.05	1.20		1.15			0.22（2層）	―	1.38
	透水性歩道（舗装厚0.19m）	0.04	1.20		1.16			0.11	0.05	1.44
	透水性歩道乗入（舗装厚0.45m）	0.05	1.20		1.15			0.37（2層）	0.05	1.18
φ450	簡舗（舗装厚0.25m）	0.05	1.20	1.10 ※$_2$	1.15	0.48	0.03	0.22（2層）	―	1.43
	L交通（舗装厚0.30m）	0.10	1.20		1.10			0.27（2層）	―	1.38
	A交通（舗装厚0.22m）	0.12	1.20		1.08			0.19	―	1.46
	B交通（舗装厚0.26m）	0.16	1.20		1.04		0.05	0.21（2層）	―	1.42
	C交通（舗装厚0.37m）	0.22	1.20		0.98			0.32（2層）	―	1.31
	歩道（舗装厚0.13m）	0.03	1.20		1.17		0.03	0.10	―	1.55
	歩道乗入（舗装厚0.25m）	0.05	1.20		1.15			0.22（2層）	―	1.43
	透水性歩道（舗装厚0.19m）	0.04	1.20		1.16			0.11	0.05	1.49
	透水性歩道乗入（舗装厚0.45m）	0.05	1.20		1.15			0.37（2層）	0.05	1.23
φ500	簡舗（舗装厚0.25m）	0.05	1.20	1.15 ※$_2$	1.15	0.53	0.03	0.22（2層）	―	1.48
	L交通（舗装厚0.30m）	0.10	1.20		1.10			0.27（2層）	―	1.43
	A交通（舗装厚0.22m）	0.12	1.20		1.08			0.19	―	1.51
	B交通（舗装厚0.26m）	0.16	1.20		1.04		0.05	0.21（2層）	―	1.47
	C交通（舗装厚0.37m）	0.22	1.20		0.98			0.32（2層）	―	1.36
	歩道（舗装厚0.13m）	0.03	1.20		1.17		0.03	0.10	―	1.60
	歩道乗入（舗装厚0.25m）	0.05	1.20		1.15			0.22（2層）	―	1.48
	透水性歩道（舗装厚0.19m）	0.04	1.20		1.16			0.11	0.05	1.54
	透水性歩道乗入（舗装厚0.45m）	0.05	1.20		1.15			0.37（2層）	0.05	1.28

※$_1$. φ75については、φ100に準ずる。
※$_2$. 建込簡易土留使用時。
※$_3$. 標準寸法以外の土被りについて、寸法表において土被りしか変わらない場合は「簡舗 H=1.2」のように図面表記することで特殊土工事の表記を省略することができる。
※$_4$. 掘削幅 A（）内数値は、ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.45m^{3}使用時。H_2, H_4 〈〉内数値は、管種がVPの場合。
注） 市道 L交通において、道路管理者が指定する道路については、H_3=30cm

4.3 小口径配水管布設基準（水道配水用ポリエチレン管）

4.3.1 取付工

(1) 100～350×50



図ー4.6(a)　取付工（100～350×50）標準図

表ー4.8(a)　取付工(100～350×50)材料表

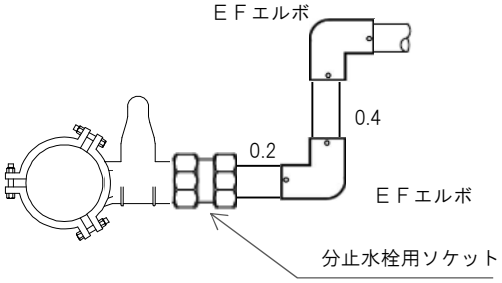
品名	形状寸法	数量
分水栓	(本管口径)×50	1　組
分止水栓用ｿｹｯﾄ	50	1　個
EFｴﾙﾎﾞ	50	2　個
密着ｺｱ	50	1　個
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ	―	1　式

・HPPE50　0.5mは、布設工で計上する。

・本管管種がDIPの場合については、密着コアを使用すること。

・分止水栓用ソケット部はポリエチレンスリーブを使用し防食を施すこと。

(2) 75×50



図ー4.6(b)　取付工（75×50）標準図

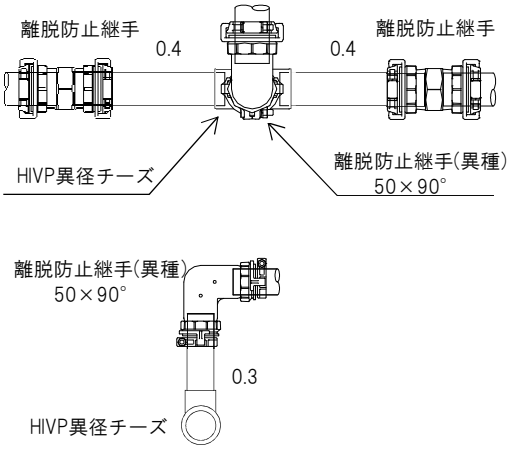
表ー4.8(b)　取付工(75×50)材料表

品名	形状寸法	数量
割丁字管 弁付外ねじ型	75×50	1　組
分止水栓用ｿｹｯﾄ	50	1　個
EFｴﾙﾎﾞ	50	2　個
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ	―	1　式

・HPPE50　0.6mは、布設工で計上する。

・分止水栓用ソケット部はポリエチレンスリーブを使用し防食を施すこと。

(3) 65×50



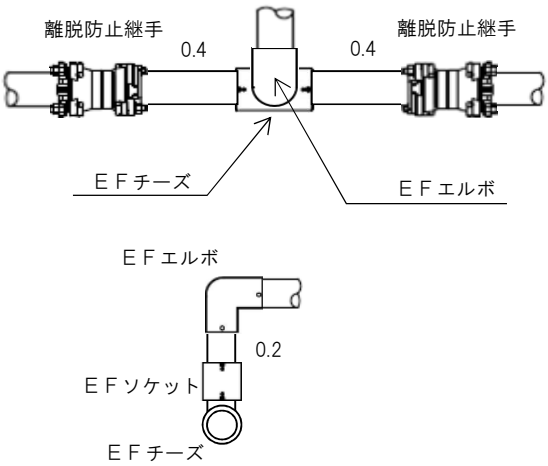
図ー4.6(c)　取付工（65×50）標準図

表ー4.8(c)　取付工(65×50)材料表

品名	形状寸法	数量
HIVP-TS	65	0.8　m
HIVP-TS	50	0.3　m
HIVP異径ﾁｰｽﾞ	65×50	1　個
離脱防止継手(異種)	50×90°	1　個
離脱防止継手	65	2　個
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ	―	1　式

・離脱防止継手箇所はポリエチレンスリーブを使用し防食を施すこと。

(4) 50×50



図ー4.6(d)　取付工（50×50）標準図

表ー4.8(d)　取付工(50×50)材料表

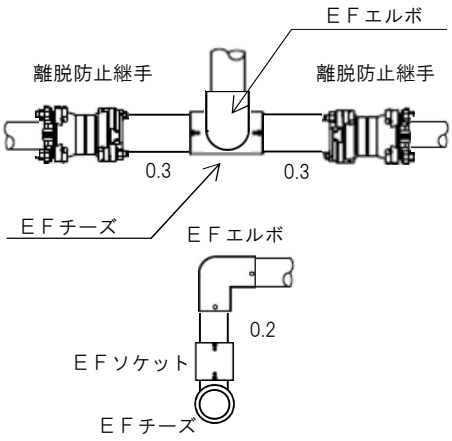
品名	形状寸法	数量
HPPE	50	0.8　m
EFﾁｰｽﾞ	50	1　個
EFｴﾙﾎﾞ	50	1　個
EFｿｹｯﾄ	50	1　個
離脱防止継手	50	2　個
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ	―	1　式

・HPPE50 0.2mは、布設工で計上する。

・既設管種がHPPEの場合はインナーコアを使用すること。

・離脱防止継手箇所はポリエチレンスリーブを使用し防食を施すこと。

(5) 30～40×50



図ー4.6(e)　取付工（30～40×50）標準図

表ー4.8(e)　取付工(30～40×50)材料表

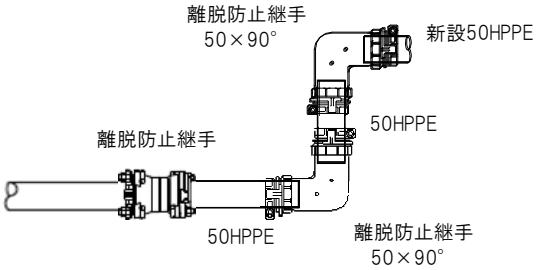
品名	形状寸法	数量
HPPE	50	0.6　m
EFﾁｰｽﾞ	50	1　個
EFｴﾙﾎﾞ	50	1　個
EFｿｹｯﾄ	50	1　個
離脱防止継手	（本管口径）×50	2　個
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ	―	1　式

・HPPE50 0.2mは、布設工で計上する。

・離脱防止継手箇所はポリエチレンスリーブを使用し防食を施すこと。

4.3.2 末端取付工

(1) 50×50



図ー4.7(a)　末端取付工（50×50）標準図

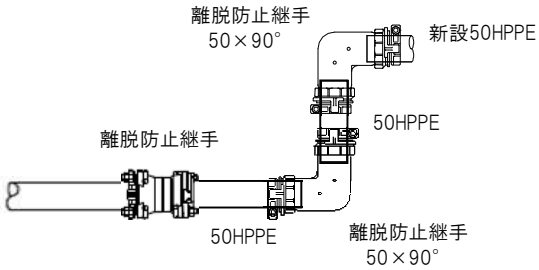
表ー4.9(a)　末端取付工(50×50)材料表

品名	形状寸法	数量
離脱防止継手	50×90°	2　個
離脱防止継手	50	1　個
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ	―	1　式

・離脱防止継手箇所は、ポリエチレンスリーブを使用し防食を施すこと。

・既設管種がHPPEの場合はインナーコアを使用すること。

(2) 30～40×50



図－4.7(b)　末端取付工（30～40×50）標準図

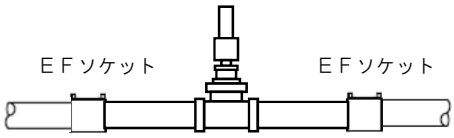
表－4.9(b)　末端取付工(30～40×50)材料表

品名	形状寸法	数量
離脱防止継手	50×90°	2　個
離脱防止継手	(本管口径)×50	1　個
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ	―	1　式

・離脱防止継手箇所は、ポリエチレンスリーブを使用し防食を施すこと。

・既設管種がHPPEの場合はインナーコアを使用すること。

4.3.3 バルブ設置工



図－4.8　バルブ設置工（50）標準図

表－4.10　バルブ設置工(50)材料表

品名	形状寸法	数量
HPPE挿し口付仕切弁 (ｿﾌﾄｼｰﾙ弁体)	50	1　個
EFｿｹｯﾄ	50	2　個

4.3.4 布設工

表－4.11(a)　HPPE布設工　材料表　　10m当り

品名	形状寸法	数量
EF受口付直管	50	10.0　m
管上明示ﾃｰﾌﾟ	―	2.4　m
中間明示ﾃｰﾌﾟ	―	10.0　m
管探知ﾜｲﾔｰ	―	10.0　m

表－4.11(b)　EF継手工(50×50チーズ)　材料表

品名	形状寸法	数量
EFﾁｰｽﾞ	50	1　個
EFｿｹｯﾄ	50	1　個

表－4.11(c)　EF継手工(50)　材料表

品名	形状寸法	数量
EFｿｹｯﾄ	50	1　個

表－4.11(d)　EF継手工(50×90°)　材料表

品名	形状寸法	数量
EFｴﾙﾎﾞ	50	1　個

表－4.11(e)　EF継手工(50×45°～$11^{1}/_{4}$°)　材料表

品名	形状寸法	数量
EF両受ﾍﾞﾝﾄﾞ	50	1　個

表－4.11(f)　離脱防止継手工(50×50チーズ)　材料表

品名	形状寸法	数量
離脱防止継手(チーズ)	50×50	1　個
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ	―	1　式

・HPPEとHPPEを接合の場合は、インナーコアを使用すること。

・離脱防止継手箇所はポリエチレンスリーブを使用し防食を施すこと。

表－4.11(g)　離脱防止継手工(50)　材料表

品名	形状寸法	数量
離脱防止継手	50	1　個
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ	―	1　式

・HPPEとHPPEを接合の場合は、インナーコアを使用すること。

・離脱防止継手箇所はポリエチレンスリーブを使用し防食を施すこと。

表－4.11(h)　離脱防止継手工(50×90°)　材料表

品名	形状寸法	数量
離脱防止継手	50×90°	1　個
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ	―	1　式

・HPPEとHPPEを接合の場合は、インナーコアを使用すること。

・離脱防止継手箇所はポリエチレンスリーブを使用し防食を施すこと。

4.3.5 閉塞工

表－4.12(a) 閉塞工(25～50) 材料表

品名	形状寸法	数量
離脱防止ｷｬｯﾌﾟ	25～50	1 個
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ	―	1 式

・ポリエチレンスリーブを使用し防食を施すこと。

表－4.12(b) 閉塞工(HPPE50) 材料表

品名	形状寸法	数量
EFｷｬｯﾌﾟ	50	1 個

表－4.12(c) 閉塞工(13、20) 材料表

品名	形状寸法	数量
断水器用ｺﾏ	13、20	1 個
HIVPｷｬｯﾌﾟ	13、20	1 個

4.3.6 不断水工

既設管への接続等でHPPE管をスクイズオフ工法を施した箇所は、メカニカル継手等のHPPE用継手又はEFソケットで保護すること。また、VP不断水工箇所を保護等する場合は、伸縮可とう継手を使用すること。

表－4.13(a) 不断水工(HPPE50) 材料表

品名	形状寸法	数量
ﾒｶﾆｶﾙ又はHPPE用継手	50	1 個
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ	―	1 式

・ポリエチレンスリーブを使用し防食を施すこと。

表－4.13(b) 不断水工(HPPE50) 材料表

品名	形状寸法	数量
EFｿｹｯﾄ	50	1 個

4.3.7 給水管布設工

(1) 給水管等取付工φ20, φ25

表-4.14(a) 給水管等取付工(分水栓, 20,25) 材料表

品名	形状寸法	数量
サドル付分水栓	(本管口径)×20,25	1 組
PEﾕﾆｵﾝｿｹｯﾄ	(取付口径)	1 個
保護テープ	-	1 式
密着コア	20,25	1 個

・サドル付分水栓は本管管種に適合した物を使用すること。
・本管管種がDIPの場合については、密着コアを使用すること。
・本管口径がφ65㎜の場合は、石綿セメント管用φ50㎜の物を使用する。

表-4.14(b) 給水管等取付工(チーズ, 20,25) 材料表

品名	形状寸法	数量
HIVP-TS	(本管口径)	0.6 m
離脱防止継手(チーズ)	(本管口径)×(取付口径)	1 個
離脱防止継手	(本管口径)	2 個
PEｴﾙﾎﾞ	(取付口径)	2 個
保護テープ	-	1 式
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ	-	1 式

・離脱防止継手(チーズ)は、異種管用(塩ﾋﾞ管×PE管用)を使用すること。
・離脱防止継手箇所は、ポリエチレンスリーブを使用し防食を施すこと。

(2) 給水管等取付工φ30～φ50

表-4.15(a) 給水管等取付工(φ75～350×φ30～50) 材料表

品名	形状寸法	数量
サドル付分水栓	(本管口径)×(取付口径)	1 組
分止水栓用ｿｹｯﾄ	(取付口径)	1 個
離脱防止継手	(取付口径)	2 個
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ	-	1 式
密着コア	(取付口径)	1 個

・φ75×φ50のみ、不断水割丁字管(弁付外ねじ型)を使用する。
・本管がφ50HPPEの場合のφ50×φ30は、分水栓を使用することとし、上表のとおりとする。
・サドル付分水栓、不断水割丁字管は本管管種に適合した物を使用すること。
・分止水栓用ｿｹｯﾄ、離脱防止継手箇所は、ポリエチレンスリーブを使用し防食を施すこと。
・本管管種がDIPの場合については、密着コアを使用すること。

表-4.15(b) 給水管等取付工(φ50×φ30～40) 材料表

品名	形状寸法	数量
本管管材(HIVP-TS、HPPE)	(本管口径)	0.6 m
離脱防止継手(チーズ)	(本管口径)×(取付口径)	1 個
離脱防止継手	(本管口径)	2 個
離脱防止継手	(取付口径)×90°	2 個
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ	-	1 式

・給水同時取出しの場合、本管管材、本管口径の離脱防止継手は計上しない。
・離脱防止継手箇所は、ポリエチレンスリーブを使用し防食を施すこと。
・本管がφ50HPPEの場合のφ50×φ30は、分水栓を使用する。

(3) ボール止水栓設置工

表-4.16(a) ボール止水栓設置工(A) 材料表

品名	形状寸法	数量
ボール止水栓	(メーター口径)	1 個
PEﾕﾆｵﾝﾛﾝｸﾞｴﾙﾎﾞ90°	(取付口径)	1 個
PE管	(取付口径)	1.5 m
PEエルボ	(取付口径)	1 個
逆止弁付ﾊﾟｯｷﾝ	(メーター口径)	1 個
保護テープ	-	1 式

・人力による掘削、埋戻を0.3×1.0×0.8＝0.24㎥ 計上
・メーター口径13㎜の場合、PEﾕﾆｵﾝﾛﾝｸﾞｴﾙﾎﾞ90° は20×13を使用する。

表-4.16(b) ボール止水栓設置工(B) 材料表

品名	形状寸法	数量
ボール止水栓	(メーター口径)	1 個
VPﾒｰﾀｰ用ｿｹｯﾄ	(メーター口径)	1 個
袋ﾅｯﾄ、ﾊﾟｯｷﾝ	(メーター口径)	1 個
逆止弁付ﾊﾟｯｷﾝ	(メーター口径)	1 個

表-4.16(c) ボール止水栓設置工(C) 材料表

品名	形状寸法	数量
ボール止水栓	(メーター口径)	1 個
逆止弁付ﾊﾟｯｷﾝ	(メーター口径)	1 個

・止水栓のみ取り替える時に計上する。

(4) 給水管布設工

表-4.17(a) 給水管布設工(20,25) 材料表　10m当り

品名	形状寸法	数量
PE管(1種)	(取付口径)	10.0 m

表-4.17(b) 給水管布設工(30～50) 材料表　4m当り

品名	形状寸法	数量
SGP-VB	(取付口径)	4.0 m

・SKXソケット、ポリエチレンスリーブについては、必要に応じて計上する。

(5) 給水バルブ設置工

一宮市上下水道部給水装置工事指針に準ずる。

表-4.18(a) 給水バルブ設置工(φ20,25) 材料表

品名	形状寸法	数量
青銅製仕切弁	φ20,25	1 基
PEおねじｿｹｯﾄ	φ20,25	2 個
保護テープ	-	1 式

表-4.18(b) 給水バルブ設置工(φ30～50) 材料表

品名	形状寸法	数量
青銅製仕切弁	φ30～50	1 基
離脱防止継手	φ30～50	1 個
分止水栓用ｿｹｯﾄ	φ30～50	2 個
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ	-	1 式

・分止水栓用ｿｹｯﾄ、離脱防止継手箇所は、ポリエチレンスリーブを使用し防食を施すこと。

表-4.19 仕切弁室築造工(給水用,道路用)材料表

品名	形状寸法	数量
ﾊﾞﾙﾌﾞ筐(鋳鉄製)	丸型 φ230×150	1 個
調整リング	φ230×30	1 個
下枡上部	φ230×150	1 個
下枡中部	φ230×150	1 個
下枡下部	φ230×200	1 個
底板(ｺﾝｸﾘｰﾄ)	φ500×205×60	1 組

(6) 宅地内バルブ設置工

一宮市上下水道部給水装置工事指針に準ずる。

表-4.20(a) 宅地内バルブ設置工(φ20,25) 材料表

品名	形状寸法	数量
青銅製仕切弁	φ20,25	1 基
PEおねじｿｹｯﾄ	φ20,25	1 個
VPおねじｿｹｯﾄ	φ20,25	1 個
PEエルボ	φ20,25	2 個
HIVPエルボ	φ20,25	2 個
保護テープ	-	1 式

・既設管接続のための材料・手間を含む。
・人力による掘削、埋戻を0.3×1.0×0.8＝0.24㎥計上。
・PE管及びVP直管については、給水管布設工にて計上。

表-4.20(b) 宅地内バルブ設置工(φ30～50) 材料表

品名	形状寸法	数量
青銅製仕切弁	φ30～50	1 基
伸縮可とう継手	φ30～50	1 個
分止水栓用ｿｹｯﾄ	φ30～50	2 個
離脱防止継手	φ30～50×90°	2 個
HIVPエルボ	φ30～50	2 個
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ	-	1 式

・既設管接続のための材料・手間を含む。
・人力による掘削、埋戻を0.3×1.0×0.8＝0.24㎥計上。
・離脱防止継手箇所は、ポリエチレンスリーブを使用し防食を施すこと。
・離脱防止継手φ30については、片落ちｿｹｯﾄ32×V30とする。
・SGP-VB及びVP直管については、給水管布設工にて計上。

表-4.21(a) 仕切弁室築造工(A型) H=0.5 材料表

品名	形状寸法	数量
ﾊﾞﾙﾌﾞ筐(鋳鉄製)	丸型 φ230×150	1 個
下枡上部	φ230×150	1 個
下枡下部	φ230×200	1 個
底板(ｺﾝｸﾘｰﾄ)	φ500×205×60	1 組

表-4.21(b) 仕切弁室築造工(B型) H=0.5 材料表

品名	形状寸法	数量
ﾊﾞﾙﾌﾞ筐(VU製)	φ150×500	1 個
底板(樹脂製)	φ225×10	1 組
保護テープ	-	1 式

(7) 宅地内布設工

表-4.22 宅地内給水管布設工(VP) 材料表 8m当り

品名	形状寸法	数量
VP	φ13～25	8 m
HIVPソケット	φ13～25	2 個

・人力による掘削、埋戻を0.3×1.0×0.3＝0.09㎥/m計上

表-4.23 メーター移設工(φ13～25) 材料表

品名	形状寸法	数量
VP	φ13～25	1.0 m
VPﾒｰﾀｰｿｹｯﾄ	φ13～25	1 個
HIVPソケット	φ13～25	2 個
伸縮可とう継手	φ13～25	2 個
防食テープ	-	1 式

・人力による掘削、埋戻を0.3×1.0×0.3＝0.09㎥/箇所計上

表-4.24 宅地内閉塞工(φ13～25) 材料表

品名	形状寸法	数量
断水器用コマ	φ13～25	1 個
HIVPキャップ	φ13～25	1 個

・人力による掘削、埋戻を0.3×1.0×0.3＝0.09㎥/箇所
計上

表-4.25(a) 給水管接続工(φ13) 材料表

品名	形状寸法	数量
PE管用継手異径ｿｹｯﾄ	φ20×13	1 個
PE管用継手エルボ	φ20	1 個
保護テープ	－	1 式

表-4.25(b) 給水管接続工(φ20,φ25) 材料表

品名	形状寸法	数量
PE管用継手ｿｹｯﾄ	φ20,φ25	1 個
PE管用継手エルボ	φ20,φ25	1 個
保護テープ	－	1 式

表-4.25(c) 給水管接続工(φ30～φ50) 材料表

品名	形状寸法	数量
離脱防止継手	φ30～φ50	1 個
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ	－	1 式

・離脱防止継手箇所は、ポリエチレンスリーブを使用し
防食を施すこと。

4.3.8 水管橋設置工

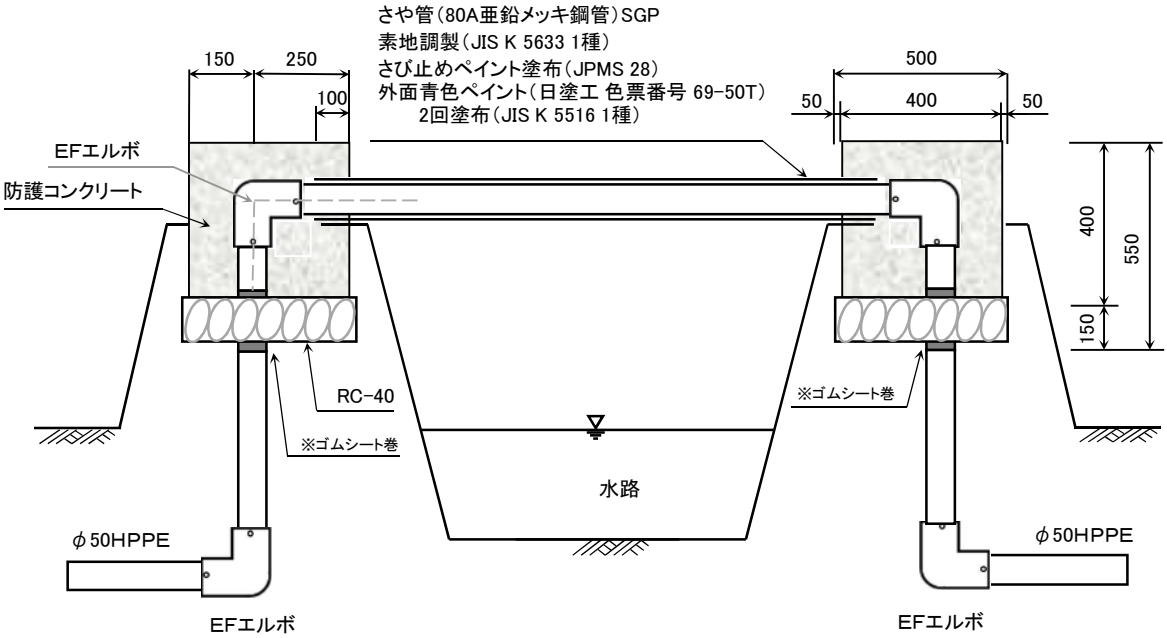
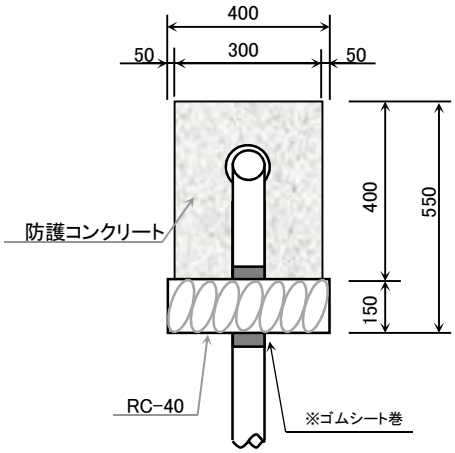


図-4.9(a)　水管橋設置工標準図



※ゴムシート巻き
　コンクリートと埋設部の境界では、応力集中および外面傷を防ぐために厚さ10mm程度のゴムシートを巻き、保護すること。

図-4.9(b)　水管橋設置工　防護コンクリート寸法図

4.4 小口径配水管布設基準(ビニル管)

4.4.1 取付工

(1) 100～350×50

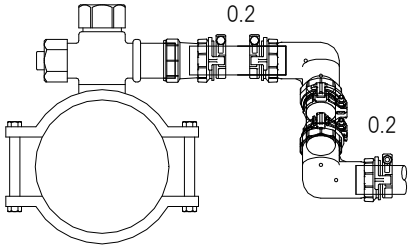


図-4.10 取付工(100～350×50)標準図

表-4.26 取付工(100～350×50)材料表

品名	形状寸法	数量
分水栓	(本管口径)×50	1 組
分止水栓用ｿｹｯﾄ	50	1 個
離脱防止継手	50×90°	2 個
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ	－	1 式
密着ｺｱ	50	1 個

・HIVP-TS 50 0.4mは、布設工で計上する。

・分止水栓用ソケット、離脱防止継手箇所は、ポリエチレンスリーブを使用し防食を施すこと。

・本管管種がDIPの場合については、密着コアを使用すること。

(2) 75×50

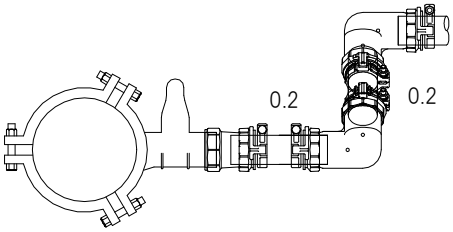


図-4.11 取付工(75×50)標準図

表-4.27 取付工(75×50)材料表

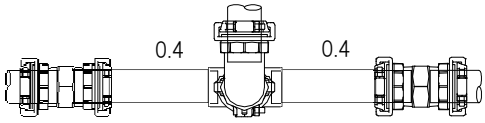
品名	形状寸法	数量
割丁字管 弁付外ねじ型	75×50	1 組
分止水栓用ｿｹｯﾄ	50	1 個
離脱防止継手	50×90°	2 個
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ	－	1 式

・HIVP-TS 50 0.4mは、布設工で計上する。

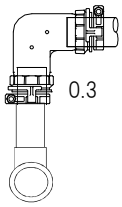
・分止水栓用ソケット、離脱防止継手箇所は、ポリエチレンスリーブを使用し防食を施すこと。

(3) 65×50

平面図



断面図



図ー4.12 取付工 (65×50) 標準図

表-4.28 取付工(65×50)材料表

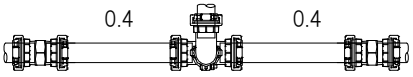
品名	形状寸法	数量
HIVP-TS	65	0.8 m
HIVP異径ﾁｰｽﾞ	65×50	1 個
離脱防止継手	50×90°	1 個
離脱防止継手	65	2 個
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ	－	1 式

・HIVP-TS 50 0.3mは、布設工で計上する。

・離脱防止継手箇所は、ポリエチレンスリーブを使用し防食を施すこと。

(4) 50×50

平面図



断面図

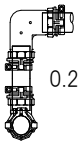


図-4.13 取付工(50×50)標準図

表-4.29 取付工(50×50)材料表

品名	形状寸法	数量
HIVP-TS	50	0.8 m
離脱防止継手(チーズ)	50×50	1 個
離脱防止継手	50×90°	1 個
離脱防止継手	50	2 個
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ	－	1 式

・HIVP-TS 50 0.2mは、布設工で計上する。

・離脱防止継手箇所は、ポリエチレンスリーブを使用し防食を施すこと。

(5) 30～40×50

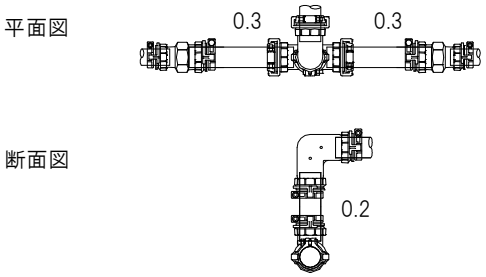


図-4.14 取付工(30～40×50)標準図

表-4.30 取付工(30～40×50)材料表

品名	形状寸法	数量
HIVP-TS	50	0.6 m
離脱防止継手(チーズ)	50×50	1 個
離脱防止継手	50×(本管口径)	2 個
離脱防止継手	50×90°	1 個
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ	-	1 式

・HIVP-TS 50 0.2mは、布設工で計上する。

・離脱防止継手箇所は、ポリエチレンスリーブを使用し防食を施すこと。

4.4.2 末端取付工

(1) 50×50

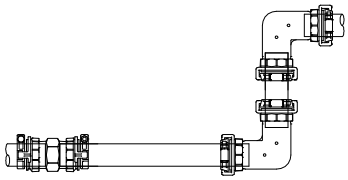


図-4.15 末端取付工(50×50)標準図

表-4.31 末端取付工(50×50)材料表

品名	形状寸法	数量
離脱防止継手	50×90°	2 個
離脱防止継手	50	1 個
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ	-	1 式

・離脱防止継手箇所は、ポリエチレンスリーブを使用し防食を施すこと。

(2) 30～40×50

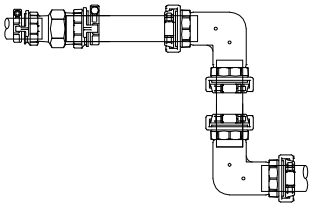


図-4.16 末端取付工(30～40×50)標準図

表-4.32 末端取付工(30～40×50)材料表

品名	形状寸法	数量
離脱防止継手	50×(本管口径)	1 個
離脱防止継手	50×90°	2 個
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ	-	1 式

・離脱防止継手箇所は、ポリエチレンスリーブを使用し防食を施すこと。

4.4.3 バルブ設置工

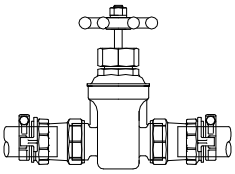


図4.17 バルブ設置工(50) 標準図

表-4.33 バルブ設置工(50)材料表

品名	形状寸法	数量
青銅製仕切弁	50	1 基
分止水栓用ｿｹｯﾄ	50	2 個
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ	-	1 式

・φ30～φ50の仕切弁の接合部は、外ねじ型とする。

・分止水栓用ソケット箇所は、ポリエチレンスリーブを使用し防食を施すこと。

4.4.4 布設工

表-4.34(a) (HI)VP-RR布設工 材料表 10m当り

品名	形状寸法	数量
(HI)VP-RR	50	10.0 m
管上明示ﾃｰﾌﾟ	-	10.0 m
中間明示ﾃｰﾌﾟ	-	10.0 m
管探知ﾜｲﾔｰ	-	10.0 m

表-4.34(b) HIVP-TS布設工 材料表 20m当り

品名	形状寸法	数量
HIVP-TS	50	20.0 m
管上明示ﾃｰﾌﾟ	-	20.0 m
中間明示ﾃｰﾌﾟ	-	20.0 m
管探知ﾜｲﾔｰ	-	20.0 m

・継手は、別途計上する。

表-4.35(a) 離脱防止継手工(50) 材料表

品名	形状寸法	数量
離脱防止継手	50	1 個
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ	-	1 式

・離脱防止継手箇所は、ポリエチレンスリーブを使用し防食を施すこと。

表-4.35(b) 離脱防止継手工(50×90° ～$11^{1}/_{4}$°) 材料表

品名	形状寸法	数量
離脱防止継手	50×90° ～$11^{1}/_{4}$°	1 個
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ	-	1 式

・離脱防止継手箇所は、ポリエチレンスリーブを使用し防食を施すこと。

表-4.35(C) 離脱防止継手工(50×50) 材料表

品名		数量
離脱防止継手(チーズ)	50×50	1 個
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ	-	1 式

・離脱防止継手箇所は、ポリエチレンスリーブを使用し防食を施すこと。

4.4.5 閉塞工

表-4.36(a) 閉塞工(φ13,φ20) 材料表

品名	形状寸法	数量
断水器用ｺﾏ	φ13,φ20	1 個
HIVPｷｬｯﾌﾟ	φ13,φ20	1 個

表-4.36(b) 閉塞工(φ25～50) 材料表

品名	形状寸法	数量
離脱防止ｷｬｯﾌﾟ	φ25～φ50	1 個
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ	-	1 式

・ポリエチレンスリーブを使用し防食を施すこと。

4.5 小口径配水管布設基準（仮配管）

4.5.1 取付工

(1) 100～350×50

表-4.37　取付工（100～350×50）材料表

品名	形状寸法	数量
分水栓	(本管口径)×50	1　組
TSエルボ	HIVP製φ50	2　個
HIユニオン	HIVP製φ50	1　個
密着ｺｱ	50	1　個

・本管管種がDIPの場合については、密着コアを使用すること。

(2) 75×50

表-4.38　取付工（75×50）材料表

品名	形状寸法	数量
割丁字管 弁付外ねじ型	75×50	1　組
TSエルボ	HIVP製φ50	2　個
HIユニオン	HIVP製φ50	1　個

(3) 50×50

表-4.39　取付工（50×50）材料表

品名	形状寸法	数量
HIVP-TS	φ50	1.0　m
TSエルボ	HIVP製φ50	1　個
TSチーズ	HIVP製φ50×φ50	1　個
伸縮可とう継手	φ50	2　個
防食テープ	φ30～φ50用	2　箇所

・伸縮可とう継手箇所は、防食テープを使用し防食を施すこと。

(4) 30～40×50

表-4.40　取付工（30～40×50）材料表

品名	形状寸法	数量
HIVP-TS	φ30～40	0.6　m
HIVP-TS	φ50	0.4　m
TSエルボ	HIVP製φ50	1　個
TSチーズ	HIVP製φ50×φ50	1　個
伸縮可とう継手	φ30～40	2　個
TS径違ソケット	HIVP製φ50×φ30～φ40	2　個
防食テープ	φ30～φ50用	2　箇所

・伸縮可とう継手箇所は、防食テープを使用し防食を施すこと。

4.5.2 末端取付工

(1) 50×50

表-4.41　末端取付工（50×50）材料表

品名	形状寸法	数量
TSエルボ	HIVP製φ50	2　個
伸縮可とう継手	φ50	1　個
防食テープ	φ30～φ50用	1　箇所

・伸縮可とう継手箇所は、防食テープを使用し防食を施すこと。

(2) 30～40×50

表-4.42　末端取付工（30～40×50）材料表

品名	形状寸法	数量
HIVP-TS	φ30～40	0.52　m
TS径違ソケット	HIVP製φ50×φ30～φ40	1　個
TSエルボ	HIVP製φ50	2　個
伸縮可とう継手	φ30～40	1　個
防食テープ	φ30～φ50用	1　箇所

・伸縮可とう継手箇所は、防食テープを使用し防食を施すこと。

4.5.3 バルブ設置工

表-4.43(a)　仮給水バルブ設置工50（車道用）　材料表

品名	形状寸法	数量
ゲートバルブ	50	1　個
TSﾊﾞﾙﾌﾞｿｹｯﾄ	HIVP製φ50	2　個
仕切弁用筐(宅地内B型)	鋳鉄製　枠蓋共150×500	1　個
仕切弁用桝(底板･宅地内B型)	樹脂製225×10	1　個
保護テープ	－	1　式

・工事で仮配管を行った後、同じ工事で撤去する場合、ゲートバルブ、仕切弁用筐・枡は、３回転用とする。

表-4.43(b)　仮給水バルブ設置工50（歩道用）　材料表

品名	形状寸法	数量
ゲートバルブ	50	1　個
TSﾊﾞﾙﾌﾞｿｹｯﾄ	HIVP製φ50	2　個
仕切弁用筐	樹脂製φ150×200	1　個
仕切弁用蓋	樹脂製φ150	1　個
普通レンガ	210×100×60	2　個

・工事で仮配管を行った後、同じ工事で撤去する場合、ゲートバルブ、仕切弁用筐は、３回転用とする。

4.5.4 布設工

エルボ、チーズ及び閉塞部については、生松丸太、末口 6 ㎝×1.2mの杭を打つこと。
埋設深度が浅く、原因工事等により仮設した水道管が損傷する恐れがあるためスプレーによるマーキングで埋設位置の表示を行うこと。また必要に応じて防護措置を施すこと。

表-4.44　仮給水硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管布設工（VP-TS）　材料表　10m当り

品名	形状寸法	数量
VP-TS	φ50×5.0m	2　本
TSソケット	50	2　個

・仮配管を行った後、同じ工事で撤去する場合、
　直管は３回転用とする。

4.5.5 仮給水管等取付工

仮設配水管は埋設深度が浅いため、仮給水管にゲートバルブを設置する場合は垂直方向から90°倒して水平方向に設置する等、現場状況に応じて保安を確保する。既設給水管との接続は道路内で行う。

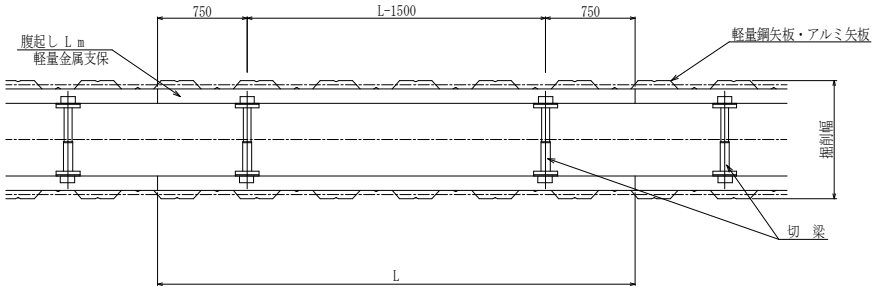
表-4.45　仮給水管等取付工 材料表

品名	形状寸法	数量
HIVP	φ20～40	2　m
TS径違チーズ	HIVP製φ50×φ20～φ40	1　個
TSエルボ	HIVP製φ20～φ40	2　個
ゲートバルブ	φ20～40	1　個
TSﾊﾞﾙﾌﾞｿｹｯﾄ	HIVP製φ20～φ40	2　個
伸縮可とう継手	φ20～40	1　個

・工事で仮配管を行った後、同じ工事で撤去する
　場合、ゲートバルブは３回転用とする。

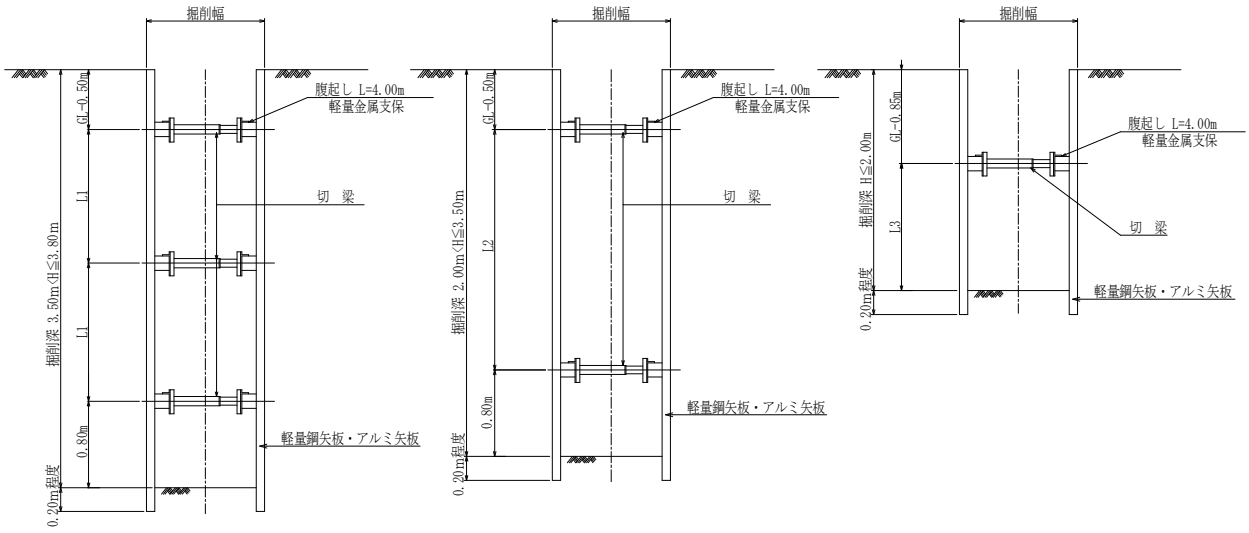
軽量鋼矢板・アルミ矢板土留設置工標準図

平　面　図



断 面 図

3.50m＜H≦3.80m　　2.00m＜H≦3.50m　　H≦2.00m

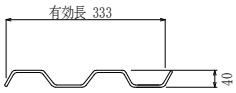


軽量鋼矢板標準図（参考）

規格性能（軽量鋼矢板）

矢板1枚につき	壁幅1mにつき
14.2　kg/m	42.6　kg/m²

アルミ矢板標準図（参考）



規格性能（アルミ矢板）

矢板1枚につき	壁幅1mにつき
5.0　kg/m	15.0　kg/m²

計算ケースは，次のとおりとする。

掘削深	支保段数	支保工位置		
		一段目	二段目	三段目
H≦2.0m	1段	GL-0.85m	―	―
2.0＜H≦3.5m	2段	GL-0.50m	掘削底面から0.80m	―
3.5＜H≦3.8m	3段	GL-0.50m	一段目，三段目の中間	掘削底面から0.80m

土質条件及び土圧算定式

土質条件

土質区分：	礫質土	砂質土	粘性土
単位重量：	γ＝20kN/m3	γ＝19kN/m3	γ＝18kN/m3
粘 着 力：	C＝0	C＝0	C＝25kN/m2
せん断摩擦角：	φ＝35°	φ＝30°	φ＝0

上載荷重：10 kN/m2

地下水位：掘削底面以下　（水圧は考慮しない）

主働土圧の計算式は，ランキン・レザール式を採用する。

支保工荷重分担は，下方分担法を採用する。

軽量鋼矢板・アルミ矢板設置基準

掘削深 H（m）	矢板長（m）	支保工段数	腹起し	切梁
1.5 ＜ H ≦ 1.8	2.0	1段支保	断面係数 L=2.0m,3.0m 60cm3　以上 L=4.0m 120cm3　以上	水圧式又はネジ式
1.8 ＜ H ≦ 2.0	2.5			
2.0 ＜ H ≦ 2.3	2.5	2段支保		
2.3 ＜ H ≦ 2.8	3.0			
2.8 ＜ H ≦ 3.3	3.5			
3.3 ＜ H ≦ 3.5	4.0			
3.5 ＜ H ≦ 3.8	4.0	3段支保		

軽量金属支保工材料表

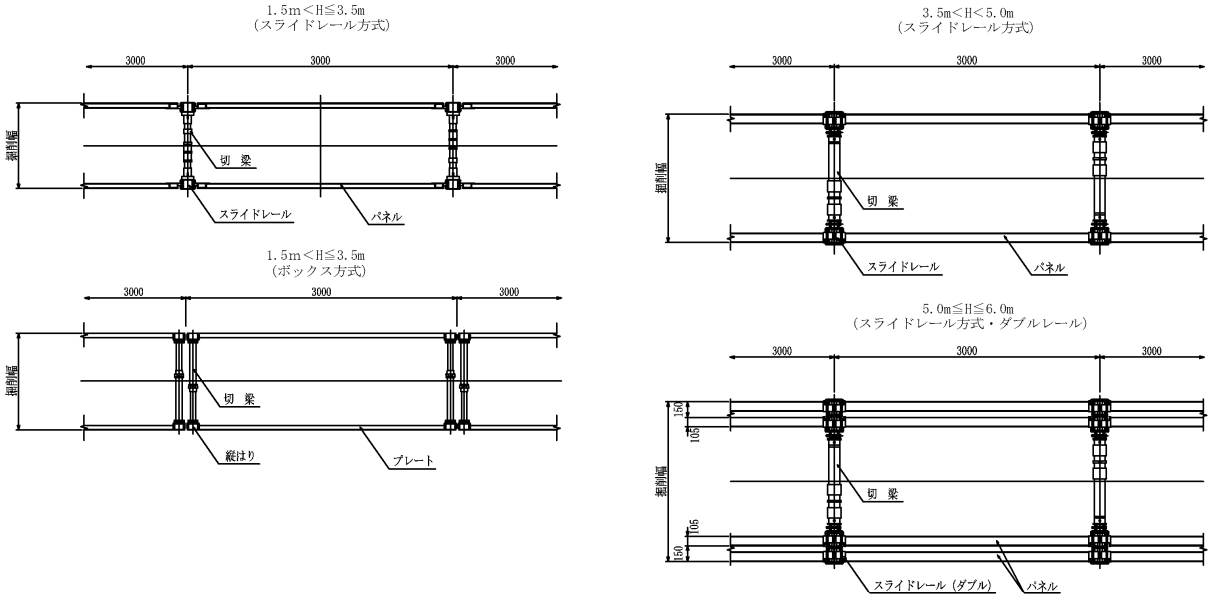
（100m、1段当り）

腹起し長さ４m	腹起し材	50.0本
	切梁材	50.0本

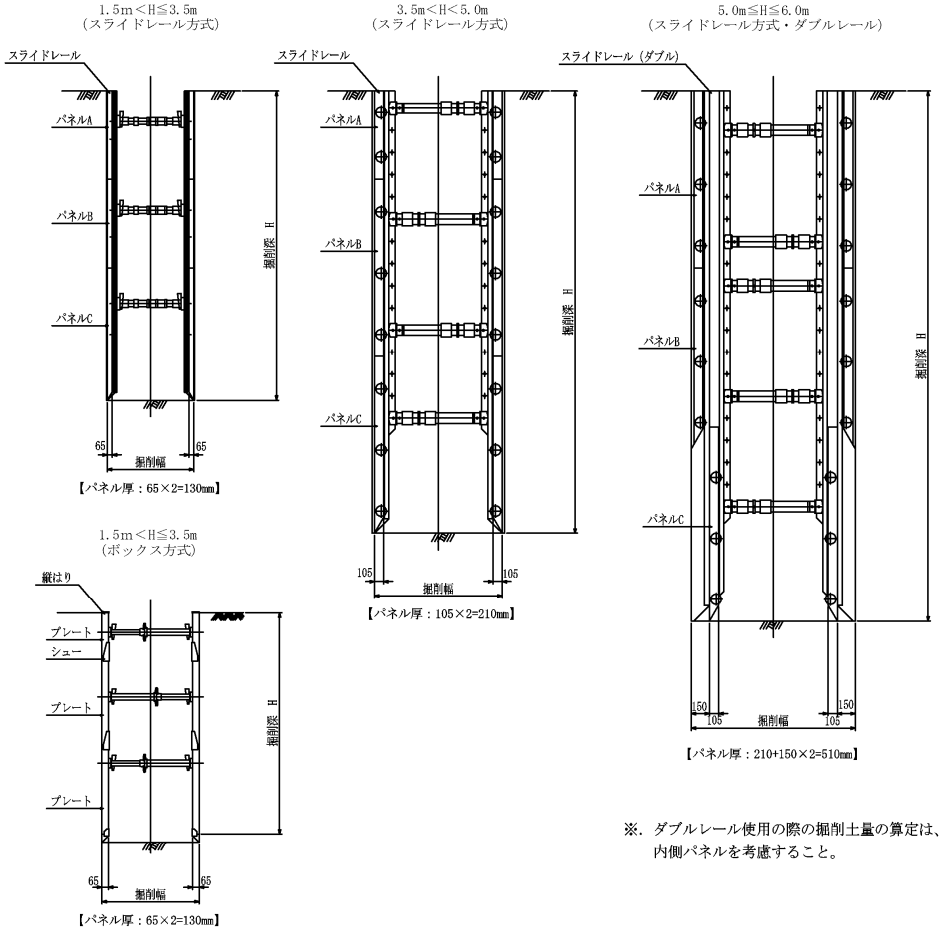
図-4.18

たて込み簡易土留設置工標準図

平 面 図



断 面 図



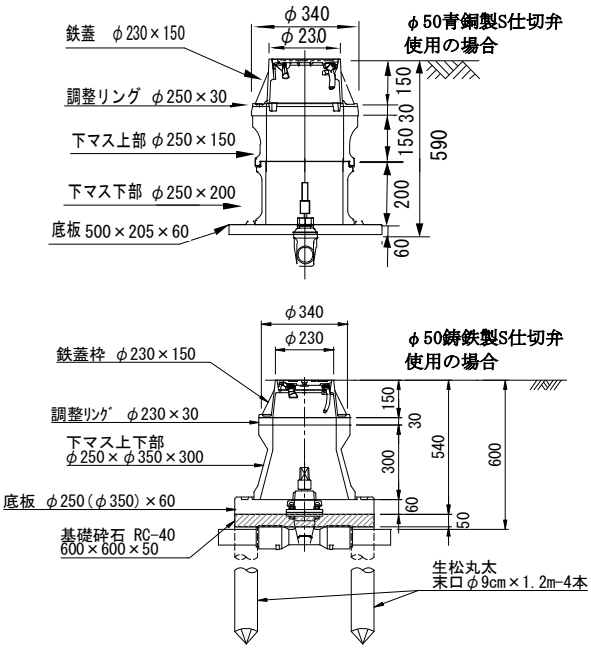
※．ダブルレール使用の際の掘削土量の算定は、
内側パネルを考慮すること。

図-4.19

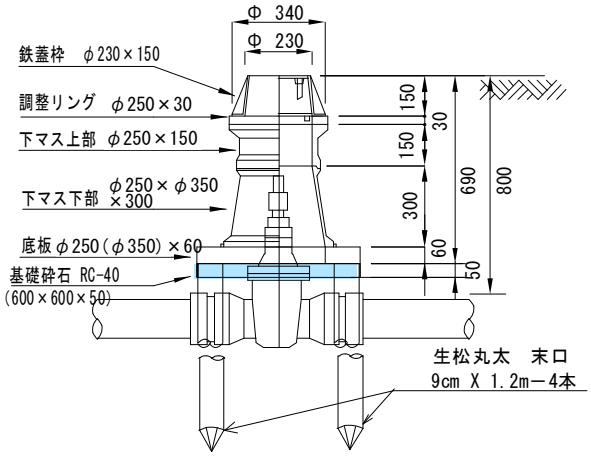
4.7 仕切弁室・消火栓室築造工

4.7.1 仕切弁室築造工

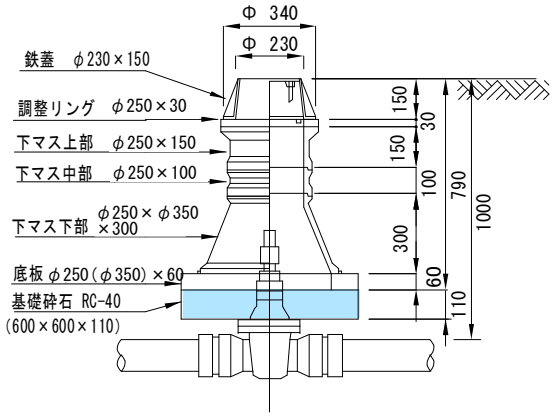
φ50 H=0.6



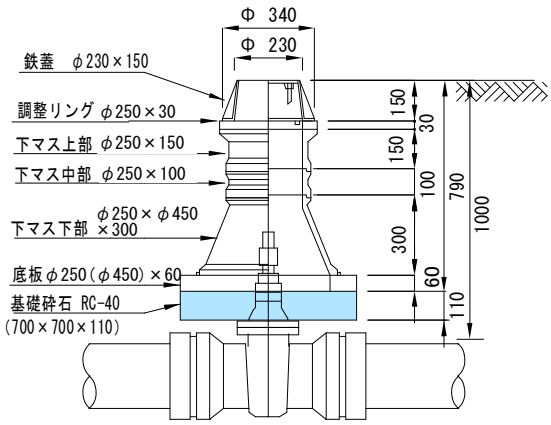
φ100 H=0.8



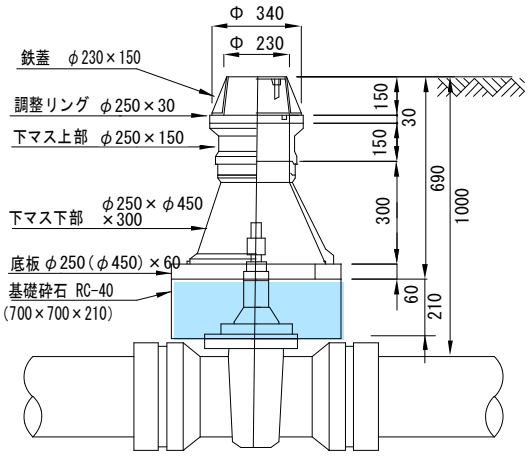
φ100 H=1.0



φ150～250 H=1.0



φ300 H=1.0



φ350 H=1.2

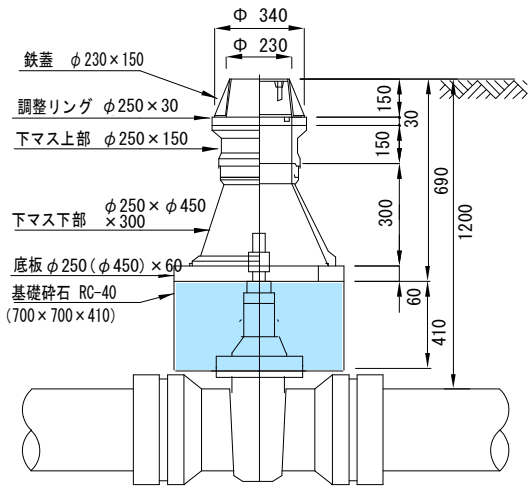


図-4.20 仕切弁室築造工標準図

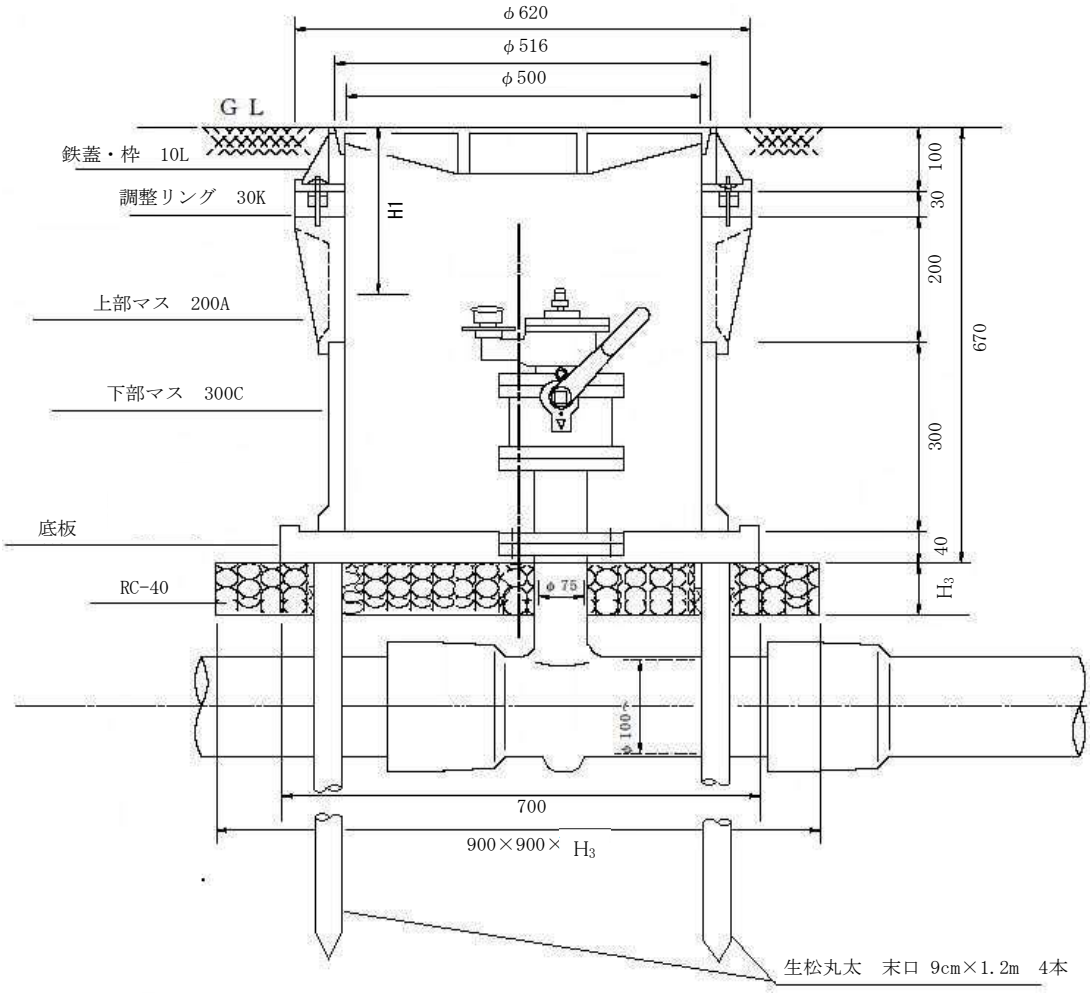
表-4.46　仕切弁室築造工 材料表

品名	形状寸法	φ50		φ75, φ100		φ150～φ250	φ300	φ350	単位
		H=0.6	H=1.0	H=0.8	H=1.0	H=1.0	H=1.0	H=1.2	
鉄蓋	φ230×150	1	1	1	1	1	1	1	組
調整リング	φ250×10	－	－	－	－	－	－	－	個
	φ250×10 (傾斜用 3%)	－	－	－	－	－	－	－	個
	φ250×10 (傾斜用 5%)	－	－	－	－	－	－	－	個
	φ250×30	1	1	1	1	1	1	1	個
	φ250×50	－	－	－	－	－	－	－	個
下枡上部	φ250×150	1	1	1	1	1	1	1	個
下枡中部	φ250×100	－	1	－	1	1	－	－	個
	φ250×150	－	－	－	－	－	－	－	個
	φ250×200	－	－	－	－	－	－	－	個
	φ250×300	－	1	－	－	－	－	－	個
下枡下部	φ250×200	1	1	－	－	－	－	－	個
	φ250×φ350×300 (φ75,100)	－	－	1	1	－	－	－	個
	φ250×φ450×300 (φ150～350)	－	－	－	－	1	1	1	個
底板	500×205×60	1	1	－	－	－	－	－	個
	φ250(φ350)×60	－	－	1	1	－	－	－	個
	φ250(φ450)×60	－	－	－	－	1	1	1	個
杭	φ9cm×1.2m	－	－	4	－	－	－	－	本
基礎砕石	RC-40	－	－	0.02	0.04	0.05	0.10	0.20	m^3

注）砂利道の仕切弁室仕上げは、周辺1.0㎡に厚3cmの舗装（再生密粒）を施すこと。

4.7.2 消火栓室築造工

消火栓室築造標準図



注）H1については、23cm≦H1≦40cmとなるように設置すること。

図-4.21(a)　消火栓室築造工標準図

表-4.47(a)　消火栓室築造工　基礎砕石寸法表

	基礎砕石 H_3 mm
土被りH=800	30
土被りH=1000	230

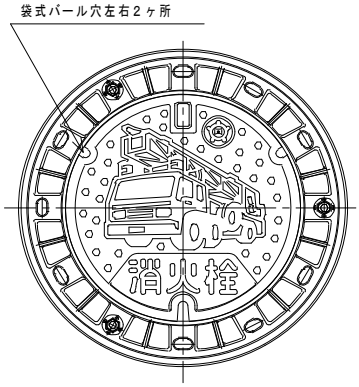


図-4.21(b)　消火栓鉄蓋標準図

表-4.47(b)　消火栓室築造工　材料表

品名	形状寸法	数量
蓋・枠	φ500・φ600	1　組
調整リング	30K	1　個
上部枡	200A	1　個
下部枡	300C	1　個
底板	40S	1　個
杭	φ9cm×1.2m	4　本
基礎砕石	RC-40(土被りH=800)	0.02　m^3
	RC-40(土被りH=1000)	0.19　m^3

注）砂利道の弁室仕上げは、周辺1.0㎡に厚3cmの舗装（再生密粒）を施すこと。

4.7.3 鉄蓋類設置基準

丸型仕切弁鉄蓋及び消火栓鉄蓋の設置基準は、下記のとおりとする。

(1) 丸型仕切弁蓋の使い分け

・無着色；車道及びカラー舗装されない歩道
・着色　；カラー舗装及びインターロッキングによる歩道

(2) 設置基準

・本管の仕切弁及び消火栓の鉄蓋は、交差点に向かって鉄蓋の文字が読めるように設置する。
・道路内に設置する給水管用仕切弁の鉄蓋は、民地に向かって鉄蓋の文字が読めるように設置する。
・尾西・木曽川地区において、φ50㎜以上の仕切弁鉄蓋を設置する場合は、鉄蓋裏側全面に黄色スプレーを塗布すること。

(3) 設置例

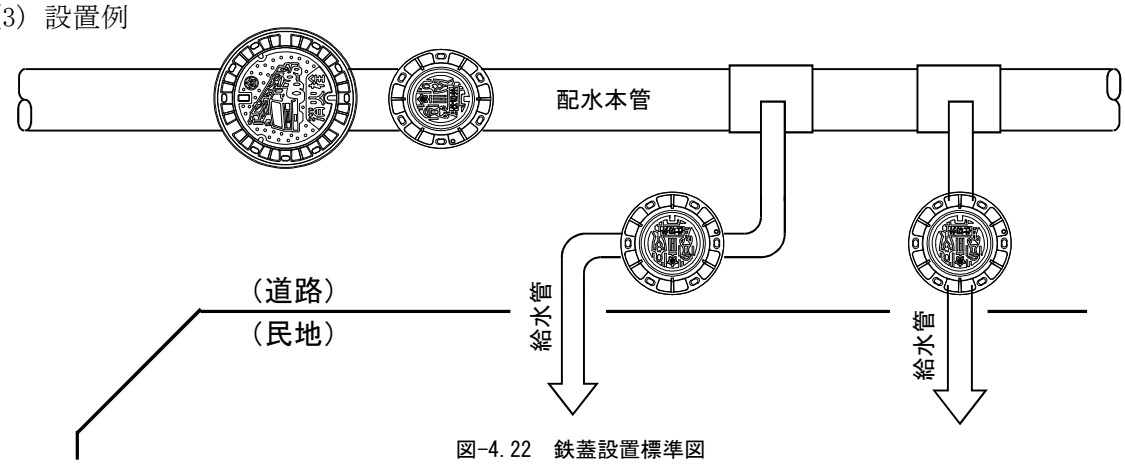
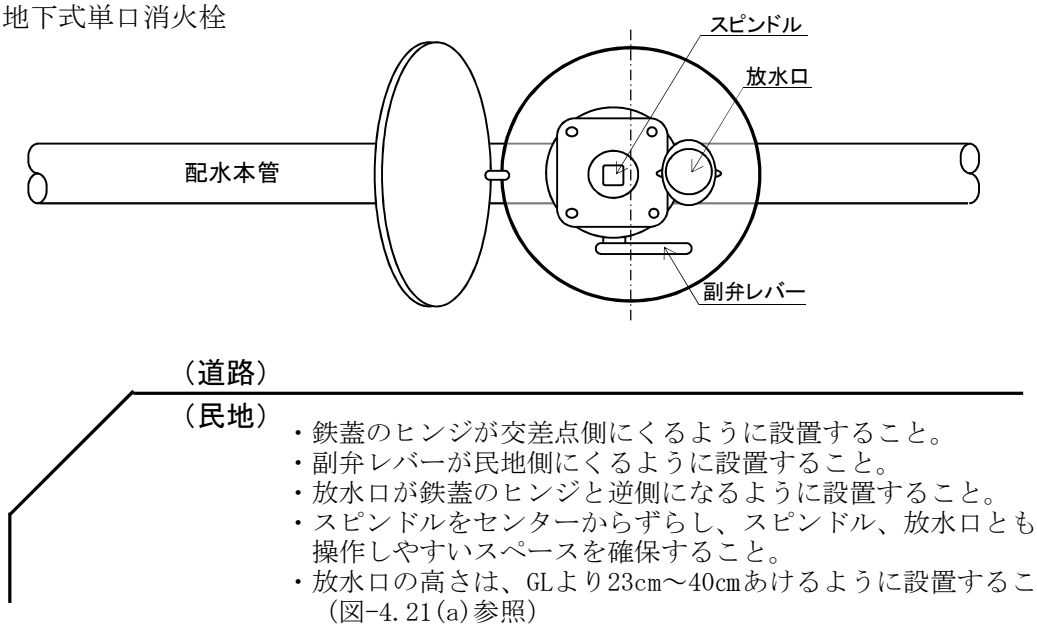


図-4.22　鉄蓋設置標準図

4.7.4 消火栓設置基準

(1) 地下式単口消火栓

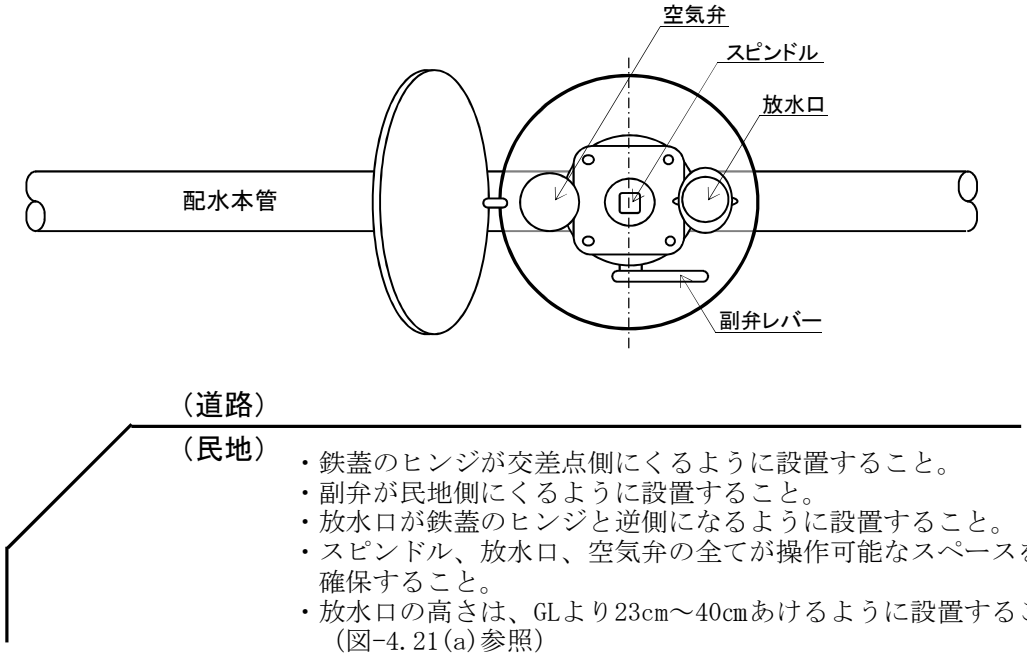


・鉄蓋のヒンジが交差点側にくるように設置すること。
・副弁レバーが民地側にくるように設置すること。
・放水口が鉄蓋のヒンジと逆側になるように設置すること。
・スピンドルをセンターからずらし、スピンドル、放水口とも操作しやすいスペースを確保すること。
・放水口の高さは、GLより23cm～40cmあけるように設置すること。
（図-4.21(a)参照）

図-4.23　地下式単口消火栓設置標準図

(2) 空気弁付地下式単口消火栓

φ200以上の配水管において、必要と判断される箇所に使用する。



・鉄蓋のヒンジが交差点側にくるように設置すること。
・副弁が民地側にくるように設置すること。
・放水口が鉄蓋のヒンジと逆側になるように設置すること。
・スピンドル、放水口、空気弁の全てが操作可能なスペースを確保すること。
・放水口の高さは、GLより23cm～40cmあけるように設置すること。（図-4.21(a)参照）

図-4.24　空気弁付地下式単口消火栓設置標準図

4.8 管防護工

4.8.1 鋳鉄管

(1) 離脱防止の方法

管路の異形管継手周辺部をライナ、特殊押輪等により拘束し、隣接管及び異形管に対する周囲の地盤の拘束力や抗力の働きによる不平均力を分散し、吸収させ管路を安定させるものである。

(2) 拘束延長

表-4.48(a)、4.48(b)にGX及びNS形の、表-4.49にK形の標準的な拘束延長を示す。なお、異形管前後の拘束延長の合計が50mを超えるものについては、原則としてコンクリート防護工を併用するものとする。

表-4.48(a) DIP-GX,NS 拘束延長（曲管，T字管，管末，仕切弁）

呼径	曲管				T字管（分岐部）	管末，仕切弁		
	土被り0.6m以上				土被り0.6m以上	土被り0.8m	土被り1.0m	土被り1.2m
	90°	45° 乙字管	22 1/2°	11 1/4°				
φ75	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	5.5	4.5	4.0
φ100						7.0	5.5	5.0
φ150	4.0					9.5	8.0	6.5
φ200						12.0	10.0	8.5
φ250	6.0				2.0	14.5	12.0	10.0
φ300	7.0				7.0	16.5	14.0	12.0

呼径	曲管						T字管（分岐部）						管末，仕切弁	
	土被り1.2m			土被り1.5m			土被り1.2m			土被り1.5m			土被り1.2m	土被り1.4m ※( )内の数値はNS形で土被り1.5m
	90°	45° 乙字管	22 1/2° 11 1/4°	90°	45° 乙字管	22 1/2° 11 1/4°	枝管φ300	枝管φ350	枝管φ400	枝管φ300	枝管φ350	枝管φ400		
φ350	8.0	3.0	1.0	7.0	3.0	1.0	―	7.0	―	―	7.0	―	13.5	12.0 (11.0)
φ400	9.0	4.0	1.0	8.0	4.0	1.0	6.0	―	7.0	5.0	―	7.0	15.0	13.0 (12.5)

・上表の設計条件は、設計水圧：0.75 MPa、管と土との摩擦係数：μ＝0.3(ポリエチレンスリーブ有り)とする。

・数値は拘束延長L（単位 m）を示し、土圧がかかる有効長内での確保延長になる。

・有効長表記数値未満にはライナが必要となる。

表-4.48(b) DIP-GX,NS　拘束延長（片落管）

呼径		GX				NS			
大管	小管	土被り 0.8m	土被り 1.0m	土被り 1.2m	土被り 1.4m	土被り 0.8m	土被り 1.0m	土被り 1.2m	土被り 1.5m
φ100	φ75	3.0	2.5	2.0	1.5	3.0	2.5	2.0	1.5
φ150	φ100	5.0	4.0	3.5	3.0	5.0	4.0	3.5	3.0
φ200	φ100	―	―	―		8.5	7.0	6.0	5.0
	φ150	5.0	4.0	3.5	3.0	5.0	4.0	3.5	3.0
φ250	φ100	―	―	―	―	11.5	9.5	8.5	7.0
	φ150	―	―	―		9.0	7.5	6.5	5.0
	φ200	5.0	4.5	3.5	3.0	5.0	4.5	3.5	3.0
φ300	φ100	14.5	12.0	10.5	9.0	14.5	12.0	10.5	8.5
	φ150	12.0	10.0	8.5	7.5	12.0	10.0	8.5	7.0
	φ200	9.0	7.5	6.5	5.5	9.0	7.5	6.5	5.5
	φ250	5.0	4.0	3.5	3.0	5.0	4.0	3.5	3.0
φ350	φ150	―	―	10.5	9.5	―	―	10.5	9.0
	φ200	―	―	9.0	8.0	―	―	9.0	7.5
	φ250	―	―	6.5	5.5	―	―	6.5	5.5
	φ300	―	―	3.5	3.0	―	―	3.5	3.0
φ400	φ150	―	―	―	―	―	―	12.5	10.5
	φ200	―	―	11.0	19.0	―	―	11.0	9.0
	φ250	―	―	―	―	―	―	9.0	7.5
	φ300	―	―	6.5	11.0	―	―	6.5	5.5
	φ350	―	―	―		―	―	3.5	3.0

・上表の設計条件は、設計水圧：0.75 MPa、管と土との摩擦係数：μ＝0.3(ポリエチレンスリーブ有り)とする。

・数値は拘束延長Ｌ（単位 m）を示し、土圧がかかる有効長内での確保延長になる。

・有効長表記数値未満にはライナが必要となる。

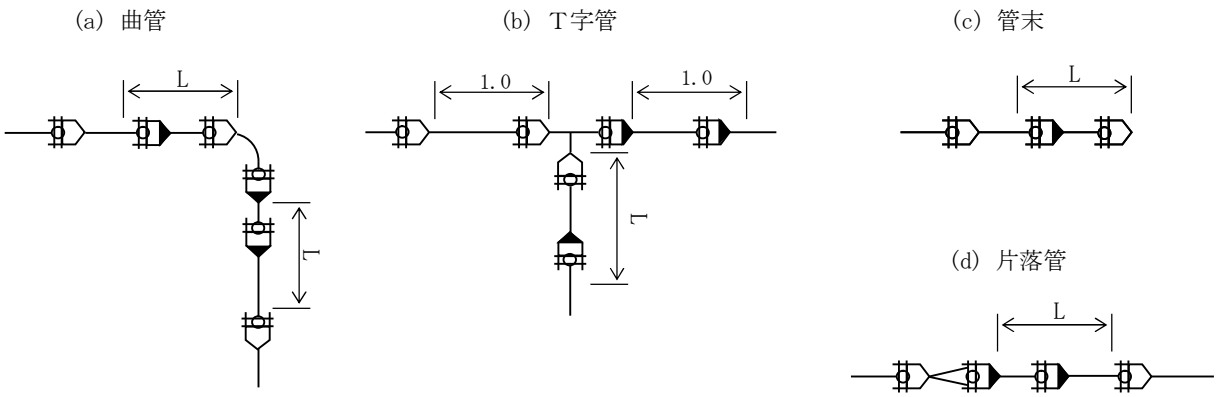


図-4.25　DIP-GX ライナ取付け箇所

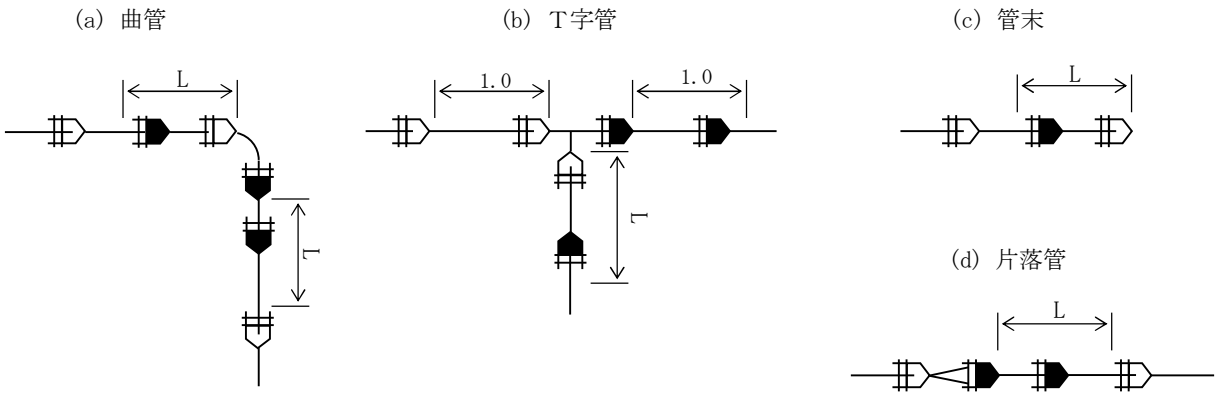


図-4.26 DIP-NS ライナ取付け箇所

表-4.49 DIP-K 拘束延長 (設計水圧：1.0 MPa)

呼径	曲管				管末	T字管	片落管	備考
	90°	45°	22 1/2°	11 1/4°	仕切弁			
φ75	3.5	2.0	－	－	＊ 3.9	＊ 3.9	－	数値は拘束延長を示す。(単位 m)
φ100	4.5	2.6	－	－	＊ 4.9	＊ 4.9	1.0	特殊押輪は全てクサビ型とする。
φ150	＊ 6.4	3.7	－	－	＊ 6.9	＊ 6.9	2.0	＊：杭打工を併用する。
φ200	＊ 8.2	4.9	－	－	＊ 8.8	＊ 8.8	2.0	コ：ｺﾝｸﾘｰﾄ防護を併用する。
φ250	＊ 10.0	＊ 6.0	2.6	－	＊ 10.7	＊ 10.7	2.0	
φ300	コ 11.6	＊ 7.1	3.1	－	コ 12.0	コ 12.0	2.0	φ300×90° 曲管は垂直上下弦設置のみｺﾝｸﾘｰﾄ防護工を併用する。
φ400	コ 12.0	＊ 9.0	3.9	2.7	コ 12.0	コ 12.0	2.0	
φ500	コ 12.0	＊ 10.9	4.7	3.3	コ 12.0	コ 12.0	3.0	

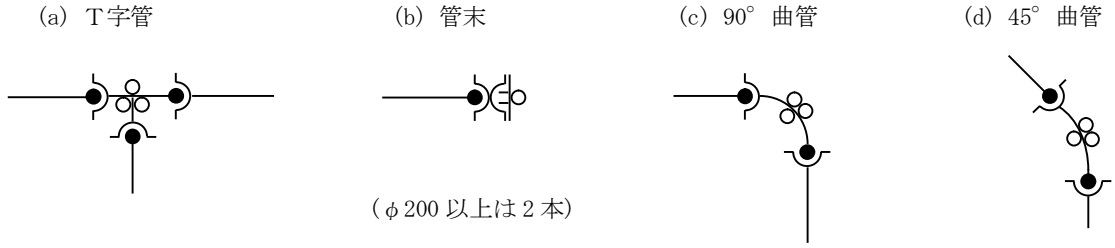
特殊押輪の取付け箇所は

・ 曲管　：曲り部の拘束延長内とする。

・T字管：分岐部の拘束延長内とする。

・片落管：上流部を拘束するものとし、その管径差の合計延長内とする。

(3) 杭打工



※杭は生松丸太、末口 9 cm×1.2m とする。

図-4.27 杭打工標準図

(4) コンクリート防護工

口径の大きい管路や異形管部の多い複雑な管路では、拘束延長が重なって管路のほとんどが離脱防止継手による剛構造管路にならざるを得ない場合が生じる。その結果、配管設計上の支障となり、鎖構造管路の機能を十分に発揮できないと判断される場合はコンクリートによる防護を施すものとする。

コンクリート防護工を使用する際のコンクリート形状寸法と拘束延長は、一体化管路部で保持できる水圧分と防護コンクリートで保持できる水圧分の合計が設計水圧となるように行うこと。

4.8.2 ビニル管

(1) 離脱防止の方法

分岐部、曲り部または断面積減少部には、内圧の不均衡によって振動や滑動が生じ、接合部に脱出力が作用するため、これらの部分に離脱防止金具を取付けることにより、脱出力を抑えるとともに、ビニル管のもつ特性（可とう性：最大 5°，伸縮性：-13 ㎜～+30 ㎜）を確保する。

(2) 拘束延長

表-4.50 (HI)VP-RR 管 拘束延長

呼径	曲管				管末	T字管		片落管	
	90°	45°	22$^1/_2$°	11$^1/_4$°	仕切弁	直線部	分岐部		
φ50	2.0	-	-	-	2.0	2.0	2.0	-	-
φ75	4.0	2.0	1.0	-	4.0	1.0	4.0	φ100×φ75	1.0
φ100	5.0	3.0	1.0	-	5.0	2.0	5.0	φ150×φ75	3.0
φ150	7.0	4.0	2.0	-	7.0	3.0	7.0	φ150×φ100	2.0

・表中の数字は拘束延長Ｌを示す。（単位：m）

・標準土被りが確保できない場合には、別途検討すること。

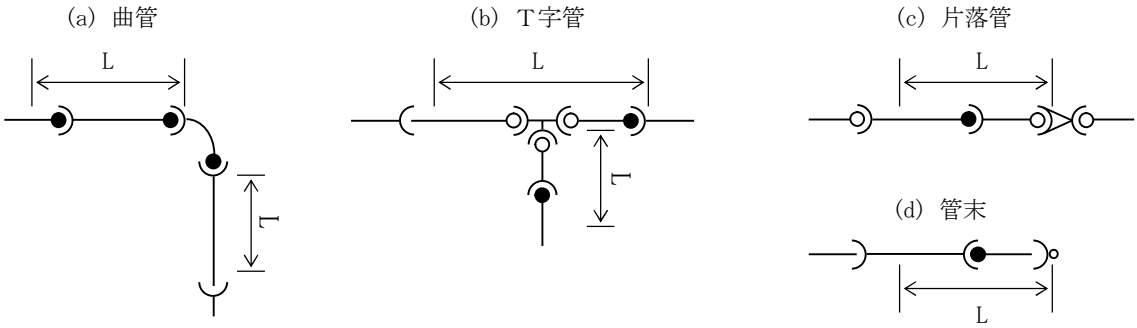


図-4.28 離脱防止金具取付け箇所

4.9 明示テープ類仕様及び施工要領

(1) 管明示テープ

① 使用目的

水道配水管に直接張り付け、本市上水道配水管であることを明示するために使用する。

② 材質、形状寸法、色、特性

材質……塩化ビニル製：耐薬品性でバクテリアによる腐蝕の恐れのないもので生地の色及び表示する文字の顔料は変色しないものであること。

形状寸法……厚さ 0.2㎜以上、幅 50㎜、長さ 20m/巻

色……青

特性……JIS C2336（電気絶縁用ビニル粘着テープ）による

③ 表示の方法

「一宮市上水道」……黒文字

(2) 中間明示テープ

① 使用目的

水道配水管・給水管の管上 30～50㎝に敷設し、水道管の破損事故防止のために使用する。

② 材質、形状寸法、色、特性

材質……ポリエチレンクロス織、シングル：耐薬品性でバクテリアによる腐蝕の恐れのないもので、生地の色及び表示する文字は変色しないものであること。

形状寸法……幅 150㎜、長さ 50m/巻

色……青

特性……JIS K6772（ビニルレザークロス）による

③ 表示の方法

『水道管注意!!この下に水道管あり、一宮市上下水道部』……黒文字

(3) 管探知ワイヤー

① 使用目的

布設した水道管（水道配水用ポリエチレン管・硬質塩化ビニル管）の管上にワイヤーを取り付け、位置及び深さを探知する。

② 材質、構造

芯線及びカーボン入り導体ゴム

芯線……JIS C3152（スズメッキ軟銅線）

導体ゴム……クロロプレンゴム

③ 形状、寸法

芯線……公称断面積 2.0㎜^{2}（7/0.6）、外径 1.8㎜

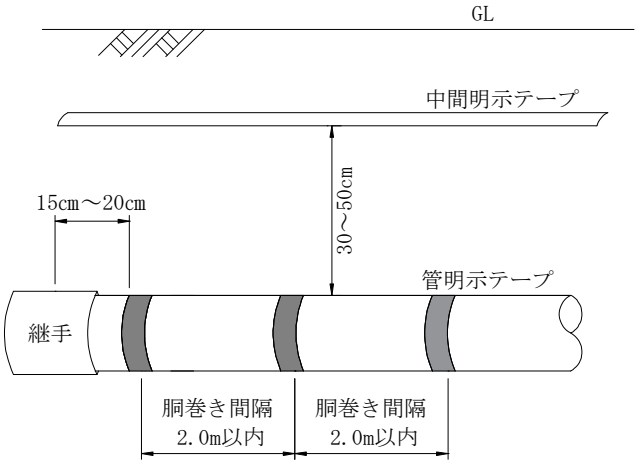
導体ゴム……被覆ゴム厚さ 1.3㎜、仕上り外径 4.4㎜

標準巻き長……100m

(4) 施工要領

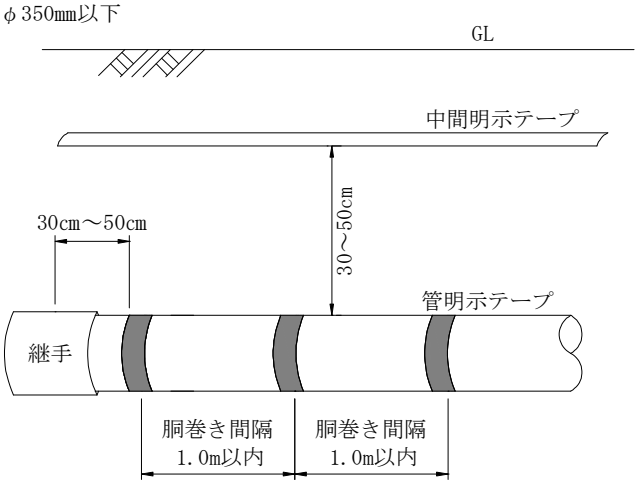
① 管明示テープ、中間明示テープ

（ア）HPPEφ50㎜、HPPEφ100㎜

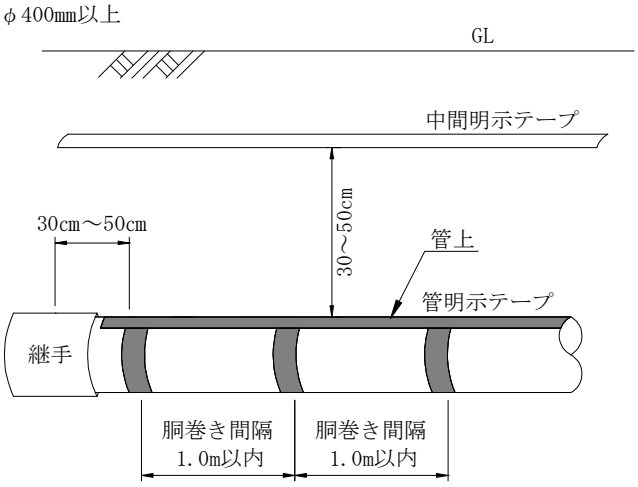


※管１本（5m）4箇所で、管の両端から15～20㎝並びに中間２箇所

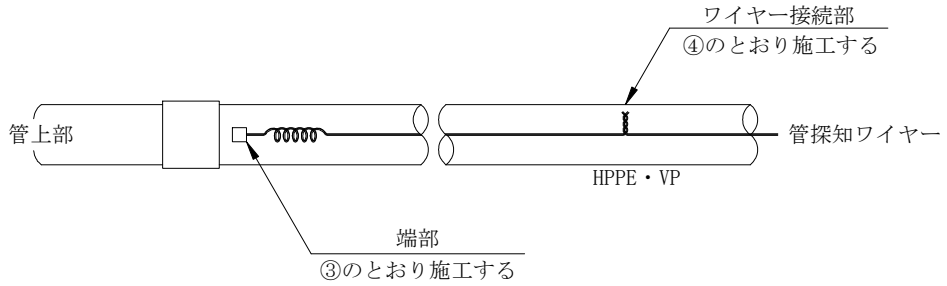
（イ）（ア）以外の管のうちφ350㎜以下



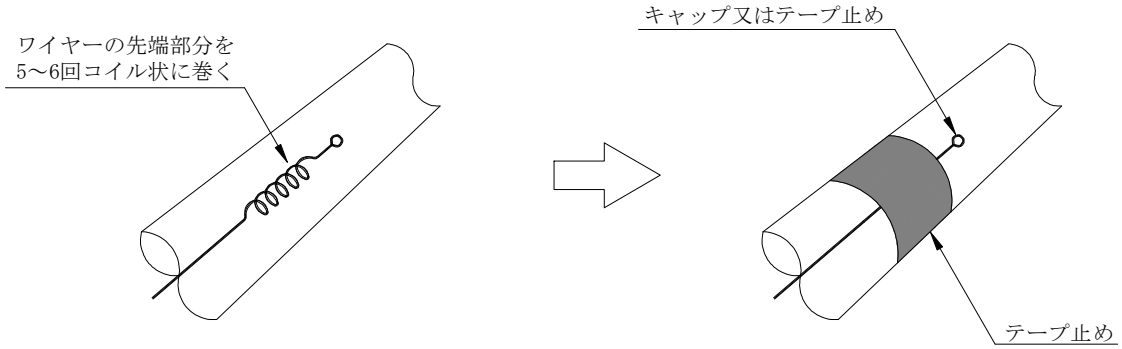
（ウ）（ア）以外の管のうちφ400㎜以上



② 管探知ワイヤー

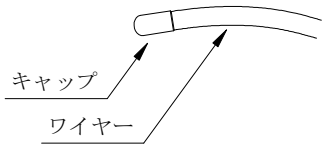


③ 端部施工方法

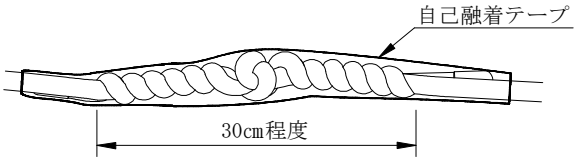


④ 接続部施工方法

ワイヤーの先端部は水分が入ると錆が生じ、内部に進行するため、必ず指定のキャップで先端部の処理すること。

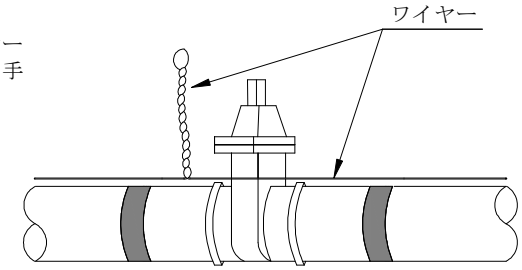


ワイヤーとワイヤーを結び、先端を相手のワイヤーに巻き付ける。巻き付けた上から自己融着テープでテーピングする。



⑤ 仕切弁・消火栓・空気弁部施工方法

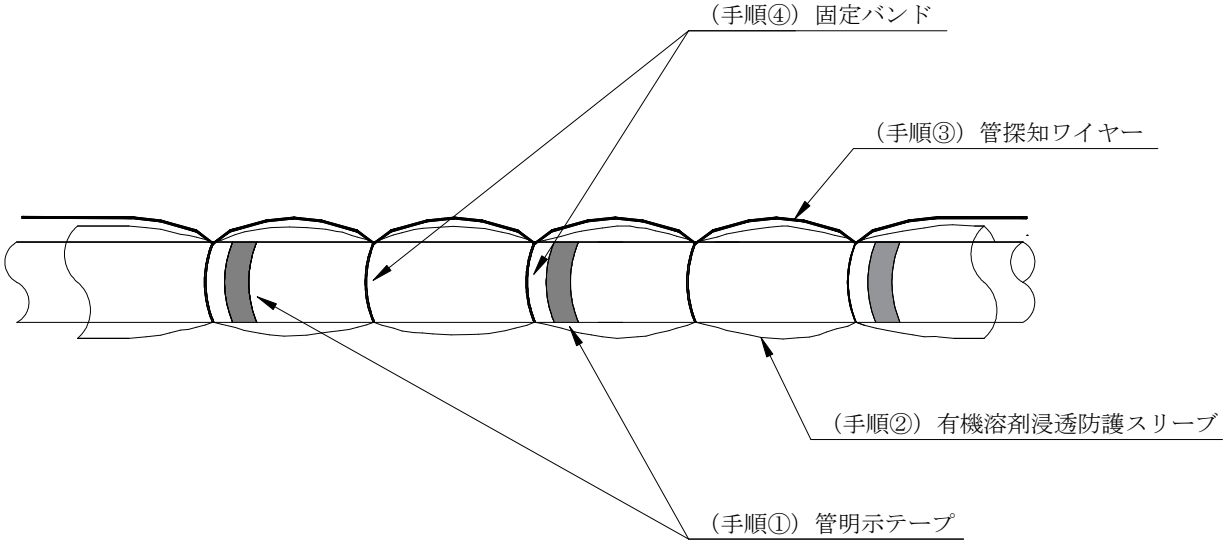
仕切弁筐・消火栓および空気弁筐内において、ワイヤーは切断せず、ねじって折返して輪をつくり、地上から手が届く位置まで立ち上げること。



(5) 施工手順（水道配水用ポリエチレン管）

水道配水用ポリエチレン管の管明示テープおよび管探知ワイヤーは、下記の手順で行う。施工性を鑑みて、管探知ワイヤーは有機溶剤浸透防護スリーブの外に取り付ける。

手順①　管明示テープを管体に貼り付ける
手順②　有機溶剤浸透防護スリーブを管体に被せる
手順③　管頂に管探知ワイヤーを設置する
手順④　固定バンドで管探知ワイヤーごと固定する



(6) 地下埋設管企業別表示テープの色彩（全国統一）

水道管……青
下水管……茶
ガス管……緑
電話線……赤
電力線……オレンジ

4.10 水管橋標準仕様

本節は配水管布設において、河川等横断にあたり設置する水管橋(ステンレス鋼管)について規定するものである。

(1) 水管橋(ステンレス鋼管)の材料について、直管は JIS G3459, JIS G3468 の規格品、継手管は JIS B2312（ステンレス鋼), JIS B2313（ステンレス鋼）の規格品とし、それ以外の材料を使用する場合は、水道技術管理者の承認を受けるものとする。
(2) 水管橋の製作にあたっては、製作承認図を 2 部提出しなければならない。
(3) 鋼管製品検査は日本水道協会検査とし、監督員が立会うこともある。
(4) 検査については、検査合格証明書を提出すること。
(5) 溶接工は JIS Z 3821(ステンレス鋼溶接技術検定における試験方法及び判定基準)に規定する資格者またはこれと同等以上の資格を有する者とする。
(6) 前項溶接工の資格を証明する書類、またはその写しを施工に先立ち監督員に提出すること。
(7) ステンレス鋼管は、移動、吊り込み、接合のときに異物の付着やもらい錆等により外観を損ないやすいため、取扱いは慎重に行わなければならない。
(8) 現場の状況に合わせて管を切断する場合は、プラズマ切断、機械切断を行い、開先はグラインダー等にて適切な開先になるように仕上げること。
(9) 溶接開先面はワイヤーブラシ、グラインダー、布などにより十分清掃しなければならない。
(10) 溶接は温度、水分などに影響されるため、天候、気温、風速に注意を払い、適切な防護設備、防風設備を設けて作業を行うこと。
(11) 管防護コンクリート内部および土壌に接する箇所は、プラスチック被覆もしくはジョイントコートとすること。
(12) 現場溶接箇所は、放射線透過検査を行わなければならない。
(13) 放射線透過検査に従事する技術者は、社団法人日本非破壊検査協会（NDI）の実施する非破壊検査技術者技量認定試験の放射線検査レベル２技術者以上の資格を有する者とする。
(14) 放射線透過試験方法による合否の判定は WSP 008（水道用鋼管現場溶接継手部の非破壊検査基準）によるものとする。

附 表

材料承認一覧

○ダクタイル鋳鉄管
○ダクタイル鋳鉄異形管及び付属品
○水道配水用ポリエチレン管及びＥＦ継手
○水道配水用ポリエチレン管用離脱防止継手
○硬質ポリ塩化ビニル管
○硬質ポリ塩化ビニル管継手
○硬質ポリ塩化ビニル管用鋳鉄製継手
○硬質塩化ビニルライニング鋼管・鋼管用継手
○締め付け継手類
○ボール式サドル分水栓
○ポリエチレン管・ポリエチレン管継手
○弁類
○鉄蓋・桝類
○不断水割Ｔ字管類
○その他

図示記号一覧

○図面における材料の図示記号
○古い竣工図に記載された材料の図示記号

様 式

○水圧試験結果報告書

参考資料

○ラミネート製表示プレート標準図

材料承認一覧

ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管

番号	名　　称	規　　格　　1	規　　格　　2	形　状　寸　法	承　認　業　者　等
1	K形　ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管	JWWA　G113	1種管 内面ﾓﾙﾀﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ	φ　75×4m 100×4 150×5 200×5 250×5 300×6 350×6	
2	K形　ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管	JWWA　G113	2種管 内面ﾓﾙﾀﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ	φ400×6m 450×6 500×6 600×6 700×6 800×6	
3	NS形ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管	JWWA　G113	1種管 内面ﾓﾙﾀﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ	φ　75×4m 100×4 150×5 200×5 250×5 300×6 350×6 400×6 450×6	
4	NS形ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管	JWWA　G113	1種管 内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ400×6m 450×6	
5	NS形ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管	JDPA　G1042	S種管 内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ500×6m 600×6 700×6 800×6	
6	GX形ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管	JWWA　G120 φ450：JDPA G1049	1種管 内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ　75×4m 100×4 150×5 200×5 250×5 300×6 350×6 400×6 450×6	

材料承認一覧

ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄異形管及び付属品

番号	名　　称	規　格　1	規　格　2	形　状　寸　法	承　認　業　者　等
7	K形　三受十字管	JWWA　G114	内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ75×φ75 100×100 150×100 150×150 200×150 200×200 250×150 250×250 300×200 300×300 350×250 350×350 400×300 400×400 450×300 450×450 500×400 600×400 700×500 800×600	
8	K形　二受Ｔ字管	JWWA　G114	内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ75×φ75 100×　75 100×100 150×　75 150×100 150×150 200×100 200×150 200×200 250×100 250×150 250×250 300×100 300×150 300×200 300×300 350×250 350×350 400×300 400×400 450×300 450×450 500×300 500×350 500×500 600×400 600×500 600×600 700×400 700×500 700×600 700×700 800×500 800×600 800×700 800×800	
9	K形　受挿し片落管 　　挿し受片落管	JWWA　G114	内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ100×φ75 150×100 200×100 200×150 250×100 250×150 250×200 300×100 300×150 300×200 300×250 350×150 350×200 350×250 350×300 400×150 400×200 400×250 400×300 400×350 450×200 450×250 450×300 450×350 450×400 500×250 500×300 500×350 500×400 500×450 600×300 600×350 600×400 600×450 600×500 700×400 700×450 700×500 700×600 800×450 800×500 800×600 800×700	

材料承認一覧

ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄異形管及び付属品

番号	名称	規格 1	規格 2	形状寸法	承認業者等
10	K形 曲管 90° 曲管 45° 曲管 22 1/2° 曲管 11 1/4°	JWWA G114	内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ75 100 150 200 250 300 350 400 450 500 600 700 800	
11	K形 うず巻き式ﾌﾗﾝｼﾞ付きＴ字管	JWWA G114	内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ75 100 150 200 250 300 350	
12	K形 排水Ｔ字管	JWWA G114	内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ200×φ100 250×100 300×100 350×150 400×150 450×200 500×200 600×200 700×300 800×300	
13	K形 継ぎ輪	JWWA G114	内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ75 100 150 200 250 300 350 400 450 500 600 700 800	
14	K形 短管1号 短管2号	JWWA G114	内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ75 100 150 200 250 300 350 400 450 500 600 700 800	
15	K形 栓	JWWA G114	内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ75 100 150 200 250 300 350 400 450 500 600 700 800	
16	K形 ﾒｶｷｬｯﾌﾟ	一宮市上下水道部承認品	内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ75 100 150 200 250 300 350 400 450	ｺｽﾓ工機㈱ 大成機工㈱ ㈱川西水道機器（φ300まで）
17	K形 押輪	JWWA G113・114		φ75 100 150 200 250 300 350 400 450 500 600 700 800	

材料承認一覧

ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄異形管及び付属品

番号	名　　称	規　格　1	規　格　2	形　状　寸　法	承　認　業　者　等
18	K形　T頭合金ﾎﾞﾙﾄﾅｯﾄ	一宮市上下水道部承認品		φ75 100 150 200 250 300 350 400 450 500 600 700 800	㈱ｸﾛﾀﾞｲﾄ ｺｽﾓ工機㈱ 大成機工㈱
19	K形　特殊押輪	一宮市上下水道部承認品	合金製	φ75 100 150 200 250 300 350 400 450 500 600 700 800	㈱ｸﾛﾀﾞｲﾄ(φ700以上は全周型 ｺｽﾓ工機㈱ 大成機工㈱
20	K形　全周型特殊押輪 3DkN対応	一宮市上下水道部承認品	合金製	φ75 100 150 200 250 300 350 400 450 500 600 700 800	㈱ｸﾛﾀﾞｲﾄ(φ150まで) ｺｽﾓ工機㈱ 大成機工㈱
21	K形　ｺﾞﾑ輪	JWWA　G113・114		φ75 100 150 200 250 300 350 400 450 500 600 700 800	
22	NS形 三受十字管	JWWA　G114	内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ75×φ75 100×100 150×100 150×150 200×150 200×200 250×150 250×250 300×200 300×300 350×250 350×350 400×300 400×400 450×300 450×450	
		JDPA　G1042	内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ500×φ400 600×400 700×500 800×600	
23	NS形 二受T字管	JWWA　G114	内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ75×φ75 100× 75 100×100 150× 75 150×100 150×150 200×100 200×150 200×200 250×100 250×150 250×250 300×100 300×150 300×200 300×300 350×250 350×350 400×300 400×400 450×300 450×450	
		JDPA　G1042	内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ500×φ350 500×400 500×450 500×500 600×400 600×450 600×500 600×600 700×450 700×500 700×600	

材料承認一覧

ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄異形管及び付属品

番号	名　　称	規　格　1	規　格　2	形　状　寸　法	承　認　業　者　等
	NS形 二受Ｔ字管	JDPA　G1042	内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	700×700 800×500 800×600 800×700 800×800	
24	NS形 受挿し片落管 挿し受片落管	JWWA　G114	内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ100×φ75 150×100 200×100 200×150 250×100 250×150 250×200 300×100 300×150 300×200 300×250 350×150 350×200 350×250 350×300 400×150 400×200 400×250 400×300 400×350 450×200 450×250 450×300 450×350 450×400	
		JDPA　G1042	内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ500×φ250 500×300 500×350 500×400 500×450 600×300 600×350 600×400 600×450 600×500 700×400 700×450 700×500 700×600 800×450 800×500 800×600 800×700	
25	NS形 曲管　90° 曲管　45° 曲管　22 1/2° 曲管　11 1/4° 曲管　5 5/8°	JWWA　G114	内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ75 100 150 200 250 300 350 400 450	
		JDPA　G1042	内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ500 600 700 800	
26	NS形 両受曲管　45° 両受曲管　22 1/2°	JWWA　G114	内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ75 100 150 200 250 300 350 400 450	
27	NS形 ﾌﾗﾝｼﾞ付きＴ字管	JWWA　G114	内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ75×φ75 100×75 150×75 150×100 200×75 200×100 250×75 250×100 300×75 300×100 350×75 350×100 400×75 400×100 450×75 450×100	
		JDPA　G1042	内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ500×φ75 500×100 600×75 600×100 700×75 700×100 800×75 800×100	

材料承認一覧

ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄異形管及び付属品

番号	名　　称	規　格　1	規　格　2	形　状　寸　法	承　認　業　者　等
28	NS形 うず巻き式ﾌﾗﾝｼﾞ付きＴ字管	JWWA　G114	内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ75×φ75 100×φ75 150×φ75 150×φ100 200×φ75 200×φ100 250×φ75 250×φ100 300×φ75 300×φ100 350×φ75 350×φ100	
29	NS形 排水Ｔ字管	JWWA　G114	内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ200×φ100 250×100 300×100 350×150 400×150 450×200	
		JDPA　G1042	内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ500×φ200 600×200 700×300 800×300	
30	NS形 継ぎ輪	JWWA　G114	内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ75 100 150 200 250 300 350 400 450	
		JDPA　G1042	内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ500 600 700 800	
31	NS形 短管1号 短管2号	JWWA　G114	内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ75 100 150 200 250 300 350 400 450	
		JDPA　G1042	内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ500 600 700 800	
32	NS形 帽	JWWA　G114	内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ75 100 150 200 250 300 350 400 450	
33	NS形 栓	一宮市上下水道部承認品	内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ75 100 150 200 250 300 350 400 450	ｺｽﾓ工機㈱ 大成機工㈱
		JDPA　G1042	内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ500 600 700 800	
34	NS形 ﾛｯｸﾘﾝｸﾞ	JWWA　G113・114		φ75 100 150 200 250 300 350 400 450	
		JDPA　G1042		φ500 600 700 800	
35	NS形 ﾗｲﾅ	JWWA　G113・114		φ75 100 150 200 250 300 350 400 450	
		JDPA　G1042		φ500 600 700 800	

材料承認一覧

ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄異形管及び付属品

番号	名　　称	規　格　1	規　格　2	形　状　寸　法	承　認　業　者　等
36	NS形 押輪	JWWA　G113・114		φ75 100 150 200 250 300 350 400 450	
		JDPA　G1042		φ500 600 700 800	
37	NS形 T頭ﾎﾞﾙﾄﾅｯﾄ	JWWA　G113・114	SUS304	φ75 100 150 200 250 300 350 400 450	
		JDPA　G1042	SUS304	500 600 700 800	
38	NS形 切管用挿し口ﾘﾝｸﾞ ﾘﾍﾞｯﾄ ﾀｯﾋﾟﾝねじ	JWWA　G113・114		φ75 100 150 200 250 300 350 400 450	
39	NS形 切管用挿し口ﾘﾝｸﾞ ﾘﾍﾞｯﾄ	JDPA　G1042		φ500 600 700 800	
40	NS形 ｺﾞﾑ輪	JWWA　G113・114		φ75 100 150 200 250 300 350 400 450	
		JDPA　G1042		φ500 600 700 800	
41	NS形 ﾛｯｸﾘﾝｸﾞ心出し用ｺﾞﾑ	JWWA　G113・114		φ75 100 150 200 250 300 350 400 450	
42	NS形 ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟﾘﾝｸﾞ	JWWA　G113・114		φ75 100 150 200 250 300 350 400 450	
		JDPA　G1042		φ500 600 700 800	
43	NS形 特殊割押輪	一宮市上下水道部承認品		φ75 100 150 200 250 300 350 400 450 500 600 700 800	大成機工㈱ ｺｽﾓ工機㈱
44	ﾌﾗﾝｼﾞ形　ﾌﾗﾝｼﾞ短管	JWWA　G114		φ75×100 75×150 75×200 75×250 75×300 75×400 75×500	

材料承認一覧

ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄異形管及び付属品

番号	名　　称	規　格　1	規　格　2	形　状　寸　法	承　認　業　者　等
45	GX形 二受Ｔ字管	JWWA　G121 φ450：JDPA G1049	内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ75×φ75 100×　75 100×100 150×　75 150×100 150×150 200×100 200×150 200×200 250×100 250×150 250×250 300×100 300×150 300×200 300×300 350×250 350×350 400×300 400×400 450×300 450×450	
46	GX形 受挿し片落管 挿し受片落管	JWWA　G121 φ450：JDPA G1049	内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ100×φ75 150×100 200×150 250×200 300×100 300×150 300×200 300×250 350×150 350×200 350×250 350×300 400×200 400×300 400×350 450×300 450×400	
47	GX形 曲管　90° 曲管　45° 曲管　22 1/2° 曲管　11 1/4° 曲管　 5 5/8°	JWWA　G121 φ450：JDPA G1049	内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ75 100 150 200 250 300 350 400 450	
48	GX形 両受曲管　45° 両受曲管　22 1/2°	JWWA　G121 φ450：JDPA G1049	内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ75 100 150 200 250 300 350 400 450	
49	GX形 ﾌﾗﾝｼﾞ付きＴ字管	JWWA　G121 φ450：JDPA G1049	内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ75×φ75 100×75 150×75 200×75 250×75 300×75 300×100 350×75 350×100 400×75 400×100 450×75 450×100	
50	GX形 うず巻式ﾌﾗﾝｼﾞ付きＴ字管	JWWA　G121	内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ75×φ75 100×75 150×75 200×75 250×75 300×75 300×100 350×75 350×100	
51	GX形 排水T字管	JWWA　G121 φ450：JDPA G1049	内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ300×φ100 350×150 400×150 450×200	
52	GX形 継ぎ輪	JWWA　G121 φ450：JDPA G1049	内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ75 100 150 200 250 300 350 400 450	
53	GX形 両受短管	JWWA　G121 φ450：JDPA G1049	内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ75 100 150 200 250 300 350 400 450	
54	GX形 乙字管	JWWA　G121	内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ75(H=300) 100(　〃　) 150(　〃　) 200(　〃　) 250(　〃　) 300(　〃　) φ75(H=450) 100(　〃　) 150(　〃　) 200(　〃　) 250(　〃　) 300(　〃　)	

材料承認一覧

ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄異形管及び付属品

番号	名　　称	規　格　1	規　格　2	形　状　寸　法	承　認　業　者　等
55	GX形 帽	JWWA　G121 φ450：JDPA G1049	内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ75 100 150 200 250 300 350 400 450	
56	GX形 P-Link	JWWA　G120・121	内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ75 100 150 200 250 300	
57	GX形 G-Link	JWWA　G120・121		φ75 100 150 200 250 300	
58	GX形 ﾛｯｸﾘﾝｸﾞ	JWWA　G120・121 φ450：JDPA G1049		φ75 100 150 200 250 300 350 400 450	
59	GX形 ﾗｲﾅ	JWWA　G120・121 φ450：JDPA G1049		φ75 100 150 200 250 300 350 400 450	
60	GX形 押輪	JWWA　G120・121 φ450：JDPA G1049		φ75 100 150 200 250 300 350 400 450	
61	GX形 T頭ﾎﾞﾙﾄﾅｯﾄ	JWWA　G120・121 φ450：JDPA G1049	SUS304	φ75 100 150 200 250 300 350 400 450	
62	GX形 切管用挿し口ﾘﾝｸﾞ ﾀｯﾋﾟﾝねじ	JWWA　G120・121 φ450：JDPA G1049		φ75 100 150 200 250 300 350 400 450	
63	GX形 ｺﾞﾑ輪	JWWA　G120・121 φ450：JDPA G1049		φ75 100 150 200 250 300 350 400 450	
64	GX形 ﾛｯｸﾘﾝｸﾞﾎﾙﾀﾞ	JWWA　G120・121 φ450：JDPA G1049		φ75 100 150 200 250 300 350 400 450	
65	GX形 ﾗｲﾅﾎﾞｰﾄﾞ	JWWA　G120・121 φ450：JDPA G1049		φ75 100 150 200 250 300 350 400 450	
66	GX形 短管1号 短管2号	一宮市上下水道部承認品	内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装 7.5K	φ75 100 150 200 250 300 350 400 450	㈱ｸﾎﾞﾀ ㈱栗本鐵工所：φ450除く 日本鋳鉄管㈱：φ450除く ㈱ﾊｽﾞ：φ350,450除く ㈱岡本：φ300まで

材料承認一覧

ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄異形管及び付属品

番号	名　　称	規　格　1	規　格　2	形　状　寸　法	承　認　業　者　等
67	GX形 伸縮可撓管（ﾀｲﾛｯﾄﾞ含む）	一宮市上下水道部承認品	内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装 ﾀﾞﾌﾞﾙ型 受口×受口 受口×挿口 挿口×挿口	φ75×100h 75×200 75×300 75×400 φ100×100h 100×200 100×300 100×400 φ150×100h 150×200 150×300 150×400 φ200×100h 200×200 200×300 200×400 φ250×100h 250×200 250×300 250×400 φ300×100h 300×200 300×300 300×400 φ350×100h 350×200 350×300 350×400 φ400×100h 400×200 400×300 400×400	ｺｽﾓ工機㈱ 大成機工㈱ ㈱水研：φ350除く
68	GX形 栓（直管用） 栓（異形管用）	一宮市上下水道部承認品	内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ75 100 150 200 250 300 350 400 450	ｺｽﾓ工機㈱ 大成機工㈱
69	GX形 特殊押輪（継ぎ輪用）	一宮市上下水道部承認品		φ75 100 150 200 250 300 350 400 450	ｺｽﾓ工機㈱ 大成機工㈱
70	GX形 ﾌﾗﾝｼﾞ付台座付曲管	一宮市上下水道部承認品	内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ75×φ75 100×75	ｺｽﾓ工機㈱ 大成機工㈱
71	A・K形継手耐震補強金具(B.N共)	一宮市上下水道部承認品		φ75 100 150 200 250 300 350	ｺｽﾓ工機㈱ 大成機工㈱
72	ﾌﾗﾝｼﾞ継手耐震補強金具(B.N共)	一宮市上下水道部承認品		φ75 100 150 200 250 300 350	ｺｽﾓ工機㈱ 大成機工㈱
73	A・K形離脱防止金具(B.N共)	一宮市上下水道部承認品		φ75 100 150 200 250 300 350 400 450 500 600 700 800	ｺｽﾓ工機㈱ 大成機工㈱
74	T形離脱防止金具(B.N共)	一宮市上下水道部承認品		φ75 100 150 200 250	ｺｽﾓ工機㈱ 大成機工㈱
75	ﾌﾗﾝｼﾞﾊﾟｯｷﾝ	一宮市上下水道部承認品	RF形	φ75 100 150 200 250 300 350 400 450 500 600 700 800	ｻﾝｴｽ護謨工業㈱ 城北化工㈱ 山本興産㈱
76	ﾌﾗﾝｼﾞﾊﾟｯｷﾝ	JWWA　G114	GF形	φ75 100 150 200 250 300 350 400 450 500 600 700 800	

材料承認一覧

水道配水用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管及びEF継手

番号	名　　称	規　　格　　1	規　　格　　2	形　状　寸　法	承　認　業　者　等
77	水道配水用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管　直管	JWWA　K144		φ50×5m φ75×5m φ100×5m	
78	水道配水用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管　EF受口付直管	JWWA　K144		φ50×5m φ75×5m φ100×5m	
79	EFｿｹｯﾄ	JWWA　K145		φ50 φ75 φ100	
80	EFﾍﾞﾝﾄﾞ　90° 45° 22 1/2° 11 1/4°	JWWA　K145		φ50 φ75 φ100	
81	EF片受ﾍﾞﾝﾄﾞ　90° 45° 22 1/2° 11 1/4°	JWWA　K145		φ50 φ75 φ100	
82	ﾍﾞﾝﾄﾞ　90° 45° 22 1/2° 11 1/4°	JWWA　K145		φ50 φ75 φ100	
83	EFﾁｰｽﾞ	JWWA　K145		φ50×φ50 φ75×φ50 φ75×φ75 φ100×φ50 φ100×φ75 φ100×φ100	
84	EF片受ﾁｰｽﾞ	JWWA　K145		φ50×φ50	
85	ﾁｰｽﾞ	JWWA　K145		φ50×φ50	
86	EF片受ﾚﾃﾞｭｰｻ	JWWA　K145		φ75×φ50 φ100×φ50 φ100×φ75 φ150×φ100	
87	ﾚﾃﾞｭｰｻ	JWWA　K145		φ75×φ50 φ100×φ50 φ100×φ75 φ150×φ100	
88	EFｷｬｯﾌﾟ	JWWA　K145		φ50 φ75 φ100	
89	ｷｬｯﾌﾟ（EF栓）	JWWA　K145		φ50 φ75 φ100	
90	EFSﾍﾞﾝﾄﾞ	JWWA　K145		φ50(H=300) φ75(　〃　) φ100(　〃　) φ50(H=450) φ75(　〃　) φ100(　〃　) φ50(H=600) φ75(　〃　) φ100(　〃　)	
91	EF片受Sﾍﾞﾝﾄﾞ	JWWA　K145		φ50(H=300) φ75(　〃　) φ100(　〃　) φ50(H=450) φ75(　〃　) φ100(　〃　) φ50(H=600) φ75(　〃　) φ100(　〃　)	
92	Sﾍﾞﾝﾄﾞ	JWWA　K145		φ50(H=300) φ75(　〃　) φ100(　〃　) φ50(H=450) φ75(　〃　) φ100(　〃　) φ50(H=600) φ75(　〃　) φ100(　〃　)	
93	EFﾌﾗﾝｼﾞ（鋳鉄ﾌﾗﾝｼﾞ）	PTC K 13		φ50 φ75 φ100	
94	ﾌﾗﾝｼﾞ（鋳鉄ﾌﾗﾝｼﾞ）	PTC K 13		φ50 φ75 φ100	
95	PE挿し口付鋳鉄製ﾌﾗﾝｼﾞ短管	PTC G 32		φ50 φ75 φ100	
96	PE挿し口付鋳鉄製T字管（ﾌﾗﾝｼﾞ付）	PTC G 32		φ100×φ75	
97	PE挿し口付うず巻き式T字管 （ﾌﾗﾝｼﾞ付）	PTC G 32		φ100×φ75	
98	K形ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管用異種管継手	PTC G 32		φ75 φ100	
99	EF ｴﾙﾎﾞ　90°	一宮市上下水道部承認品		φ50	積水化学工業㈱ ㈱ｸﾎﾞﾀｹﾐｯｸｽ

材料承認一覧

水道配水用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管用離脱防止継手

番号	名　　称	規　格　1	規　格　2	形状寸法	承認業者等
100	金属継手　ｿｹｯﾄ	PTC B21		φ50	
101	金属継手　ｴﾙﾎﾞ 90°	PTC B21		φ50	
102	金属継手　ﾁｰｽﾞ	PTC B21		φ50×φ50	
103	金属継手　ﾊﾟｲﾌﾟｴﾝﾄﾞ	PTC B21		φ50	
104	金属継手　おねじ付ｿｹｯﾄ	PTC B21		φ50	
105	金属継手　おねじ付ｿｹｯﾄ回転型	PTC B21		φ30×φ50HPPE φ40×φ50HPPE φ50	
106	金属継手　めねじ付ｿｹｯﾄ	PTC B21		φ50	
107	金属継手　平行おねじ付ｿｹｯﾄ	PTC B21		φ30×φ50HPPE φ40×φ50HPPE φ50	
108	金属継手　分止水栓用ｿｹｯﾄ回転型	PTC B21		φ50	
109	金属継手　ﾒｰﾀｰ用ｿｹｯﾄ	PTC B21		φ50	
110	金属継手　ﾍﾞﾝﾄﾞ 90°	PTC B21		φ50	
111	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ受口付金属継手　おねじ付受口	PTC B24		50	
112	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ受口付金属継手　めねじ付受口	PTC B24		50	
113	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ受口付金属継手　ﾒｰﾀｰ用受口	PTC B24		50	
114	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ受口付金属継手　分止水栓用受口 (回転型)	PTC B24		50	
115	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ受口付金属継手　平行おねじ付受口	PTC B24		50	
116	ﾒｶﾆｶﾙ継手　ｿｹｯﾄ(HPPE×HPPE)	PTC G30	内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ50 φ75 φ100	
117	ﾒｶﾆｶﾙ継手　ｿｹｯﾄ(HPPE×DIP)	PTC G30	内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ50 φ75 φ100	
118	ﾒｶﾆｶﾙ継手　ｿｹｯﾄ(HPPE×VP)	PTC G30	内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ50 φ75 φ100	
119	ﾒｶﾆｶﾙ継手　ﾌﾗﾝｼﾞ短管	PTC G30	内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ50 φ75 φ100	
120	ﾒｶﾆｶﾙ継手　ｷｬｯﾌﾟ	PTC G30	内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ50 φ75 φ100	
121	ﾒｶﾆｶﾙ継手　三方ﾁｰｽﾞ	PTC G30	内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ50×φ50 φ75×φ75 φ100×φ75 φ100×φ100	
122	ﾒｶﾆｶﾙ継手　ﾌﾗﾝｼﾞ付きﾁｰｽﾞ	PTC G30	内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ75×φ50 φ75×φ75 φ100×φ50 φ100×φ75 φ100×φ100	
123	ﾒｶﾆｶﾙ継手　ﾌﾗﾝｼﾞ付きﾁｰｽﾞ(台付き)	PTC G30	内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ75×φ75 φ100×φ75	
124	ﾒｶﾆｶﾙ継手　ﾌﾗﾝｼﾞ付きうず巻き型ﾁｰｽﾞ	PTC G30	内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ75×φ75 φ100×φ75	
125	ﾒｶﾆｶﾙ継手　ﾍﾞﾝﾄﾞ 90° 45° 22 1/2° 11 1/4°	PTC G30	内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ50 φ75 φ100	
126	ﾒｶﾆｶﾙ継手　ﾌﾗﾝｼﾞ付きﾍﾞﾝﾄﾞ (消火栓用)	PTC G30	内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ75×φ75	
127	ﾒｶﾆｶﾙ継手　ﾚﾃﾞｭｰｻ(HPPE×(HPPE)	PTC G30	内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ75×φ50 φ100×φ75 φ150×φ100	
128	ﾒｶﾆｶﾙ継手　ﾚﾃﾞｭｰｻ(HPPE×DIP)	PTC G30	内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ50HPPE×φ75DIP φ50HPPE×φ100DIP φ50HPPE×φ150DIP φ75HPPE×φ100DIP φ75HPPE×φ150DIP φ100HPPE×φ150DIP	
129	ﾒｶﾆｶﾙ継手　ﾚﾃﾞｭｰｻ(HPPE×VP)	PTC G30	内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ75HPPE×φ50VP φ100HPPE×φ50VP φ100HPPE×φ75VP	
130	ﾒｶﾆｶﾙ継手　ﾌﾗﾝｼﾞﾚﾃﾞｭｰｻ(F×HPPE)	PTC G30	内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ75F×φ50HPPE φ100F×φ75HPPE φ150F×φ100HPPE	

材料承認一覧

水道配水用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管用離脱防止継手

番号	名　　称	規　格　1	規　格　2	形　状　寸　法	承　認　業　者　等
131	離脱防止継手※　ｿｹｯﾄ(HPPE×HPPE)	一宮市上下水道部承認品	内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ50 φ75 φ100	大成機工㈱ ㈱川西水道機器
132	離脱防止継手※　ｿｹｯﾄ(HPPE×DIP)	一宮市上下水道部承認品	内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ50 φ75 φ100	大成機工㈱ ㈱川西水道機器
133	離脱防止継手※　ｿｹｯﾄ(HPPE×VP)	一宮市上下水道部承認品	内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ50 φ75 φ100	大成機工㈱ ㈱川西水道機器
134	離脱防止継手※　ﾌﾗﾝｼﾞ短管	一宮市上下水道部承認品	内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ50 φ75 φ100	大成機工㈱ ㈱川西水道機器
135	離脱防止継手※　ｷｬｯﾌﾟ	一宮市上下水道部承認品	内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ50 φ75 φ100	大成機工㈱ ㈱川西水道機器
136	離脱防止継手※　三方ﾁｰｽﾞ	一宮市上下水道部承認品	内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ50×φ50 φ75×φ75 φ100×φ75 φ100×φ100	大成機工㈱ ㈱川西水道機器
137	離脱防止継手※　ﾌﾗﾝｼﾞ付きﾁｰｽﾞ	一宮市上下水道部承認品	内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ75×φ50 φ75×φ75 φ100×φ50 φ100×φ75 φ100×φ100	大成機工㈱ ㈱川西水道機器
138	離脱防止継手※　ﾍﾞﾝﾄﾞ　90° 45° 22 1/2° 11 1/4°	一宮市上下水道部承認品	内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ50 φ75 φ100	大成機工㈱ ㈱川西水道機器
139	離脱防止継手※　異種管用ﾍﾞﾝﾄﾞ (HPPE×DIP)　90° 45°	一宮市上下水道部承認品	内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ50HPPE×φ50VP φ75HPPE×φ75VP φ100HPPE×φ100VP	㈱川西水道機器
140	離脱防止継手※　異種管用ﾍﾞﾝﾄﾞ (HPPE×VP)　90° 45° 22 1/2° 11 1/4°	一宮市上下水道部承認品	内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ50HPPE×φ50VP φ75HPPE×φ75VP φ100HPPE×φ100VP	㈱川西水道機器
141	離脱防止継手※　ﾌﾗﾝｼﾞ付きﾍﾞﾝﾄﾞ （消火栓用）	一宮市上下水道部承認品	内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ75×φ75	大成機工㈱ ㈱川西水道機器
142	離脱防止継手※　ﾚﾃﾞｭｰｻ(HPPE×(HPPE)	一宮市上下水道部承認品	内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ75×φ50 φ100×φ75 φ150×φ100	大成機工㈱ ㈱川西水道機器
143	離脱防止継手※　ﾚﾃﾞｭｰｻ(HPPE×DIP)	一宮市上下水道部承認品	内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ50HPPE×φ75DIP φ50HPPE×φ100DIP φ50HPPE×φ150DIP φ75HPPE×φ100DIP φ75HPPE×φ150DIP φ100HPPE×φ150DIP	ｺｽﾓ工機㈱ 大成機工㈱ ㈱川西水道機器
144	離脱防止継手※　ﾚﾃﾞｭｰｻ(HPPE×VP)	一宮市上下水道部承認品	内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ40VP×φ50HPPE φ75VP×φ50HPPE φ100VP×φ50HPPE φ40VP×φ75HPPE φ50VP×φ75HPPE φ65VP×φ75HPPE φ100VP×φ75HPPE φ150VP×φ75HPPE φ50VP×φ100HPPE φ75VP×φ100HPPE φ150VP×φ100HPPE	大成機工㈱： φ40VP、65VP除く ㈱川西水道機器
145	離脱防止継手※　ﾌﾗﾝｼﾞﾚﾃﾞｭｰｻ (F×HPPE)	一宮市上下水道部承認品	内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ75F×φ50HPPE φ100F×φ75HPPE φ150F×φ100HPPE	大成機工㈱ ㈱川西水道機器
146	離脱防止継手　ｿｹｯﾄ	一宮市上下水道部承認品	内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ50	㈱川西水道機器
147	離脱防止継手　径違いｿｹｯﾄ 離脱防止継手　異種管用ｿｹｯﾄ	一宮市上下水道部承認品	内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ50HPPE×φ50VP, SGP φ50HPPE×φ40VP, SGP φ50HPPE×φ32SGP φ50HPPE×φ30VP φ50HPPE×φ25VP, SGP φ50HPPE×φ20VP, SGP	㈱川西水道機器
148	離脱防止継手　ﾅｯﾄ付ﾁｰｽﾞ(管止付)	一宮市上下水道部承認品	内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ50×φ50	㈱川西水道機器
149	離脱防止継手　異種管用ﾅｯﾄ付ﾁｰｽﾞ(管止付) 離脱防止継手　異種管径違い用ﾅｯﾄ付ﾁｰｽﾞ(管止付)	一宮市上下水道部承認品	内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ50HPPE×φ50VP, SGP φ50HPPE×φ40VP, SGP φ50VP, SGP×φ50HPPE	㈱川西水道機器
150	離脱防止継手　めねじ付ｿｹｯﾄ	一宮市上下水道部承認品	内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ50	㈱川西水道機器
151	分止水栓用ｿｹｯﾄ	一宮市上下水道部承認品	内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ50	㈱川西水道機器
152	離脱防止継手　ｷｬｯﾌﾟ	一宮市上下水道部承認品	内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ50	㈱川西水道機器
153	離脱防止継手　ｷｬｯﾌﾟ(ﾌﾟﾗｸﾞ付)	一宮市上下水道部承認品	内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ50	㈱川西水道機器
154	離脱防止継手　ｴﾙﾎﾞ　90°	一宮市上下水道部承認品	内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ50	㈱川西水道機器
155	離脱防止継手　異種管用ｴﾙﾎﾞ　90°	一宮市上下水道部承認品	内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ50HPPE×φ50VP, SGP	㈱川西水道機器
156	離脱防止継手　ｴﾙﾎﾞ　45°	一宮市上下水道部承認品	内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ50	㈱川西水道機器
157	離脱防止継手　異種管用ｴﾙﾎﾞ　45°	一宮市上下水道部承認品	内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ50HPPE×φ50VP, SGP	㈱川西水道機器
158	離脱防止継手　ｽﾄｯﾌﾟﾘﾝｸﾞ	一宮市上下水道部承認品	内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ50	㈱川西水道機器
159	離脱防止継手　ｲﾝｺｱ	一宮市上下水道部承認品	内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ50 φ75 φ100	㈱川西水道機器
160	離脱防止継手　ｱﾀﾞﾌﾟﾀｰ	一宮市上下水道部承認品	内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ50	㈱川西水道機器
161	離脱防止継手※　接合ｱﾀﾞﾌﾟﾀｰ	一宮市上下水道部承認品	内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ50 φ75 φ100	㈱川西水道機器

※の離脱防止継手は、PTC規格以外のメカニカル継手を示す。

材料承認一覧

硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管

番号	名　　称	規　　格　　1	規　　格　　2	形　状　寸　法	承　認　業　者　等
162	硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管	JIS　K6742	TS継手	φ 13×4m 20×4 25×4 30×4 40×4 , 40×5 50×4 , 50×5 65×4 , 65×5 75×4 , 75×5 100×4 , 100×5 150×4 , 150×5	
163	耐衝撃性硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管	JIS　K6742	TS継手	φ 13×4m 20×4 25×4 30×4 40×4 , 40×5 50×4 , 50×5 65×4 , 65×5 75×4 , 75×5 100×4 , 100×5 150×4 , 150×5	
164	ｺﾞﾑ輪形硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管 (VP)	JWWA　K129	RR継手	φ 50×5m 65×5 75×5 100×5 150×5	
165	ｺﾞﾑ輪形硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管 (HIVP)	JWWA　K129	RR継手	φ 50×5m 65×5 75×5 100×5 150×5	

材料承認一覧

硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管継手

番号	名　　称	規　格　1	規　格　2	形状寸法	承認業者等
166	HITS継手　ｿｹｯﾄ	JIS　K6743		φ13 20 25 30 40 50 65 75 100 150	
167	HITS継手　径違いｿｹｯﾄ	JIS　K6743		φ20×φ13 25×13 25×20 30×20 30×25 40×25 40×30 50×30 50×40	
168	HITS継手　ﾁｰｽﾞ	JIS　K6743		φ13×φ13 20×13 20×20 25×13 25×20 25×25 30×13 30×20 30×25 30×30 40×13 40×20 40×25 40×30 40×40 50×13 50×20 50×25 50×30 50×40 50×50	
169	HITS継手　ｴﾙﾎﾞ	JIS　K6743		φ13 20 25 30 40 50	
170	HITS継手　ｷｬｯﾌﾟ	JIS　K6743		φ13 20 25 30 40 50 75 100 150	
171	HIRR継手　ｿｹｯﾄ	JWWA　K130		φ75 100 150	
172	HIRR継手　ﾍﾞﾝﾄﾞ　90° ﾍﾞﾝﾄﾞ　45° ﾍﾞﾝﾄﾞ　22 1/2° ﾍﾞﾝﾄﾞ　11 1/4° ﾍﾞﾝﾄﾞ　5 5/8°	JWWA　K130		φ75 100 150	
173	(HI)RR継手用　離脱防止金具	一宮市上下水道部承認品		φ75 100 150	積水化学工業㈱ ㈱ｹﾎﾞﾀｹﾐｯｸｽ 大成機工㈱ ｺｽﾓ工機㈱ ㈱川西水道機器:RRのみ
174	HIRR継手用　離脱防止金具	一宮市上下水道部承認品	ｼｮｰﾄ型	φ75 100 150	㈱川西水道機器
175	VPｵﾈｼﾞｿｹｯﾄ	一宮市上下水道部承認品		φ13 20 25	前澤給装工業㈱ 前田ﾊﾞﾙﾌﾞ工業㈱ 名古屋ﾊﾞﾙﾌﾞ工業㈱：φ20,25のみ ㈱ﾀﾌﾞﾁ

材料承認一覧

硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管用鋳鉄製継手

番号	名　　称	規　　格　　1	規　　格　　2	形　状　寸　法	承　認　業　者　等
176	鋳鉄製　VPＴ字管	一宮市上下水道部承認品	離脱防止機能一体型	φ75×φ75 100×　75 100×100 150×　75 150×100 150×150	大成機工㈱ ｺｽﾓ工機㈱ ㈱川西水道機器
177	鋳鉄製　うず巻き式VPF付Ｔ字管	一宮市上下水道部承認品	離脱防止機能一体型	φ75×φ75 100×　75 150×　75	大成機工㈱ ｺｽﾓ工機㈱ ㈱川西水道機器
178	鋳鉄製　VP片落管	一宮市上下水道部承認品	離脱防止機能一体型	φ75×φ50 100×75 150×100	大成機工㈱ ｺｽﾓ工機㈱ ㈱川西水道機器（ｼｮｰﾄ形）
179	鋳鉄製　MF短管	一宮市上下水道部承認品	離脱防止機能一体型	φ75 100 150	大成機工㈱ ｺｽﾓ工機㈱ ㈱川西水道機器（ｼｮｰﾄ形）
180	鋳鉄製　VP曲管　90° VP曲管　45° VP曲管　22 1/2° VP曲管　11 1/4°	一宮市上下水道部承認品	離脱防止機能一体型	φ75 100 150	大成機工㈱ ｺｽﾓ工機㈱ ㈱川西水道機器（ｼｮｰﾄ形）
181	鋳鉄製　VSｼﾞｮｲﾝﾄ	一宮市上下水道部承認品	離脱防止機能一体型	φ75 100 150	大成機工㈱ ｺｽﾓ工機㈱ ㈱川西水道機器
182	鋳鉄製　VCｼﾞｮｲﾝﾄ	一宮市上下水道部承認品	離脱防止機能一体型	φ75 100 150	大成機工㈱ ｺｽﾓ工機㈱ ㈱川西水道機器
183	鋳鉄製　VP用ｷｬｯﾌﾟ	一宮市上下水道部承認品	離脱防止機能一体型	φ75 100 150	大成機工㈱ ｺｽﾓ工機㈱ ㈱川西水道機器
184	鋳鉄製　CV片落管	一宮市上下水道部承認品	離脱防止機能一体型	φ100×φ75 150×　75 150×100 200×　75 200×100 200×150	大成機工㈱ ｺｽﾓ工機㈱ ㈱川西水道機器 （100×75、150×100のみ）

材料承認一覧

硬質塩化ﾋﾞﾆﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管・鋼管用継手

番号	名　　称	規　　格　　1	規　　格　　2	形　状　寸　法	承　認　業　者　等
185	硬質塩化ﾋﾞﾆﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管	JWWA　K116	SGP-VB	φ15×4m 20×4 25×4 32×4 40×4 50×4 80×4 100×4 150×4	
186	亜鉛ﾒｯｷ鋼管	JIS　G3442	SGP　鞘管用	φ15 20 25 32 40 50 80 100 150	
187	管端防食形継手	JWWA　K150		φ15 20 25 32 40 50 80 100 150	
188	鋼管用ﾕﾆｵﾝ継手（ﾅｯﾄ・ﾊﾟｯｷﾝ付）	一宮市上下水道部承認品		φ30 40 50	㈱ﾀﾌﾞﾁ ㈱日邦ﾊﾞﾙﾌﾞ 前澤給装工業㈱ 前田バルブ工業㈱
189	伸縮ﾕﾆｵﾝ継手	一宮市上下水道部承認品	φ50　片ﾌﾗﾝｼﾞ付	φ30 40 50	㈱ﾀﾌﾞﾁ：φ40,50のみ 前澤給装工業㈱ 前田バルブ工業㈱：φ40,50のみ
			両ﾌﾗﾝｼﾞ付	φ75 100	㈱光明製作所

材料承認一覧
締め付け継手類

番号	名　　称	規　　格　　1	規　　格　　2	形　　状　　寸　　法	承　認　業　者　等
190	伸縮可とう継手　ｿｹｯﾄ	一宮市上下水道部承認品	内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φV13 16 V20,20 V25,25 V30 32 40 50	㈱川西水道機器
191	伸縮可とう継手　片落ちｿｹｯﾄ	一宮市上下水道部承認品	内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φV13×φL13 16×V13 V20×V13・16・20・L20 20×V13・16・L20 V25×V20・25・L25 25×20	㈱川西水道機器
192	伸縮可とう継手　めねじ	一宮市上下水道部承認品	内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φV13 16 V20,20 V25,25	㈱川西水道機器
193	伸縮可とう継手　ﾊﾞﾙﾌﾞｿｹｯﾄ	一宮市上下水道部承認品	内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φV13 16 V20,20 V25,25 V30 32 40 50	㈱川西水道機器
194	伸縮可とう継手　栓	一宮市上下水道部承認品	内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φV13 16 V20,20 V25,25	㈱川西水道機器
195	離脱防止継手　ｿｹｯﾄ	一宮市上下水道部承認品	内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φV13 16(V,G,P13) 20(V,G,P) 25(V,G,P) V30 32(G,P30) 40(V,G,P) 50(V,G,P) 65(V,G) 75(V,G) 100(V,G)	㈱川西水道機器
196	離脱防止継手　径違いｿｹｯﾄ 離脱防止継手　異種管用ｿｹｯﾄ	一宮市上下水道部承認品	内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ16(G)×φ16(V,P13) 16(V)×16(P13) 20(G)×20(V),20(P)×20(V,G) 25(G)×25(V),25(P)×25(V,G) 32(G)×32(P30) 40(G)×40(V),40(P)×40(V,G) 50(G)×50(V),50(P)×50(V,G) 16(V,G,P13)×V13 20 (V,G,P)×V13 20 (V,G,P)×16(V,G,P13) 25 (V,G,P)×V13 25 (V,G,P)×16(V,G,P13) 25 (V,G,P)×20(V,G,P) V30×20(V,G,P) V30×25(V,G,P) 32(G,P30)×20(V,G,P) 32(G,P30)×25(V,G,P) 32(G,P30)×V30 40 (V,G,P)×20(V,G,P) 40 (V,G,P)×25(V,G,P) 40 (V,G,P)×V30 40 (V,G,P)×32(G,P30) 50 (V,G,P)×20(V,G,P) 50 (V,G,P)×25(V,G,P) 50 (V,G,P)×V30 50 (V,G,P)×32(G,P30) 50 (V,G,P)×40(V,G,P) 65 (V)×65(G) 75 (V)×75(G) 100 (V)×100(G)	㈱川西水道機器
197	離脱防止継手　ﾅｯﾄ付ﾁｰｽﾞ	一宮市上下水道部承認品	内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φV13×φV13 16(V,G,P13)×V13 16(V,G,P13)×16(V,G,P13) 20 (V,G,P)×V13 20 (V,G,P)×16(V,G,P13) 20 (V,G,P)×20(V,G,P) 25 (V,G,P)×V13 25 (V,G,P)×16(V,G,P13) 25 (V,G,P)×20(V,G,P)	㈱川西水道機器

材料承認一覧

締め付け継手類

番号	名　　称	規　　格　1	規　　格　2	形　　状　　寸　　法	承　認　業　者　等
	離脱防止継手　ﾅｯﾄ付ﾁｰｽﾞ	一宮市上下水道部承認品	内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ25 (V,G,P)×φ25(V,G,P) V30×V13 V30×16(V,G,P13) V30×20(V,G,P) V30×25(V,G,P) V30×V30 32(G,P30)×16(V,G,P13) 32(G,P30)×20(V,G,P) 32(G,P30)×25(V,G,P) 32(G,P30)×V30 32(G,P30)×32(G,P30) 40 (V,G,P)×V13 40 (V,G,P)×16(V,G,P13) 40 (V,G,P)×20(V,G,P) 40 (V,G,P)×25(V,G,P) 40 (V,G,P)×V30 40 (V,G,P)×32(G,P30) 40 (V,G,P)×40(V,G,P) 50 (V,G,P)×V13 50 (V,G,P)×16(V,G,P13) 50 (V,G,P)×20(V,G,P) 50 (V,G,P)×25(V,G,P) 50 (V,G,P)×V30 50 (V,G,P)×32(G,P30)(管止付) 50 (V,G,P)×40(V,G,P)(管止付) 50 (V,G,P)×50(V,G,P)(管止付)	㈱川西水道機器
198	離脱防止継手　おねじ付ｿｹｯﾄ	一宮市上下水道部承認品	内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	65(V,G) 75(V,G) 100(V,G)	㈱川西水道機器
199	離脱防止継手　めねじ付ｿｹｯﾄ	一宮市上下水道部承認品	内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φV13 16(V,G,P13) 20(V,G,P) 25(V,G,P) V30 32(G,P30) 40(V,G,P) 50(V,G,P)	㈱川西水道機器
200	分止水栓用ｿｹｯﾄ	一宮市上下水道部承認品	内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φV13 16(V,G,P13) 20(V,G,P) 25(V,G,P) V30 32(G,P30) 40(V,G,P) 50(V,G,P)	㈱川西水道機器
201	離脱防止継手　ｴﾙﾎﾞ 90° 45° 22 1/2°（φ40･50のみ） 11 1/4°（φ40･50のみ）	一宮市上下水道部承認品	内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φV13 16(V,G,P13) 20(V,G,P) 25(V,G,P) V30 32(G,P30) 40(V,G,P) 50(V,G,P) 16(G)×16(V,P13),16(V)×16(P13) 20(G)×20(V),20(P)×20(V,G) 25(G)×25(V),25(P)×25(V,G) 32(G,P30)×V30 32(G)×32(P30) 40(G)×40(V),40(P)×40(V,G) 50(G)×50(V),50(P)×50(V,G)	㈱川西水道機器
202	離脱防止継手　ｷｬｯﾌﾟ	一宮市上下水道部承認品	内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φV13 16(V,G,P13) 20(V,G,P) 25(V,G,P) V30 32(G,P30) 40(V,G,P) 50(V,G,P)	㈱川西水道機器
203	離脱防止継手　ｷｬｯﾌﾟ（ﾌﾟﾗｸﾞ付）	一宮市上下水道部承認品	内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	50(V,G,P)	㈱川西水道機器
204	離脱防止継手　ｽﾄｯﾌﾟﾘﾝｸﾞ	一宮市上下水道部承認品	内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φV13 16(V,G,P13) 20(V,G,P) 25(V,G,P) V30 32(G,P30) 40(V,G,P) 50(V,G,P)	㈱川西水道機器

※伸縮可撓継手・離脱防止継手は、V：塩ビ管用、G：鋼管用、P：水道用ポリエチレン管用、L：鉛管用

材料承認一覧

ﾎﾞｰﾙ式ｻﾄﾞﾙ分水栓

番号	名　　称	規　　格　　1	規　　格　　2	形　状　寸　法	承　認　業　者　等
205	ﾎﾞｰﾙ式ｻﾄﾞﾙ分水栓	JWWA　B117	鋳鉄管用	75×20 75×25 75×30 75×40 100×20 100×25 100×30 100×40 ※100×50 150×20 150×25 150×30 150×40 ※150×50 200×20 200×25 200×30 200×40 ※200×50 250×20 250×25 250×30 250×40 ※250×50 300×20 300×25 300×30 300×40 ※300×50 350×20 350×25 350×30 350×40 ※350×50	※配水管として使用する場合は 栗本商事㈱ ㈱日邦ﾊﾞﾙﾌﾞ 前澤給装工業㈱ 前田ﾊﾞﾙﾌﾞ工業㈱ ㈱ﾀﾌﾞﾁ を使用すること。
		JWWA　B117	ﾋﾞﾆﾙ管・鋼管用	φ40×φ20 50×20 50×25 75×20 75×25 75×30 75×40 100×20 100×25 100×30 100×40 ※100×50 150×20 150×25 150×30 150×40 ※150×50	※配水管として使用する場合は 栗本商事㈱ ㈱日邦ﾊﾞﾙﾌﾞ 前澤給装工業㈱ 前田ﾊﾞﾙﾌﾞ工業㈱ ㈱ﾀﾌﾞﾁ を使用すること。
		一宮市上下水道部承認品	ﾋﾞﾆﾙ管・鋼管用 JWWA　B117準拠	φ40×φ25	栗本商事㈱ ㈱光明製作所 ㈱ﾀﾌﾞﾁ ㈱日邦ﾊﾞﾙﾌﾞ 前澤給装工業㈱ 前田ﾊﾞﾙﾌﾞ工業㈱
		一宮市上下水道部承認品	ﾋﾞﾆﾙ管・鋼管用 JWWA　B117準拠	φ65×φ20 φ65×φ25	㈱日邦ﾊﾞﾙﾌﾞ
		PTC B20	水道配水用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管用	φ50×φ20 50×25 100×20 100×25 100×30 100×40 100×50	
		一宮市上下水道部承認品	水道配水用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管用	φ50×φ30	栗本商事㈱ ㈱日邦ﾊﾞﾙﾌﾞ 前澤給装工業㈱
206	密着コア	一宮市上下水道部承認品	銅製 (内面ﾓﾙﾀﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ・内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装管兼用)	φ20 25 30 40 50	栗本商事㈱ ㈱光明製作所 ㈱ﾀﾌﾞﾁ ㈱日邦ﾊﾞﾙﾌﾞ 前澤給装工業㈱ 前田ﾊﾞﾙﾌﾞ工業㈱
			ｽﾃﾝﾚｽ製 (内面ﾓﾙﾀﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ・内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装管兼用)	φ20 25 30 40 50	㈱ﾀﾌﾞﾁ ㈱日邦ﾊﾞﾙﾌﾞ
207	防食ﾌｨﾙﾑ	一宮市上下水道部承認品		φ20 25 30 40 50	栗本商事㈱ ㈱光明製作所 ㈱ﾀﾌﾞﾁ ㈱日邦ﾊﾞﾙﾌﾞ 前澤給装工業㈱ 前田ﾊﾞﾙﾌﾞ工業㈱

材料承認一覧

ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管・ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管継手

番号	名　　称	規　　格　1	規　　格　2	形　状　寸　法	承　認　業　者　等
208	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管	JIS　K6762	1種　2層管	φ20 25	規格品のため省略
209	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管用ｴﾙﾎﾞ	一宮市上下水道部承認品		φ13 20 25	栗本商事㈱ ㈱光明製作所 大成機工㈱ ㈱ﾀﾌﾞﾁ 名古屋ﾊﾞﾙﾌﾞ工業㈱ ㈱日邦ﾊﾞﾙﾌﾞ 前澤給装工業㈱ 前田ﾊﾞﾙﾌﾞ工業㈱
210	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管用異径ｴﾙﾎﾞ	一宮市上下水道部承認品		φ20×φ13	前田ﾊﾞﾙﾌﾞ工業㈱
211	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管用ｿｹｯﾄ	一宮市上下水道部承認品		φ13 20 25	栗本商事㈱ ㈱光明製作所 大成機工㈱ ㈱ﾀﾌﾞﾁ 名古屋ﾊﾞﾙﾌﾞ工業㈱ ㈱日邦ﾊﾞﾙﾌﾞ 前澤給装工業㈱ 前田ﾊﾞﾙﾌﾞ工業㈱
212	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管用異径ｿｹｯﾄ	一宮市上下水道部承認品		φ20×φ13 25×13 25×20	栗本商事㈱ ㈱光明製作所 大成機工㈱ ㈱ﾀﾌﾞﾁ 名古屋ﾊﾞﾙﾌﾞ工業㈱ ㈱日邦ﾊﾞﾙﾌﾞ 前澤給装工業㈱ 前田ﾊﾞﾙﾌﾞ工業㈱
213	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管用ﾕﾆｵﾝｿｹｯﾄ	一宮市上下水道部承認品		φ13 20 25	栗本商事㈱ ㈱光明製作所 大成機工㈱ ㈱ﾀﾌﾞﾁ 名古屋ﾊﾞﾙﾌﾞ工業㈱ ㈱日邦ﾊﾞﾙﾌﾞ 前澤給装工業㈱ 前田ﾊﾞﾙﾌﾞ工業㈱
214	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管用ﾕﾆｵﾝﾛﾝｸﾞｴﾙﾎﾞ90°	一宮市上下水道部承認品		φ13×φ13 20×13 20×20 25×25	栗本商事㈱：φ20×φ13除く ㈱光明製作所 大成機工㈱ ㈱ﾀﾌﾞﾁ 名古屋ﾊﾞﾙﾌﾞ工業㈱ ㈱日邦ﾊﾞﾙﾌﾞ 前澤給装工業㈱ 前田ﾊﾞﾙﾌﾞ工業㈱
				φ25×φ13 25×20	名古屋バルブ工業㈱ 前田バルブ工業㈱
215	PVｿｹｯﾄ	一宮市上下水道部承認品		φ13 20 25 φ20×φ13 φ25×φ20	㈱ﾀﾌﾞﾁ 名古屋ﾊﾞﾙﾌﾞ工業㈱ ㈱日邦ﾊﾞﾙﾌﾞ 前澤給装工業㈱ 前田ﾊﾞﾙﾌﾞ工業㈱
				φ25×φ13	㈱日邦ﾊﾞﾙﾌﾞ 前澤給装工業㈱ 前田バルブ工業㈱
216	PVｴﾙﾎﾞ	一宮市上下水道部承認品		φ13 20 25	㈱ﾀﾌﾞﾁ 名古屋ﾊﾞﾙﾌﾞ工業㈱ ㈱日邦バルブ 前澤給装工業㈱ 前田バルブ工業㈱
217	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管用ｵﾈｼﾞｿｹｯﾄ	一宮市上下水道部承認品		φ13 20 25	栗本商事㈱ ㈱光明製作所 大成機工㈱ ㈱ﾀﾌﾞﾁ 名古屋ﾊﾞﾙﾌﾞ工業㈱ ㈱日邦ﾊﾞﾙﾌﾞ 前澤給装工業㈱ 前田ﾊﾞﾙﾌﾞ工業㈱

材料承認一覧

弁類

番号	名　　称	規　格　1	規　格　2	形 状 寸 法	承　認　業　者　等
218	青銅製仕切弁	一宮市上下水道部承認品	内ﾈｼﾞ式（接合部） 丸ﾊﾝﾄﾞﾙ　左開き	φ13 20 25	東洋ﾊﾞﾙﾌﾞ㈱ ㈱日邦ﾊﾞﾙﾌﾞ 前澤給装工業㈱
			外ﾈｼﾞ式（接合部） 丸ﾊﾝﾄﾞﾙ　左開き	φ30 40 50	栗本商事㈱：配水管として使用可 ㈱ﾀﾌﾞﾁ：配水管として使用可 ㈱日邦ﾊﾞﾙﾌﾞ 前澤給装工業㈱：配水管として使用可 前田ﾊﾞﾙﾌﾞ工業㈱
219	ﾌﾗﾝｼﾞ形　ｿﾌﾄｼｰﾙ仕切弁	JWWA　B120	内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装 2種　右開き	φ75 100 150 200 250 300 350	
220	K形　受挿しｿﾌﾄｼｰﾙ仕切弁	一宮市上下水道部承認品	JWWA　B120準拠 内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装 3種 右開き	φ75 100 150 200 250 300	前澤工業㈱ ㈱栗本鐵工所 宮部鉄工㈱ 清水工業㈱ ㈱ｸﾎﾞﾀ 角田鉄工㈱：φ300除く
221	NS形 受挿しｿﾌﾄｼｰﾙ仕切弁	一宮市上下水道部承認品	JWWA　B120準拠 内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装 3種 右開き	φ75 100 150 200 250 300	㈱栗本鐵工所 ㈱清水鐵工所：φ300のみ 宮部鉄工㈱：φ300のみ ㈱ｸﾎﾞﾀ：φ300のみ 前澤工業㈱：φ300のみ 角田鉄工㈱：φ300のみ
222	NS形 両受ｿﾌﾄｼｰﾙ仕切弁	JWWA　B120	内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装 3種　右開き	φ75 100 150 200 250	
		一宮市上下水道部承認品	JWWA　B120準拠 内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装 3種　右開き	300 350	㈱ｸﾎﾞﾀ 角田鉄工㈱ ㈱栗本鐵工所 前澤工業㈱ 宮部鉄工㈱ 角田鉄工㈱ ㈱清水鐵工所
223	VP管用　両受ｿﾌﾄｼｰﾙ仕切弁	一宮市上下水道部承認品	JWWA　B120準拠 内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装 2種　右開き	φ75 100 150	㈱清水合金製作所 ㈱栗本鐵工所 ㈱清水鐵工所：3種　φ150除く 清水工業㈱ 宮部鉄工㈱：φ150除く 大成機工㈱
224	NS形 ﾊﾞﾀﾌﾗｲ弁	一宮市上下水道部承認品	JWWA　B138準拠 内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装 ｾﾝﾀｰｷｬｯﾌﾟ式 7.5K 標準ﾀｲﾌﾟ	φ400 450 500 600 700 800	㈱ｸﾎﾞﾀ 前澤工業㈱ ㈱ﾊｽﾞ：φ400、450のみ ㈱清水合金製作所 ㈱清水鐵工所
225	地下式消火栓	一宮市上下水道部承認品	JWWA　B103準拠 内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装 単口　右開き	φ75	㈱清水鐵工所 ㈱ﾊｽﾞ ㈱ｸﾎﾞﾀ ㈱清水合金製作所 前澤工業㈱ 宮部鉄工㈱ 清水工業㈱ 富士鉄工㈱ 角田鉄工㈱ 協和工業㈱
226	空気弁付地下式消火栓	一宮市上下水道部承認品	内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装 φ25空気弁付 単口　右開き	φ75	㈱ｸﾎﾞﾀ ㈱清水鐵工所 ㈱ﾊｽﾞ 角田鉄工㈱ 宮部鉄工㈱ 富士鉄工㈱ ㈱清水合金製作所 協和工業㈱ 清水工業㈱ 前澤工業㈱
227	補修弁	JWWA　B126	内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装 ﾎﾞｰﾙ式	φ75	
228	急速空気弁	JWWA　B137	内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装 φ25：ﾈｼﾞ式 φ75：ﾌﾗﾝｼﾞ式	φ25 75	
229	不凍急排型空気弁(副弁付)	一宮市上下水道部承認品	ｽﾃﾝﾚｽ製	φ25 50 75	宮部鉄工㈱：φ25のみ 清水工業㈱:φ25のみ ㈱清水鐵工所：φ50除く 前澤工業㈱ ㈱清水合金製作所

材料承認一覧

弁類

番号	名　　称	規　格　1	規　格　2	形 状 寸 法	承　認　業　者　等
230	不断水ﾊﾞﾙﾌﾞ	一宮市上下水道部承認品	内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装 鋳鉄管用　右開き	φ75 100 150 200 250 300 350 400 450 500 600	大成機工㈱ ｺｽﾓ工機㈱ ㈱水研：φ500まで（φ450除く）
231	不断水ﾊﾞﾙﾌﾞ	一宮市上下水道部承認品	内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装 ﾋﾞﾆﾙ管用　右開き	φ75 100 150	大成機工㈱ ｺｽﾓ工機㈱ ㈱水研
232	不断水ﾊﾞﾙﾌﾞ	一宮市上下水道部承認品	内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装 ﾎﾟﾘ管用　右開き	φ75 100	大成機工㈱ ｺｽﾓ工機㈱
233	伸縮型ﾎﾞｰﾙ止水栓	一宮市上下水道部承認品	ﾊﾝﾄﾞﾙ脱着式	φ13 20 25	栗本商事㈱ ㈱光明製作所 ㈱ﾀﾌﾞﾁ ㈱日邦ﾊﾞﾙﾌﾞ 前澤給装工業㈱ 前田ﾊﾞﾙﾌﾞ工業㈱
234	ﾎﾞｰﾙ式逆止弁	一宮市上下水道部承認品		φ20 25 30 40 50	㈱ﾀﾌﾞﾁ：φ25まで ㈱日邦ﾊﾞﾙﾌﾞ 前澤給装工業㈱：φ30以上のみ 前田ﾊﾞﾙﾌﾞ工業㈱：φ25まで
235	逆止弁付ﾊﾟｯｷﾝ	一宮市上下水道部承認品		φ13 20 25	栗本商事㈱ ㈱光明製作所 ㈱ﾀﾌﾞﾁ ㈱日邦ﾊﾞﾙﾌﾞ 前澤給装工業㈱ 前田ﾊﾞﾙﾌﾞ工業㈱
236	GX形 両受ｿﾌﾄｼｰﾙ仕切弁	JWWA　B120 φ350：JDPA G1049	内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装 3種　右開き	φ75 100 150 200 250 300 350 400	
237	GX形 受挿しｿﾌﾄｼｰﾙ仕切弁	一宮市上下水道部承認品	JWWA B120準拠 内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装 3種　右開き	φ75 100 150 200 250 300	㈱栗本鐵工所 ㈱清水合金製作所 ㈱清水鐵工所 前澤工業㈱ 宮部鉄工㈱ 角田鉄工㈱ ㈱ｸﾎﾞﾀ
238	GX形 ﾊﾞﾀﾌﾗｲ弁	一宮市上下水道部承認品	JWWA　B138準拠 内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装 ｾﾝﾀｰｷｬｯﾌﾟ式	φ400 450	㈱栗本鐵工所：φ400のみ ㈱ｸﾎﾞﾀ ㈱清水合金製作所：φ400のみ
239	ｽﾘｰｽﾊﾞﾙﾌﾞ（ｹﾞｰﾄﾊﾞﾙﾌﾞ）	JIS　B2011	仮給水バルブ 5K 10K	φ13 20 25 30 40 ※50	※配水管として使用する場合は ㈱ｷｯﾂ　MN 東洋ﾊﾞﾙﾌﾞ㈱ LJ5-BSR を使用すること。
240	水道配水用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ挿し口付ｿﾌﾄｼｰﾙ仕切弁	PTC B22	角ｷｬｯﾌﾟ　右開き	φ50 100	
241	水道配水用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ片受口付ｿﾌﾄｼｰﾙ仕切弁	PTC B22	角ｷｬｯﾌﾟ　右開き	φ50 100	
242	水道配水用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ挿し口付青銅製仕切弁	PTC B23 締過ぎ防止機能付	ｿﾌﾄｼｰﾙ弁体 角ｷｬｯﾌﾟ　右開き	φ50	
243	水道配水用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管ﾒｶﾆｶﾙ形ｿﾌﾄｼｰﾙ仕切弁	PTC B25	ｿﾌﾄｼｰﾙ弁体 角ｷｬｯﾌﾟ　右開き	φ50 100	

材料承認一覧

鉄蓋・桝類

番号	名称	規格1	規格2	形状寸法	承認業者等
244	ﾒｰﾀｰ筐	一宮市上下水道部承認品	樹脂製（蓋FRP）	φ13 20 25	栗本商事㈱ 前澤化成工業㈱
				φ30 40	日之出水道機器㈱：φ40のみ 前澤化成工業㈱
			樹脂製（蓋PET）	φ13 20 25	ｱﾛﾝ化成㈱
			樹脂製（蓋ABS）	φ13 20 25	栗本商事㈱
			樹脂製（蓋GFPP）	φ13 20 25 30	日之出水道機器㈱
			鋳鉄製（蓋FCD）	φ13 20 25 30 40 50～100	㈱慶和製作所：φ20まで ㈱ダイモン：φ25まで 日之出水道機器㈱
245	ﾒｰﾀｰ筐用桝	一宮市上下水道部承認品	上部（H=200） 下部（H=150）	φ30 40	日之出水道機器㈱
			上部（H=400） 下部（H=200） 下部（H=300）	φ50～100	日之出水道機器㈱
246	宅地内仕切弁筐	一宮市上下水道部承認品	鋳鉄製　B型　φ20～40用	φ150×500	日之出水道機器㈱
			鋳鉄製　B型　φ50用	φ150×500	日之出水道機器㈱
247	仕切弁鉄蓋	一宮市上下水道部承認品 JWWA　B132	七夕柄	φ230×150	日之出水道機器㈱ ㈱ｸﾛﾀﾞｲﾄ ｽｽﾞﾃｯｸ㈱ ㈱ﾀﾞｲﾓﾝ 北勢工業㈱三重営業所 植平ｺﾝｸﾘｰﾄ工業㈱
248	仕切弁用桝上部	一宮市上下水道部承認品 JWWA　K148	ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製	φ250×100 250×150	日之出水道機器㈱ ｽｽﾞﾃｯｸ㈱：φ250×100除く ㈱ﾀﾞｲﾓﾝ：φ250×100除く 北勢工業㈱三重営業所　：φ250×100除く 植平ｺﾝｸﾘｰﾄ工業㈱：φ250×100除く
249	仕切弁用桝上下部	一宮市上下水道部承認品 JWWA　K148	ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製	φ250×φ350×150 250×φ350×300	日之出水道機器㈱ ㈱ﾀﾞｲﾓﾝ ｽｽﾞﾃｯｸ㈱：φ250×φ350×150除く 北勢工業㈱三重営業所 植平ｺﾝｸﾘｰﾄ工業㈱：φ250×φ350×300除く
250	仕切弁用桝中部	一宮市上下水道部承認品 JWWA　K148	ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製	φ250×100 250×150 250×200 250×300	日之出水道機器㈱ ｽｽﾞﾃｯｸ㈱ ㈱ﾀﾞｲﾓﾝ：φ250×150除く 北勢工業㈱三重営業所：φ250×150除く 植平ｺﾝｸﾘｰﾄ工業㈱：φ250×150除く
251	仕切弁用桝下部	一宮市上下水道部承認品 JWWA　K148	ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製　φ100用 φ100用 φ150～φ350用 φ50用 φ50用 φ50用	φ250×φ350×200 φ250×φ350×300 φ250×φ450×300 φ250×100 φ250×200 φ250×300	日之出水道機器㈱： ｽｽﾞﾃｯｸ㈱： φ100用φ250×φ350×200除く φ50用φ250×100除く ㈱ﾀﾞｲﾓﾝ： φ50用φ250×100、φ50用φ250×300除く 北勢工業㈱三重営業所： φ100用φ250×φ350×200、φ50用φ250×100、φ50用φ250×300除く 植平ｺﾝｸﾘｰﾄ工業㈱： φ100用φ250×φ350×200、φ50用φ250×100除く
252	仕切弁用底板	一宮市上下水道部承認品	ｺﾝｸﾘｰﾄ製　φ100用 φ150～φ350用 φ50用	φ250(φ350)×60 φ250(φ450)×60 500×205×60	日之出水道機器㈱ ｽｽﾞﾃｯｸ㈱ ㈱ﾀﾞｲﾓﾝ 北勢工業㈱三重営業所 植平ｺﾝｸﾘｰﾄ工業㈱
253	仕切弁用調整ﾘﾝｸﾞ	一宮市上下水道部承認品 JWWA　K148		φ250×10 250×30 250×50 250×10(3%) 250×10(5%)	日之出水道機器㈱ ｽｽﾞﾃｯｸ㈱ ㈱ﾀﾞｲﾓﾝ 北勢工業㈱三重営業所： φ250×10(3%)，φ250×10(5%)除く 植平ｺﾝｸﾘｰﾄ工業㈱：φ250×30、φ250×50のみ
254	消火栓鉄蓋	一宮市上下水道部承認品	消防車柄	φ500×100	日之出水道機器㈱ ｽｽﾞﾃｯｸ㈱ ㈱ﾀﾞｲﾓﾝ 北勢工業㈱三重営業所 植平ｺﾝｸﾘｰﾄ工業㈱
255	空気弁鉄蓋	一宮市上下水道部承認品		φ500×100	日之出水道機器㈱ ｸﾛﾀﾞｲﾄ工業㈱ ｽｽﾞﾃｯｸ㈱ ㈱ﾀﾞｲﾓﾝ 北勢工業㈱三重営業所 植平ｺﾝｸﾘｰﾄ工業㈱
256	仕切弁鉄蓋	一宮市上下水道部承認品		φ500×100	日之出水道機器㈱ ｸﾛﾀﾞｲﾄ工業㈱ ｽｽﾞﾃｯｸ㈱ ㈱ﾀﾞｲﾓﾝ 北勢工業㈱三重営業所
257	排水口鉄蓋	一宮市上下水道部承認品		φ500×100	日之出水道機器㈱ ｸﾛﾀﾞｲﾄ工業㈱ ｽｽﾞﾃｯｸ㈱ ㈱ﾀﾞｲﾓﾝ

材料承認一覧

鉄蓋・桝類

番号	名　　称	規　　格　1	規　　格　2	形　状　寸　法	承　　認　　業　　者　　等
258	応急給水栓鉄蓋	一宮市上下水道部承認品		φ500×100	日之出水道機器㈱ ｸﾛﾀﾞｲﾄ工業㈱ ｽｽﾞﾃｯｸ㈱ ㈱ﾀﾞｲﾓﾝ
259	給水栓鉄蓋	一宮市上下水道部承認品		φ500×100	日之出水道機器㈱
260	消火栓・空気弁用桝上部	一宮市上下水道部承認品	ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製	φ500×200	日之出水道機器㈱ ｽｽﾞﾃｯｸ㈱ ㈱ﾀﾞｲﾓﾝ 北勢工業㈱三重営業所 植平ｺﾝｸﾘｰﾄ工業㈱
261	消火栓・空気弁用桝中部	一宮市上下水道部承認品	ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製	φ500×100 500×150 500×200 500×300	日之出水道機器㈱ ｽｽﾞﾃｯｸ㈱：φ500×150除く ㈱ﾀﾞｲﾓﾝ：φ500×150除く 北勢工業㈱三重営業所：φ500×150除く 植平ｺﾝｸﾘｰﾄ工業㈱：φ500×150除く
262	消火栓・空気弁用桝下部	一宮市上下水道部承認品	ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製	φ500×200 500×300	日之出水道機器㈱ ｽｽﾞﾃｯｸ㈱ ㈱ﾀﾞｲﾓﾝ 北勢工業㈱三重営業所 植平ｺﾝｸﾘｰﾄ工業㈱
263	消火栓・空気弁用桝上下部	一宮市上下水道部承認品	ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製	φ500×200	日之出水道機器㈱
264	消火栓・空気弁用底板	一宮市上下水道部承認品	ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製	φ500×40	日之出水道機器㈱ ｽｽﾞﾃｯｸ㈱ ㈱ﾀﾞｲﾓﾝ 北勢工業㈱三重営業所 植平ｺﾝｸﾘｰﾄ工業㈱
265	消火栓・空気弁用調整ﾘﾝｸﾞ	一宮市上下水道部承認品	ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製	φ500×10 500×30 500×50 500×10(3%) 500×30(3%)	日之出水道機器㈱ ｽｽﾞﾃｯｸ㈱：φ500×30のみ ㈱ﾀﾞｲﾓﾝ：φ500×30，φ500×50のみ 北勢工業㈱三重営業所：φ500×10(3%)，φ500×30(3%)除く 植平ｺﾝｸﾘｰﾄ工業㈱：φ500×30のみ
266	仕切弁鉄蓋	一宮市上下水道部承認品		φ600×100	日之出水道機器㈱
267	補水栓鉄蓋	一宮市上下水道部承認品		φ600×100	日之出水道機器㈱ ｸﾛﾀﾞｲﾄ工業㈱
268	補水栓用桝上部	一宮市上下水道部承認品	ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製	φ600×200	日之出水道機器㈱
269	補水栓用桝中部	一宮市上下水道部承認品	ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製	φ600×100 600×200 600×300	日之出水道機器㈱
270	補水栓用桝下部	一宮市上下水道部承認品	ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製	φ600×200 600×200（1/2） 600×300	日之出水道機器㈱
271	補水栓用底板	一宮市上下水道部承認品	ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製	φ600×40 800×200×40	日之出水道機器㈱
272	補水栓用調整ﾘﾝｸﾞ	一宮市上下水道部承認品	ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製	φ600×50	日之出水道機器㈱
273	仕切弁用蓋（仮給水用）	一宮市上下水道部承認品		φ150	前澤化成工業㈱

材料承認一覧

不断水割Ｔ字管類

番号	名　　称	規　　格　　1	規　　格　　2	形　状　寸　法	承　認　業　者　等
274	仕切弁付不断水割Ｔ字管	一宮市上下水道部承認品	鋳鉄管用 内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装 ﾌﾗﾝｼﾞ形 φ75×φ50：外ﾈｼﾞ形	φ75×φ50 75× 75 100× 75 100×100 150× 75 150×100 150×150 200× 75 200×100 200×150 200×200 250× 75 250×100 250×150 250×200 250×250 300× 75 300×100 300×150 300×200 300×250 300×300 350× 75 350×100 350×150 350×200 350×250 350×300 400× 75 400×100 400×150 400×200 400×250 400×300 450× 75 450×100 450×150 450×200 450×250 450×300 500× 75 500×100 500×150 500×200 500×250 500×300 600× 75 600×100 600×150 600×200 600×250 600×300 700× 75 700×100 700×150 700×200 700×300 800× 75 800×100 800×150 800×200 800×300	㈱水研：DIPφ200まで （φ75×φ50除く） 大成機工㈱：分岐φ250を除く ｺｽﾓ工機㈱：φ600まで
			ﾋﾞﾆﾙ管用 内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装 ﾌﾗﾝｼﾞ形 φ75×φ50：外ﾈｼﾞ形	φ75×φ50 75× 75 100× 75 100×100 150× 75 150×100 150×150	㈱水研：φ75×φ50除く 大成機工㈱ ｺｽﾓ工機㈱
275	仕切弁付不断水割Ｔ字管 （ｿﾌﾄｼｰﾙ仕切弁）	PTC G 31	HPPE用 内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装 ﾌﾗﾝｼﾞ形	φ75×φ50 φ75×φ75 100× 75 100×100	ｺｽﾓ工機㈱
276	仕切弁付不断水割Ｔ字管 （簡易弁）	PTC G 31	HPPE用 内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装 ﾌﾗﾝｼﾞ形 外ﾈｼﾞ形	φ75×φ50	ｺｽﾓ工機㈱
277	不断水割Ｔ字管	一宮市上下水道部承認品	鋳鉄管用 内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装 ﾌﾗﾝｼﾞ形	φ75×φ75 100× 75 100×100 150× 75 150×100 150×150 200× 75 200×100 200×150 200×200 250× 75 250×100 250×150 250×200 250×250 300× 75 300×100 300×150	大成機工㈱ ｺｽﾓ工機㈱：φ600まで

材料承認一覧

不断水割Ｔ字管類

番号	名　　称	規　　格　　1	規　　格　　2	形　状　寸　法	承　認　業　者　等
	不断水割Ｔ字管	一宮市上下水道部承認品	鋳鉄管用 内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装 ﾌﾗﾝｼﾞ形	300×200 300×250 300×300 350× 75 350×100 350×150 350×200 350×250 350×300 350×350 400× 75 400×100 400×150 400×200 400×250 400×300 400×350 400×400 450× 75 450×100 450×150 450×200 450×250 450×300 450×350 450×400 450×450 500× 75 500×100 500×150 500×200 500×250 500×300 500×350 500×400 500×450 500×500 600× 75 600×100 600×150 600×200 600×250 600×300 600×350 600×400 600×450 600×500 600×600 700× 75 700×100 700×150 700×200 700×300 700×350 700×400 700×450 700×500 800× 75 800×100 800×150 800×200 800×300 800×350 800×400 800×450 800×500	大成機工㈱ ｺｽﾓ工機㈱：φ600まで
			ﾋﾞﾆﾙ管用 内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装 ﾌﾗﾝｼﾞ形	75× 75 100× 75 100×100 150× 75 150×100 150×150	大成機工㈱ ｺｽﾓ工機㈱
278	不断水割Ｔ字管	PTC G 31	HPPE用 内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装 ﾌﾗﾝｼﾞ形	φ75×φ75 100× 75 100×100	ｺｽﾓ工機㈱
279	Ｋ形受口仕切弁付不断水割Ｔ字管	一宮市上下水道部承認品	鋳鉄管用 内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ75×φ75 100× 75 100×100 150× 75 150×100 150×150 200× 75 200×100 200×150 200×200 250× 75 250×100 250×150 250×200 300× 75	大成機工㈱（分岐：φ150まで） ｺｽﾓ工機㈱

材料承認一覧

不断水割Ｔ字管類

番号	名　　称	規　　格　　1	規　　格　　2	形　状　寸　法	承　認　業　者　等
	Ｋ形受口仕切弁付不断水割Ｔ字管	一宮市上下水道部承認品	鋳鉄管用 内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	300×100 300×150 300×200 350× 75 350×100 350×150 350×200 400× 75 400×100 400×150 400×200 450× 75 450×100 450×150 450×200 500× 75 500×100 500×150 500×200 600× 75 600×100 600×150 600×200 700× 75 700×100 700×150 700×200 800× 75 800×100 800×150 800×200	大成機工㈱(分岐：φ150まで) ｺｽﾓ工機㈱
			ﾋﾞﾆﾙ管用 内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	φ75×φ75 100× 75 100×100 150× 75 150×100 150×150	
280	耐震用仕切弁付不断水割Ｔ字管	一宮市上下水道部承認品	鋳鉄管用 内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装 分岐部:K形挿し口 :PE挿し口(φ100まで)	φ75×φ75 100× 75 100×100 150× 75 150×100 150×150 200× 75 200×100 200×150 200×200 250× 75 250×100 250×150 250×250 300× 75 300×100 300×150 300×300 350× 75 350×100 350×150	大成機工㈱：φ300まで ｺｽﾓ工機㈱
281	簡易弁付不断水割Ｔ字管	一宮市上下水道部承認品	鋳鉄管用 内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装 外ﾈｼﾞ形	400×40 400×50	大成機工㈱ ｺｽﾓ工機㈱
282	ｳｫｰﾀｰﾊﾞｯｸﾞ用割T字管	一宮市上下水道部承認品	塩ビ管・鋳鉄管兼用	φ75 100 150	大成機工㈱
283	ｴｱﾌﾞﾗｸﾞ用割T字管	一宮市上下水道部承認品	塩ビ管・鋳鉄管兼用	φ75 100 150	ｺｽﾓ工機㈱

材料承認一覧

その他

番号	名称	規格1	規格2	形状寸法	承認業者等
284	管上明示ﾃｰﾌﾟ	一宮市上下水道部承認品	塩化ﾋﾞﾆﾙ製	50㎜×0.2㎜×20m	㈱共和 ｻﾝｴｽ護謨工業㈱ ﾖﾂｷﾞ㈱
285	中間明示ﾃｰﾌﾟ	一宮市上下水道部承認品	JIS K6772(ﾋﾞﾆﾙﾚｻﾞｰｸﾛｽ) と同等 ｼﾝｸﾞﾙ	150㎜×50m	ｻﾝｴｽ護謨工業㈱ 東洋平成ﾎﾟﾘﾏｰ㈱ ﾐﾂｷﾞﾛﾝ工業㈱ ﾖﾂｷﾞ㈱
286	管探知ﾜｲﾔｰ	一宮市上下水道部承認品	導体：JIS C3152 (ｽｽﾞﾒｯｷ軟銅線) 被覆層：(感圧)導電性ｺﾞﾑ	標準巻長：100m	ｻﾝｴｽ護謨工業㈱ ﾌｼﾞﾃｺﾑ㈱ ﾖﾂｷﾞ㈱
287	滑剤 (鋳鉄管用)	一宮市上下水道部承認品	JWWA Z108 JDPA Z2002		㈱ｸﾎﾞﾀ ㈱栗本鐵工所 日本鋳鉄管㈱
	滑剤 (塩ビ管用)	一宮市上下水道部承認品			ｱﾛﾝ化成㈱ ㈱ｸﾎﾞﾀｹﾐｯｸｽ 積水化学工業㈱
288	接着剤	一宮市上下水道部承認品	JWWA S101		ｱﾛﾝ化成㈱ ㈱ｸﾎﾞﾀｹﾐｯｸｽ 積水化学工業㈱
289	補修剤	一宮市上下水道部承認品	JWWA K139 JDPA Z2002		㈱ｸﾎﾞﾀ ㈱栗本鐵工所 日本鋳鉄管㈱
290	防食ﾃｰﾌﾟ	JIS Z1901			
291	ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ	JWWA K158		φ 75×5m 100×5 150×6 200×6 250×6 300×7 350×7 400×7 450×7 500×7.5 600×7.5 700×7.5 800×7.5	
292	水道配水用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管用 溶剤浸透防護ｽﾘｰﾌﾞ	PTC K 20		φ 50×5m 75×5 100×5	
293	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ固定用ｺﾞﾑﾊﾞﾝﾄﾞ	一宮市上下水道部承認品	JWWA K158	φ 75 100 150 200 250 300 350 400 450 500 600 700 800	ｻﾝｴｽ護謨工業㈱ ﾖﾂｷﾞ㈱
294	仮配管用ﾚﾝﾀﾙﾊﾟｲﾌﾟ	一宮市上下水道部承認品	SUS	φ50 80 100 150 200 250 300 400	明和工業㈱
			PE	φ50 75 100 150 200	㈱光明製作所

※配水管材料は厚生省令第15号（水道施設の技術的基準を定める省令）、給水管材料は同省令第14号（給水装置の構造及び材質の基準に関する省令）の基準適合品とすること。

図面における材料の図示記号

(A)図示記号【全図面共通】

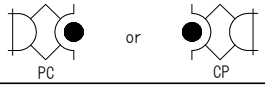
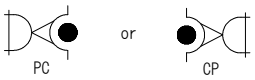
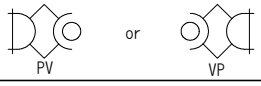
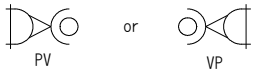
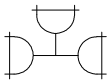
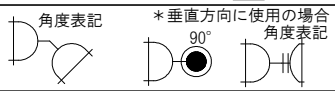
図 示 記 号	名 称	備 考
	φ50以下	
	φ75	
	φ100	
	φ150	
	φ200	
	φ250	
	φ300	
	φ350	以降口径拡大毎に＋－追加
S	ソフトシール仕切弁	
	仕切弁	
	不断水バルブ	
	青銅製仕切弁	
	ゲートバルブ	～S.53.7 又は 仮配管用
	充填用バルブ	エアミルク充填用
	消火栓	
A	空気弁	
	立上がり配管	
	斜め配管	
既設管	閉塞工	

(B)小口径管配水管布設基準で使用する図示記号

図 示 記 号	工 種		備 考
	名 称	寸 法(例)	
既設管 既設管	取付工	100HPPE × 50 ・ 100DIP × 50	分水栓の場合
既設管 既設管	取付工	50HPPE × 50 ・ 50VP × 50	切り取り施工の場合
既設管　出幅同一の場合 既設管	末端取付工	50HPPE × 50 ・ 50VP × 50	※末端取付工に含まれる離脱防止継手の表記は無し
	EF継手工 ・ 離脱防止継手工	50 × 22$^{1}/_{2}$° ・ 50 × 11$^{1}/_{4}$°	
	EF継手工 ・ 離脱防止継手工	50 × 90°	垂直方向の立上り配管の場合
	EF継手工 ・ 離脱防止継手工	50 × 50(チーズ)	
既設管	EF継手工 ・ 離脱防止継手工	50HPPE × 50 ・ 50VP × 50	
既設管	離脱防止継手工	40VP × 50 ・ 30GP × 50	新設管と既設管の管径が異なる場合 詳細図のみ記載(平面図には記載しない)
S	バルブ設置工	50	※バルブ設置工に含まれるEF継手の表記は無し
	バルブ設置工	50(ゲートバルブ)	
	閉塞工	50	
既設管	閉塞工	50VP	
既設管	閉塞工	20(サドルキャップ)	
図面表記無し	VP不断水工	50VP ・ 50GP	
図面表記無し	HPPE不断水工	50HPPE	
図面表記無し	杭打工	φ6cm × 1.2m	

(C)詳細図に記載する材料表の図示記号

管種	材料承認一覧番号	図示記号	図面表記名		備考
			名称	寸法(例)	
水道配水用ポリエチレン管(HPPE)EF継手	78				
	79		HPPE EFソケット	100	
	93	GFの場合 RFの場合	HPPE 短管1号	100	フランジ部:FCD製
	94・95	GFの場合 RFの場合	HPPE 短管2号	100	94: フランジ部:FCD製 95: フランジ部:DIP製
	80	角度表記 ＊垂直方向に使用の場合 90° 角度表記	HPPE EF両受ベンド	100 × 22'/2°	図示記号の「角度表記」は90°,45°,22°,11°(1°未満は記載しない)
	81	角度表記 ＊垂直方向に使用の場合 角度表記 角度表記	HPPE EF片受ベンド	100 × 22'/2°	図示記号の「角度表記」は90°,45°,22°,11°(1°未満は記載しない)
	82	角度表記 ＊垂直方向に使用の場合 90° 角度表記	HPPE ベンド	100 × 22'/2°	図示記号の「角度表記」は90°,45°,22°,11°(1°未満は記載しない)
	90	高さ表記 ＊垂直方向に使用の場合 高さ表記	HPPE EF両受Sベンド	100 × 300H	「高さ表記」は300H、450H、600H
	91	高さ表記 ＊垂直方向に使用の場合 高さ表記	HPPE EF片受Sベンド	100 × 300H	「高さ表記」は300H、450H、600H
	92	高さ表記 ＊垂直方向に使用の場合 高さ表記	HPPE Sベンド	100 × 300H	「高さ表記」は300H、450H、600H
	83	＊分岐部が縮径の場合 ＊垂直方向に使用の場合	HPPE EF両受チーズ	100 × 100 ・ 100 × 50	
	86		HPPE EF片受レデューサ	100 × 50	受挿し片落管
	87		HPPE レデューサ	100 × 50	両挿口片落管
	240	S	HPPE PE挿し口S仕切弁	100	仕切弁部:DIP製
	241	S	HPPE PE片受S仕切弁	100	仕切弁部:DIP製
	96・97	＊平面表記の場合	HPPE PE挿し口F付T字管 (うず巻き型: ～ F付T字管(Dr))	100 × 75	ﾌﾗﾝｼﾞ部:DIP製 うず巻き型の場合、 材料表名称に(Dr)を追記
	88		HPPE EFキャップ	100	
	89		HPPE キャップ	100	
	98	PK or KP	HPPE DIP用異種管継手	100DIP-K × 100	

管種	材料承認一覧番号	図示記号	図面表記名		備考
			名称	寸法(例)	
水道配水用ポリエチレン管（ＨＰＰＥ）メカニカル継手	116		メカニカル継手　ソケット	100	
	117		メカニカル継手　ソケット	100DIP × 100	C側:3DkN対応押輪
	128		メカニカル継手　レデューサ	100DIP × 150	C側:3DkN対応押輪
	118		メカニカル継手　ソケット	100VP × 100	
	129		メカニカル継手　レデューサ	75VP × 100	
	119		メカニカル継手　短管1号	100	
	121		メカニカル継手　チーズ	100 × 100	
	122・124		メカニカル継手　F付T字管 （うず巻き型：～ F付T字管(Dr)）	100 × 75	うず巻き型の場合、 材料表名称に(Dr)を追記
	126		メカニカル継手　F付ベンド	75 × 90°	応急給水栓用
	125		メカニカル継手　ベンド	100 × 22'/2°	図示記号の「角度表記」は90°,45°,22°,11° (1°未満は記載しない)
	120		メカニカル継手　キャップ	100	

管種	材料承認一覧番号	図示記号	図面表記名		備考
			名称	寸法(例)	
水道配水用ポリエチレン管（ＨＰＰＥ）離脱防止継手	131		離脱防止継手　ソケット	100	
	132	PC or CP	離脱防止継手　ソケット	100DIP × 100	C側:3DkN対応押輪
	143	PC or CP	離脱防止継手　レデューサ	150DIP × 100	C側:3DkN対応押輪
	133	PV or VP	離脱防止継手　ソケット	100VP × 100	
	144	PV or VP	離脱防止継手　レデューサ	75VP × 100	
	134	GFの場合　RFの場合	離脱防止継手　短管1号	100	
	136		離脱防止継手　チーズ	100 × 100	
	138	角度表記　＊垂直方向に使用の場合　90°　角度表記	離脱防止継手　ベンド	100 × 22½°	図示記号の「角度表記」は90°,45°,22°,11°(1°未満は記載しない)
	139	角度表記　＊垂直方向に使用の場合　90°　角度表記	離脱防止継手　異種管用ベンド	（100DIP × 100）× 45°	図示記号の「角度表記」は90°,45°(1°未満は記載しない)
	140	角度表記　＊垂直方向に使用の場合　90°　角度表記	離脱防止継手　異種管用ベンド	（100VP × 100）× 22½°	図示記号の「角度表記」は90°,45°,22°,11°(1°未満は記載しない)
	135		離脱防止継手　キャップ	100	

管種	材料承認一覧番号	図示記号	図面表記名		備考
			名称	寸法(例)	
ダクタイル鋳鉄管（GX形）	6				
	59	ライナ	GX形 ライナ	150	
	66	GFの場合 RFの場合	GX形 短管1号	150	
	66	GFの場合 RFの場合	GX形 短管2号	150	
	47	角度表記 ＊平面図において垂直方向に使用の場合 角度表記	GX形 曲管	150 × 11¼°	図示記号の「角度表記」は90°,45°,22°,11°(1°未満は記載しない)
	48	角度表記 ＊平面図において垂直方向に使用の場合 角度表記	GX形 両受曲管	150 × 22½°	図示記号の「角度表記」は,45°,22°(1°未満は記載しない)
	54	高さ表記	GX形 乙字管	150 × 300H	図示記号の「高さ表記」は300H , 450H
	45		GX形 二受T字管	150 × 100	
	46		GX形 受挿し片落管	150 × 100	
	46		GX形 挿し受片落管	150 × 100	
	52		GX形 継ぎ輪	150	
	53		GX形 両受短管	150	
	49・50	GFの場合 RFの場合 ＊平面図表記の場合	GX形 F付T字管 （うず巻き型：～ F付T字管(Dr)）	150 × 75	うず巻き型の場合、材料表名称に(Dr)を追記
	57		GX形 G-Link	150	
	56		GX形 P-Link	150	
	68		GX形 栓	150	直管用 異形管用
	67		GX形 受挿し伸縮可とう管 GX形 両受伸縮可とう管	150	ダブル偏心量200㎜ タイロッド付
	236	S	GX形 両受S仕切弁	150	
	237	S	GX形 受挿しS仕切弁	150	

管種	材料承認一覧番号	記号	図面表記名		備考
			名称	寸法(例)	
ダクタイル鋳鉄管（GX形）	60	図面表記無し	GX形　接合材料	150	
	62	図面表記無し	GX形　切管用挿しロリング	150	
ダクタイル鋳鉄管（K形）	1・2				
	7～16	角度表記	（例） K形　二受T字管 K形　曲管　等	（例） 150 × 100 150 × 11¹/₄°　等	図示記号の「角度表記」は 90°,45°,22°,11° (1°未満は記載しない)
	19	＊接合部の記号が黒丸の場合	K形　特殊押輪	150	
	20	＊接合部の記号が黒丸の場合	K形　全周型特殊押輪	150	
	17	＊接合部に記号が無い場合	K形　押輪	150	
	220	S	K形　受挿しS仕切弁	150	
ダクタイル鋳鉄管（NS形）	3～5				
	22～33	角度表記	（例） NS形　二受T字管 NS形　曲管　等	（例） 150 × 100 150 × 11¹/₄°　等	図示記号の「角度表記」は90°,45°,22°,11° (1°未満は記載しない)
	222	S	NS形　両受S仕切弁	150	
	221	S	NS形　受挿しS仕切弁	150	
ゴム輪形硬質塩化ビニル管（RR）	164・165				
	172	角度表記 ＊平面図において垂直方向に使用の場合 角度表記	RRベンド	100 × 11¹/₄°	図示記号の「角度表記」は 90°,45°,22°,11°,5° (1°未満は記載しない)
	171		RRソケット	100	
	180	角度表記 ＊平面図において垂直方向に使用の場合 角度表記	VP曲管	100 × 11¹/₄°	図示記号の「角度表記」は90°,45°,22°,11° (1°未満は記載しない)
	178		VP片落管	100 × 75	
	176		VPT字管	100 × 75	
	179		MF短管	100	
	177	＊平面図表記の場合 Dr　Dr	VPF付T字管(Dr)	100 × 75	消火栓用
	173・174	＊接合部の記号が黒丸の場合 45°	RR離脱防止金具(V型)	100	塩ビ製継手用

管種	材料承認一覧番号	記号	図面表記名		備考
			名称	寸法(例)	
ゴム輪形硬質塩化ビニル管(RR)	181	VS or SV	VSジョイント	100	
	182	VC or CV	VCジョイント	100DIP × 100	
	184	VC or CV	CV片落管	100DIP × 75	
	183		VP用キャップ	100	
その他			バッグ式止水工法	100VP	
	71	＊継手耐震補強 1 2	K形継手耐震補強金具	100	
	72	＊継手耐震補強 1 2	フランジ継手耐震補強金具	100	
	274	＊不断水分岐 一体型 既設の場合	仕切弁付不断水割T字管	150DIP × 100	
	277・278・219	＊不断水分岐 分割型	不断水割T字管	150DIP × 100	
			両F形 S仕切弁	100	
	280	＊不断水分岐 耐震型	耐震用仕切弁付不断水割T字管	150DIP × 100	
			不断水切換弁	300DIP × 100	
			管口閉塞工	100	充填用立上げ
			バルブ設置工	50	
	229	A	不凍急排型空気弁	25 副弁付	水管橋に使用
	228		急速空気弁	75	地下式に使用
	227	図面表記無し	空気弁用補修弁	75	
	225・226	●	地下式単口消火栓 【空気弁付の場合:(空気弁付)】	75 副弁付	空気弁付の場合、 材料表名称に (空気弁付)を追記
	44	図面表記無し	フランジ短管	75 × 200	※(呼び径)×(有効長)
	75・76	図面表記無し	F継手(B. N. P共)	75(RF-RF) ・ 75(RF-GF)	
	205		分水栓(洗浄用)	150DIP × 25	
	206	図面表記無し	密着コア	25	

古い竣工図に記載された材料の図示記号

管種	図 示 記 号	名 称	備 考
ダクタイル鋳鉄管（A形、K形）		直 管	
		短管1号	
		短管2号	
	角度表記 ＊平面図において 垂直方向に使用の場合 角度表記	曲 管	「角度表記」は90°,45°,22°,11° (1°未満は記載しない)
		二受T字管	
		受挿し片落管 挿し受片落管	
		継ぎ輪	
	＊平面図表記の場合 Dr	フランジ付き丁字管 （消火栓用、空気弁用）	H6.7～ うず巻式(消火栓用)
		三受十字管	
		排水T字管	
		栓	
	＊接合部の記号が黒丸の場合	特殊押輪	
	＊接合部に記号が無い場合	押 輪	
ダクタイル鋳鉄管（T形）		直 管	

管種	図 示 記 号	名 称	備 考
硬質塩化ビニル管（TS）		VP直管	
	＊平面図において 垂直方向に使用の場合	VPベンド	
		VPチーズ	
		VPキャップ （TSキャップ）	
硬質塩化ビニル管（RR）		RR曲管	鋳鉄製　RR離脱防止金具(C型)付き
		RRT字管	鋳鉄製　RR離脱防止金具(C型)付き
接合材料	管種表記	ドレッサージョイント	VP(VP×VP) VC(VP×CIP,DIP) VA(VP×ACP)
	又は	MJジョイント （MFジョイント）	H4.7～ MFジョイント （離脱防止機能付き）
石綿セメント管		AP用短管1号	メカニカル形鋳鉄管の挿し口 との接続用
		AP用短管2号	メカニカル形鋳鉄管の受口 との接続用
	又は	鋳鉄継手 （ギボルトジョイント）	ACP×ACP

水圧試験結果報告書

工事名　　水第　○　号
○○町○○○○　　地内ほか
配水管改良　　工事

試験日	令和　○　年　○　月　○　日
試験区間	○　地点　から　○　地点　まで
対象管路	φ　50　HPPE

項目	時刻	水圧	備考
試験開始	時　分	MPa	0.75MPa
再加圧	時　分	MPa	試験開始後 5分 0.75MPa
減圧	時　分	MPa	0.50MPa
1時間後	時　分	MPa	0.40MPa以上で合格

※　各項目の写真または記録用紙を添付。別添でも構わない。

水圧試験結果報告書

工事名　　水第　○　号
○○町○○○○　　地内ほか
配水管改良　　工事

試験日	令和　○　年　○　月　○　日
試験区間	○　地点　から　○　地点　まで
対象管路	φ　100　DIP-GX

項目	時刻	水圧	備考
試験開始	時　　分	MPa	0.50MPa
10分後	時　　分	MPa	0.40MPa以上で合格

※　各項目の写真または記録用紙を添付。別添でも構わない。

水圧試験結果報告書

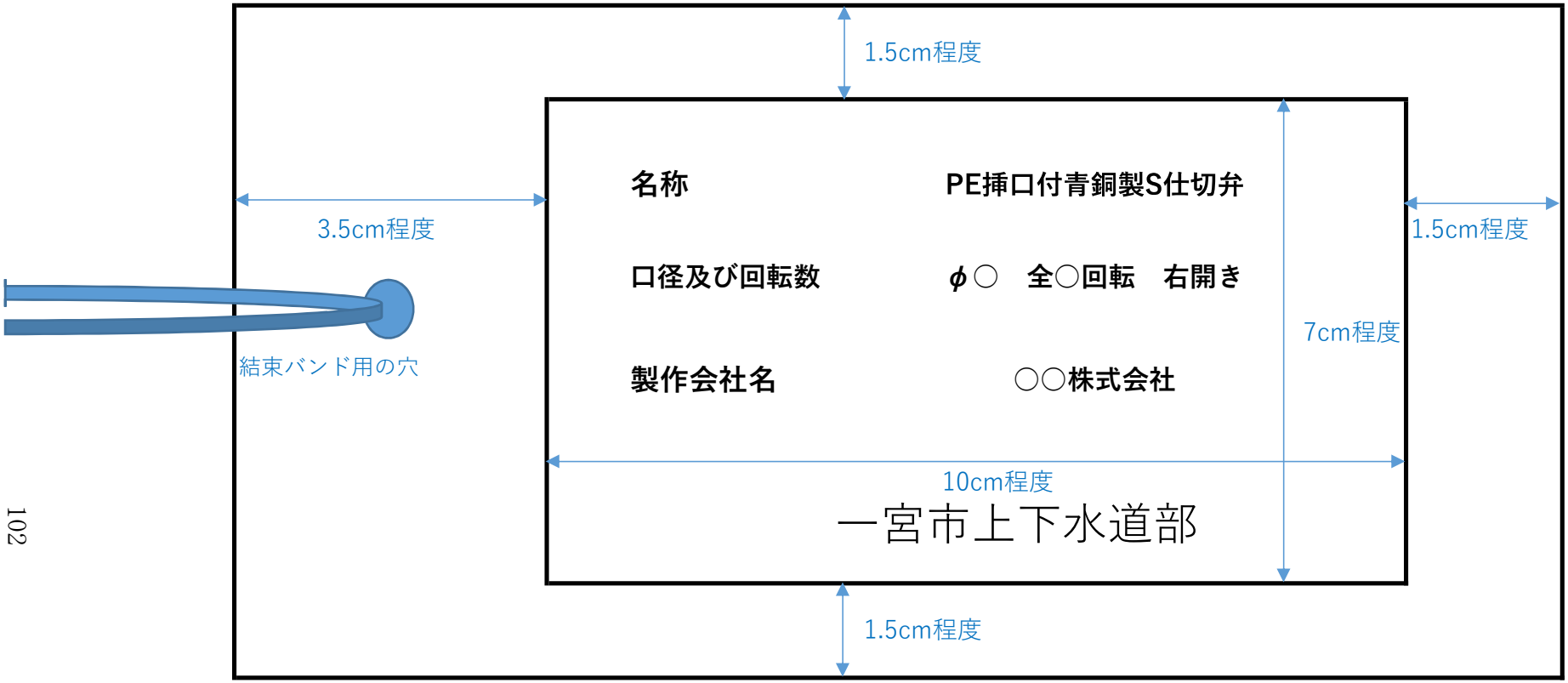
工事名　　水第　○　号
○○町○○○○　　地内ほか
配水管改良　　工事

試験日	令和	○	年	○	月	○　日
試験区間	○	地点				
対象管路	φ	150	×	100	不断水割丁字管	

項目	時刻	水圧	備考
試験開始	時　　分	MPa	0.75MPa
5分後	時　　分	MPa	水圧の低下がなければ合格

※　各項目の写真または記録用紙を添付。別添でも構わない。

ラミネート製表示プレート標準図



□ラミネートの仕様

サイズ	15cm×10cm　程度
余白	上下　1.5cm程度
	左右　1.5cm、3.5cm程度
穴	3.5cm余白の真ん中　１箇所

□結束バンドの仕様

長さ	蓋に結える長さ

□印刷紙の仕様

サイズ	10cm×7cm　程度
文字サイズ	特になし（見やすいサイズ）
文字書体	特になし
文字色	黒

□名　称（参考）

・PE挿口付青銅製S仕切弁　締過ぎ防止機能付
・PE挿口付ソフトシール仕切弁
・○○形ソフトシール仕切弁
・○○形両受ソフトシール仕切弁
・○○形受挿しソフトシール仕切弁　等